

令和 6 年度

埼玉県政世論調査結果の概要

県政世論調査は、県政の重要課題に対する県民の関心、意識、要望などを把握し、施策の立案及び推進の資料として活用するため、昭和43年度から毎年度実施しています。

今年度は、課題調査として「特殊詐欺（サポート詐欺などを含む）被害防止に対する意識調査」、「県内外からの移住について」の2つのテーマと、定期調査（時系列項目）として「生活意識」「日常生活」「県政への要望」について調査を行いました。

【目次】

| | |
|---------------------------------|----|
| ○ 調査のあらまし | 3 |
| I 調査結果のポイント | 5 |
| II 調査結果（単純集計結果） | 15 |
| 1 生活意識 | 17 |
| 2 日常生活 | 40 |
| 3 県政への要望 | 70 |
| 4 特殊詐欺（サポート詐欺などを含む）被害防止に対する意識調査 | 76 |
| 5 県内外からの移住について | 90 |
| （参考資料）世論調査実施状況 | 98 |

<本調査の内容及び結果についてのお問い合わせ先>

埼玉県 県民生活部 県民広聴課
電話 048-830-2850（直通）

○ 調査のあらまし

1 調査の目的

県民の県政に対する要望、意見及び県民の生活意識などを把握し、県政推進のための資料とする。

2 調査の項目

この調査の項目は次のとおりである。

- ア 生活意識（昨年と比べた暮らし向き、生活程度、生活全体の満足度、地域の安全性、定住意向、埼玉県に魅力を感じるか）
- イ 日常生活
- ウ 県政への要望
- エ 特殊詐欺（サポート詐欺などを含む）被害防止に対する意識調査
- オ 県内外からの移住について

3 調査の設計

この調査は次のように設計した。

- ア 調査地域 埼玉県全域
- イ 調査対象 満18歳以上の個人
- ウ 標本数 5,000
- エ 抽出方法 住民基本台帳による層化二段無作為抽出法
- オ 調査方法 郵送法（郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用）
（令和元年度までは、調査員による個別面接聴取法）
- カ 調査時期 令和6年7月5日～7月26日
- キ 調査実施委託機関 株式会社サーベイリサーチセンター

4 回収結果

- （ア）有効回収数（率） 2,502（50.0%）
- （イ）調査不能数（率） 2,498（50.0%）

5 回答者の属性

（1）性別

| 総数 | 男性 | 女性 | 無回答 |
|-------|-------|-------|-----|
| 2,502 | 1,087 | 1,329 | 86 |
| 100.0 | 43.4 | 53.1 | 3.4 |

（2）年代別

| 総数 | 18・19歳 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳以上 | 無回答 |
|-------|--------|------|------|------|------|------|-------|-----|
| 2,502 | 25 | 169 | 259 | 372 | 514 | 451 | 666 | 46 |
| 100.0 | 1.0 | 6.8 | 10.4 | 14.9 | 20.5 | 18.0 | 26.6 | 1.8 |

（上段は人：下段は%）

6 調査結果の見方

- (1) 結果は、百分率で表示し、小数第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体またはカテゴリーを小計した数値が一致しないことがある。なお、回答者を絞った質問では、質問該当者を100%とするのを原則とした。
- (2) 問1「昨年と比べた暮らし向き」における『楽になった(計)』のように、「楽になった」と「少し楽になった」等の2つ以上の選択肢を合わせた項目の比率を表記する場合、その比率は、それぞれの選択肢への回答者の実数値を合計して、比率を再計算したものを使用しているため、内訳となるそれぞれの選択肢の比率の合計と合致しないことがある。
- (3) 図表中の「-」は回答者が皆無のもの、「0.0」は回答者の割合が0.05%未満のため四捨五入の結果0.0%となったものである。
- (4) 一人の対象者に2つ以上の回答を認めた質問では、回答の合計を回答者(n)で割った比率を算出しており、通常その百分率の合計は、100%を超える。また、この回答の合計数をM.T.(Multiple Totalの略)として表示した。
- (5) 調査票上のFはFace Sheetの略で、回答者の基本的属性についての質問である。
- (6) 調査手法として、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施していたが、令和2年度から「郵送法(郵送配布、郵送返送・インターネット回収併用)」に変更したため、令和元年度以前の結果と比較する場合には留意が必要となる。

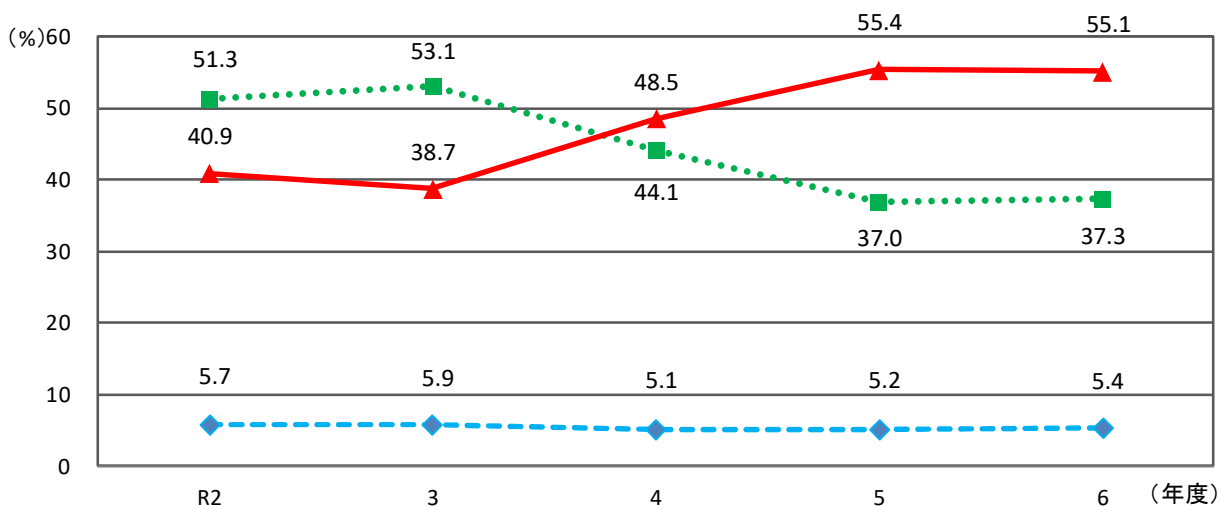
I 調査結果のポイント

1 定期調査（生活意識）

昨年と比べた暮らし向き

●●● 楽になった(計) ●●● 変わらない ▲▲▲ 苦しくなった(計)

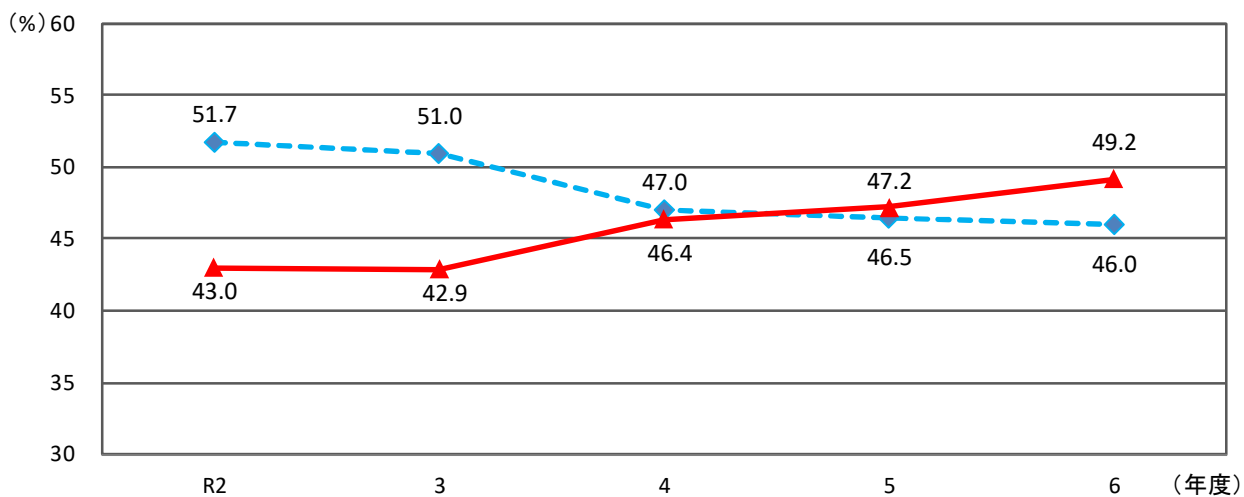
・『楽になった(計)』『苦しくなった(計)』『変わらない』昨年と比べてほぼ横ばい



生活全体の満足度

●●● 満足(計) ▲▲▲ 不満(計)

・『満足(計)』が『不満(計)』を3.2p下回った

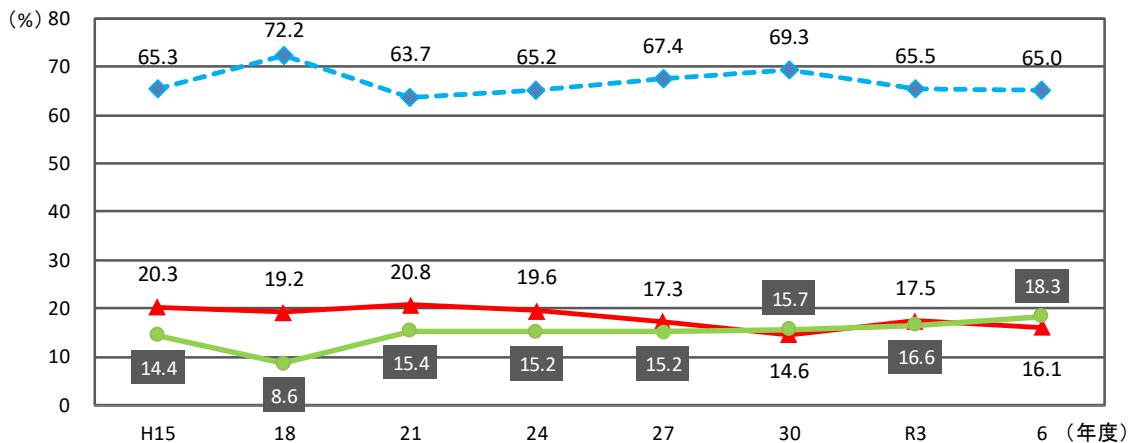


定住意向

◆— 住み続けたい ▲— よそへ移りたい ●— わからない

1 あなたは、今お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。それとも、できればよそへ移りたいと思いますか。

- ・「住み続けたい」はほぼ横ばい
- ・「よそへ移りたい」は前回と比較して1.4p減少
- ・「わからない」は前回と比較して1.7p増加



1-1 定住したい理由(前回調査との比較)

- ・「買い物に便利だから」が前回と比較して3.5p増加

| | 今回 | 前回(令和3年調査) | 増減差 |
|---------------------------------|-------|------------|-------|
| 1位 災害が少ないから (今回調査からの新設選択肢) | 56.1% | - | - |
| 2位 住みなれていて愛着があるから | 52.6% | 59.1% (1位) | △ 6.5 |
| 3位 交通の便がよいから | 48.4% | 47.7% (2位) | 0.7 |
| 4位 買い物に便利だから | 42.5% | 39.0% (3位) | 3.5 |
| 5位 今の住宅に満足しているから (今回調査からの新設選択肢) | 38.4% | - | - |
| 6位 医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから | 31.5% | 33.5% (4位) | △ 2.0 |
| 7位 自然環境がよいから | 27.2% | 32.5% (5位) | △ 5.3 |
| 8位 隣近所の人との付き合いがうまくいっているから | 24.5% | 27.3% (7位) | △ 2.8 |
| 9位 通勤や通学に便利だから | 24.2% | 28.5% (6位) | △ 4.3 |
| 10位 親、兄弟・姉妹や親戚が近くにいるから | 24.0% | 27.3% (7位) | △ 3.3 |

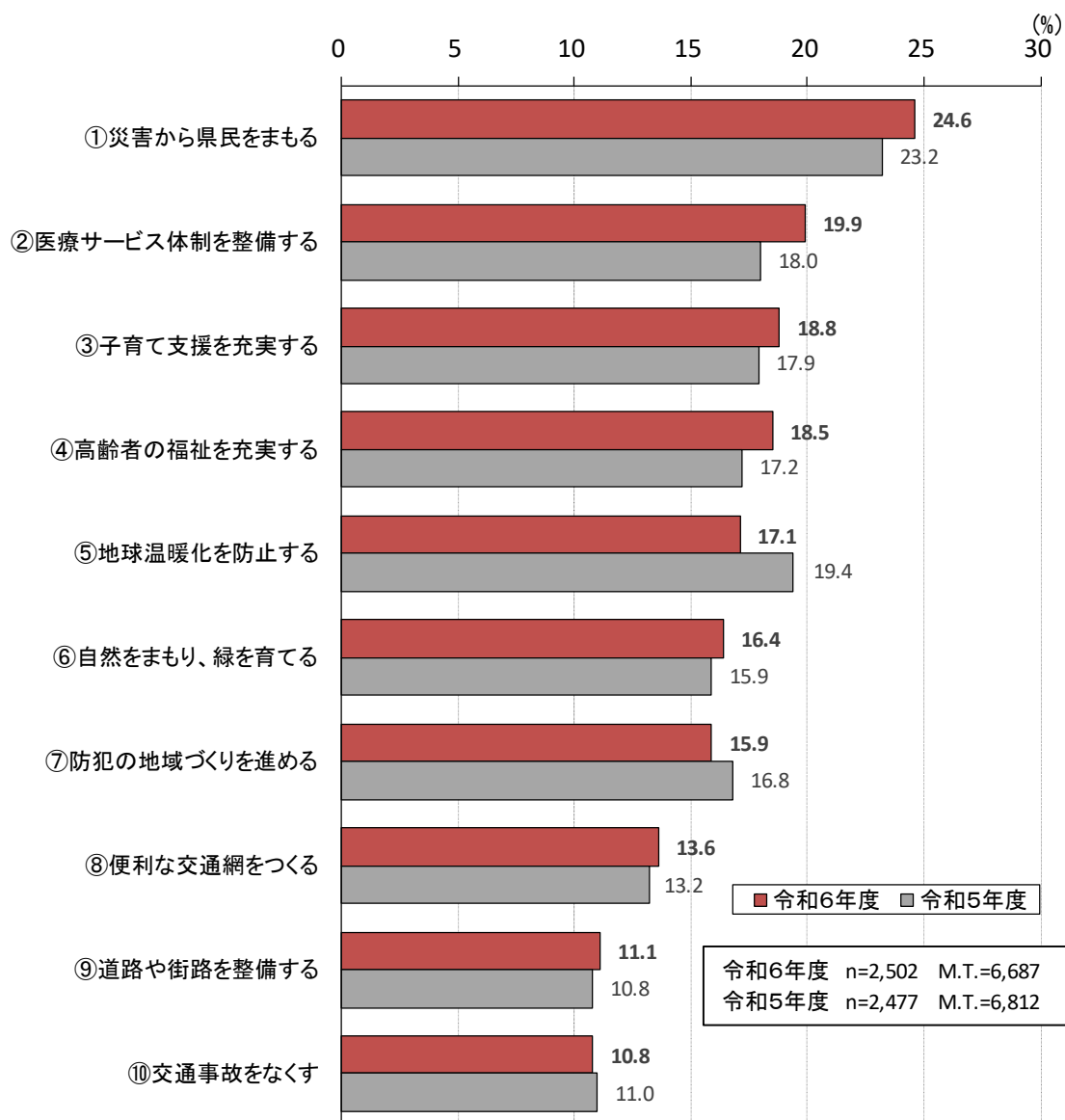
1-2 移住したい理由(前回調査との比較)

- ・「交通の便が悪いから」が前回に引き続き1位

| | 今回 | 前回(令和3年調査) | 増減差 |
|--------------------------------|-------|-------------|-------|
| 1位 交通の便が悪いから | 39.9% | 37.9% (1位) | 2.0 |
| 2位 買い物に不便だから | 28.5% | 26.3% (3位) | 2.2 |
| 3位 今の住宅に不満があるから (今回調査からの新設選択肢) | 28.0% | - | - |
| 4位 通勤や通学に不便だから | 25.7% | 25.5% (4位) | 0.2 |
| 5位 愛着がないから | 24.3% | 27.7% (2位) | △ 3.4 |
| 6位 自然環境が悪いから | 18.6% | 16.8% (5位) | 1.8 |
| 7位 医療施設が身近になく、病気の人に心配だから | 17.3% | 15.5% (6位) | 1.8 |
| 8位 親、兄弟・姉妹や親戚の近くに住みたいから | 14.9% | 15.5% (6位) | △ 0.6 |
| 9位 災害リスクが高いから (今回調査からの新設選択肢) | 14.4% | - | - |
| 10位 治安や風紀が悪いから | 14.1% | 10.1% (11位) | 4.0 |

2 定期調査（県政への要望）

- ・ 下記は、令和6年度の上位10項目を比率順に並べたグラフである
- ・ 「災害から県民をまもる」が1.4p増加し、前回に引き続き第1位となった
- ・ 「医療サービス体制を整備する」が1.9p増加して第2位に上昇した

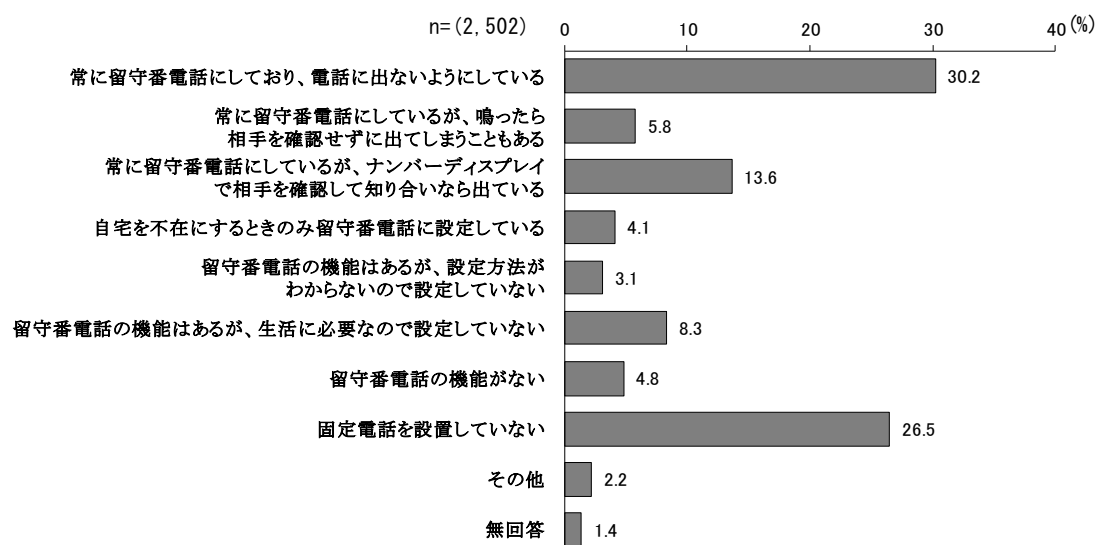


3 課題調査

特殊詐欺（サポート詐欺などを含む）被害防止に対する意識調査

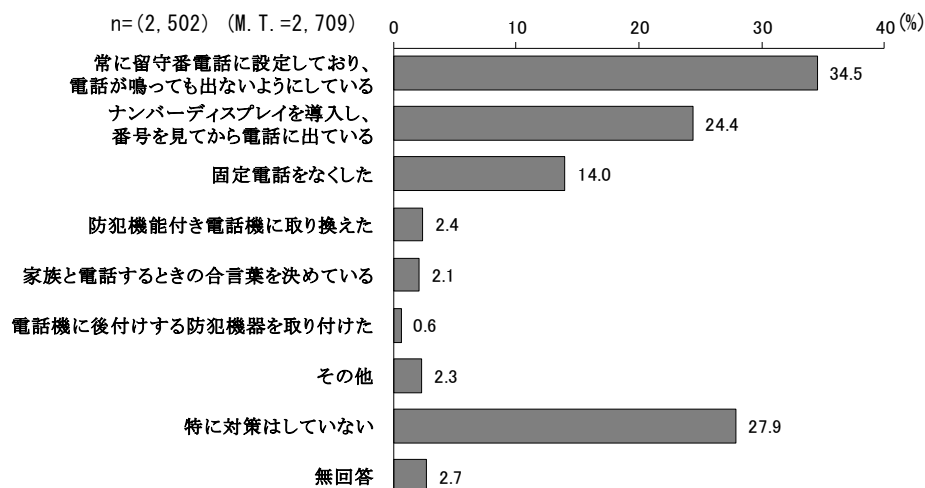
1 県警察では、手軽にできる特殊詐欺被害防止対策として、「在宅中でも留守番電話に設定し、電話が鳴っても出ないようにして、録音で相手や要件を聞いてから折り返す」ことを推奨していますが、留守番電話の設定はしていますか。

- ・「常に留守番電話にしており、電話に出ないようにしている」(30.2%) が3割を超えて最も高い
- ・一方で、「固定電話を設置していない」(26.5%) が2割台半ばを超えている



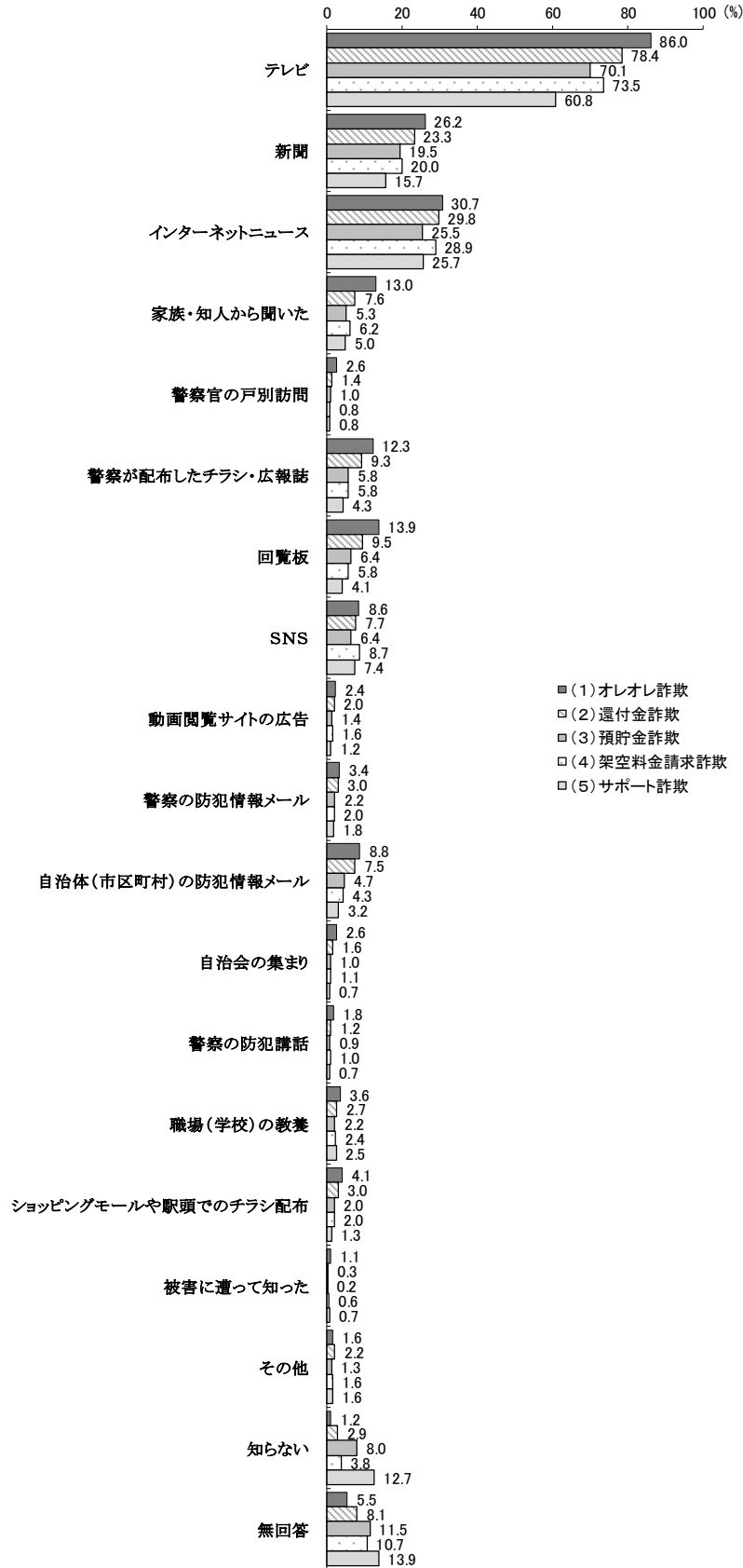
2 あなたは「特殊詐欺」の被害から身を守るための対策として、実施していることはありますか。

- ・「常に留守番電話に設定しており、電話が鳴っても出ないようにしている」(34.5%) が3割台半ばと最も高い
- ・一方で、「特に対策はしていない」(27.9%) は2割台半ばを超えている



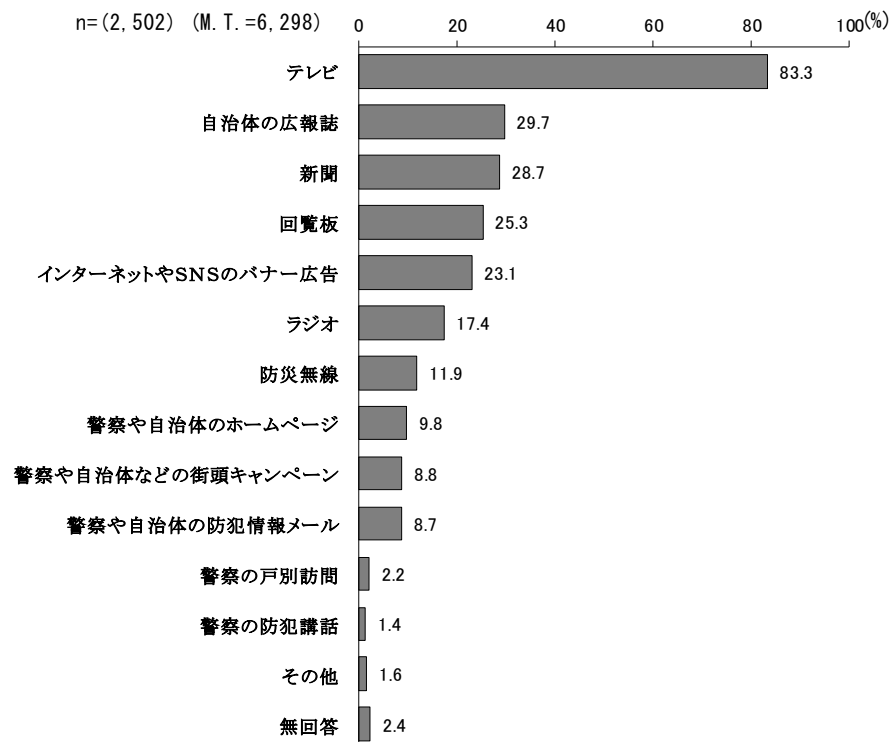
3 特殊詐欺の手口や防犯対策の方法を何で知りましたか。

- ・「テレビ」は（１）オレオレ詐欺（86.0%）が8割台半ばを超えて最も高い
- ・「知らない」は（５）サポート詐欺（12.7%）が1割強と最も高い



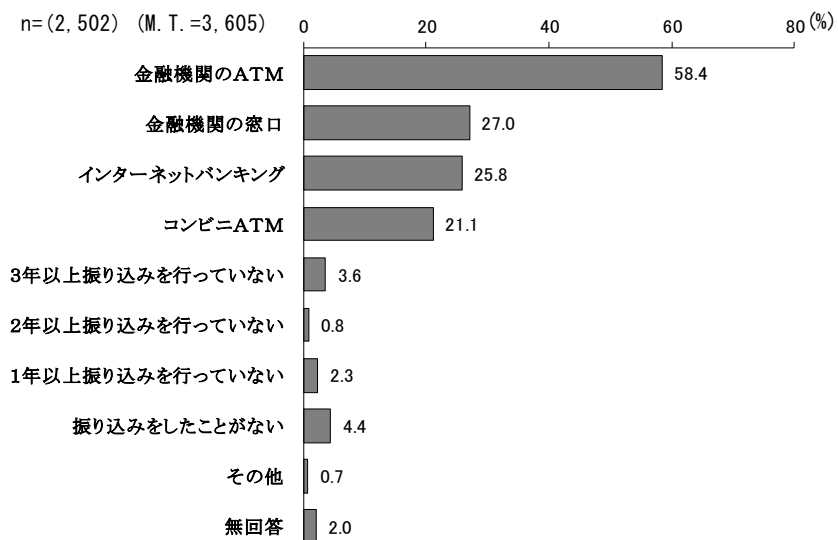
4 今後、特殊詐欺の諸対策について、どのような方法で知りたいですか。

・「テレビ」(83.3%) が8割強と最も高い



5 特殊詐欺では、現金を犯人が指定した口座に振り込ませる手口がありますが、あなたが普段、振り込みに使用している手段は何ですか。

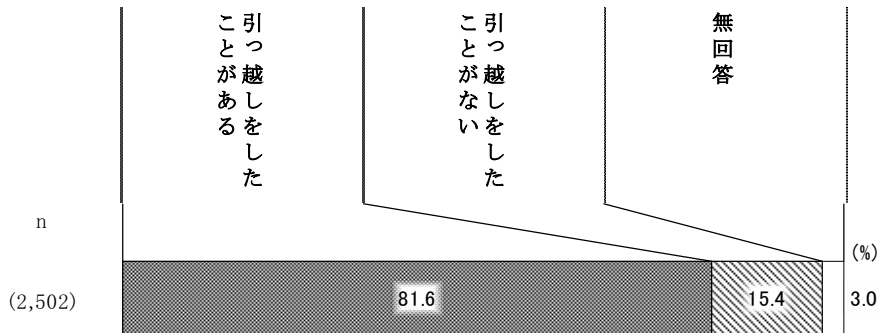
・「金融機関のATM」(58.4%) が6割弱と最も高い



県内外からの移住について

1 あなたは、引っ越しをしたことがありますか。

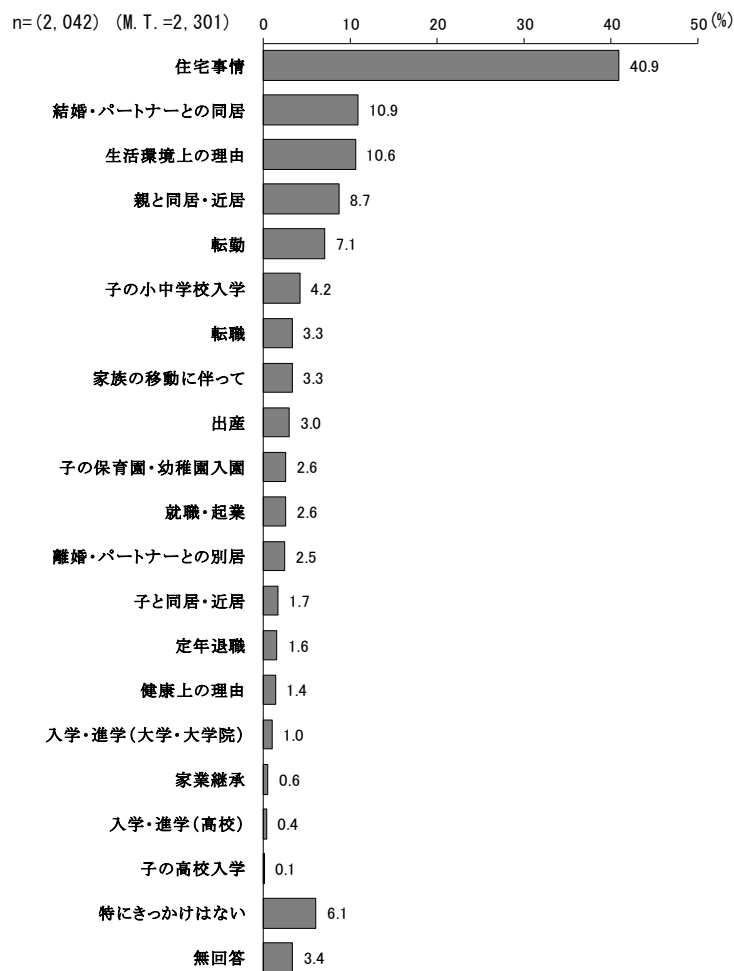
・「引っ越しをしたことがある」(81.6%)が8割強



2 直近の引っ越しのきっかけは何でしたか。

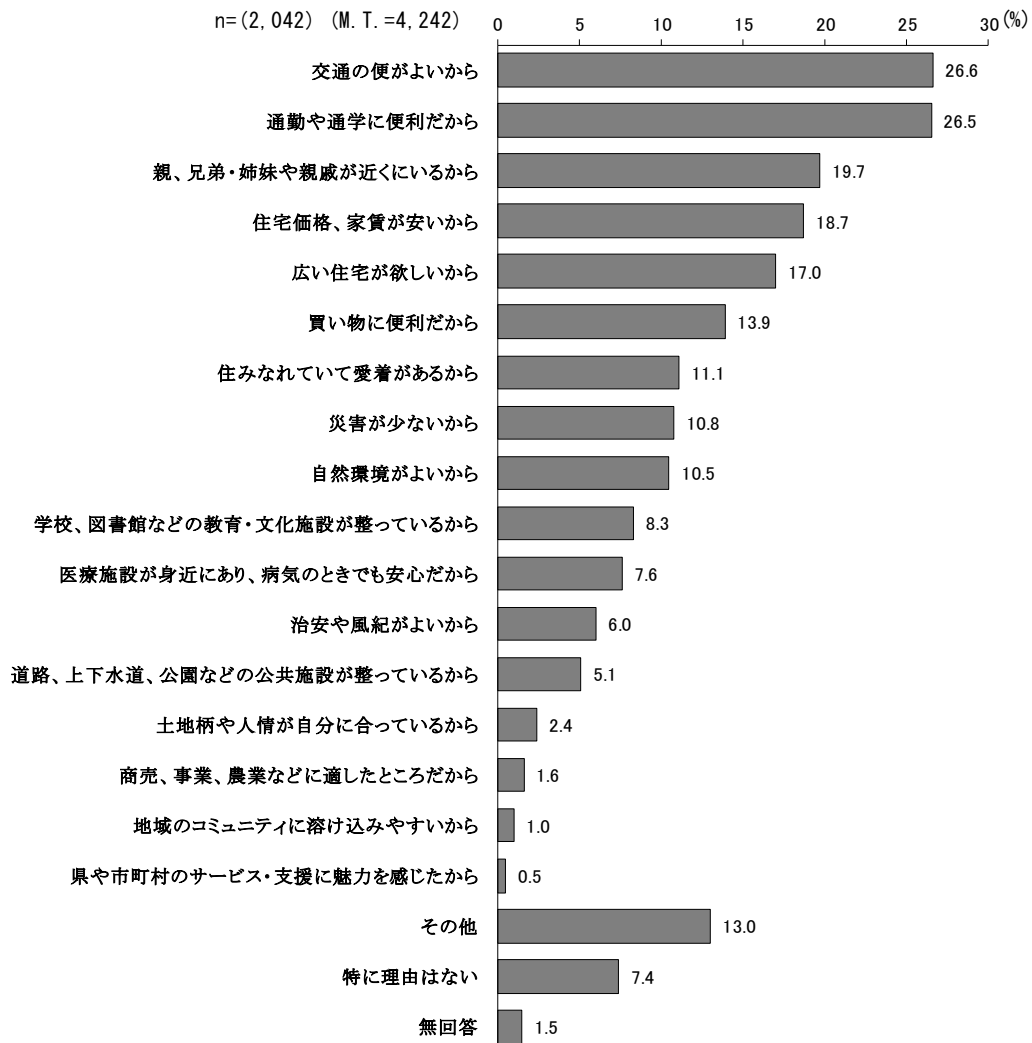
・「住宅事情」(40.9%)が4割を超えて最も高い

・「特にきっかけはない」は6.1%となっている



3 いまのお住まいに引っ越した理由は何でしたか。

・「交通の便がよいから」(26.6%)、「通勤や通学に便利だから」(26.5%) が2割台半ばを超えている



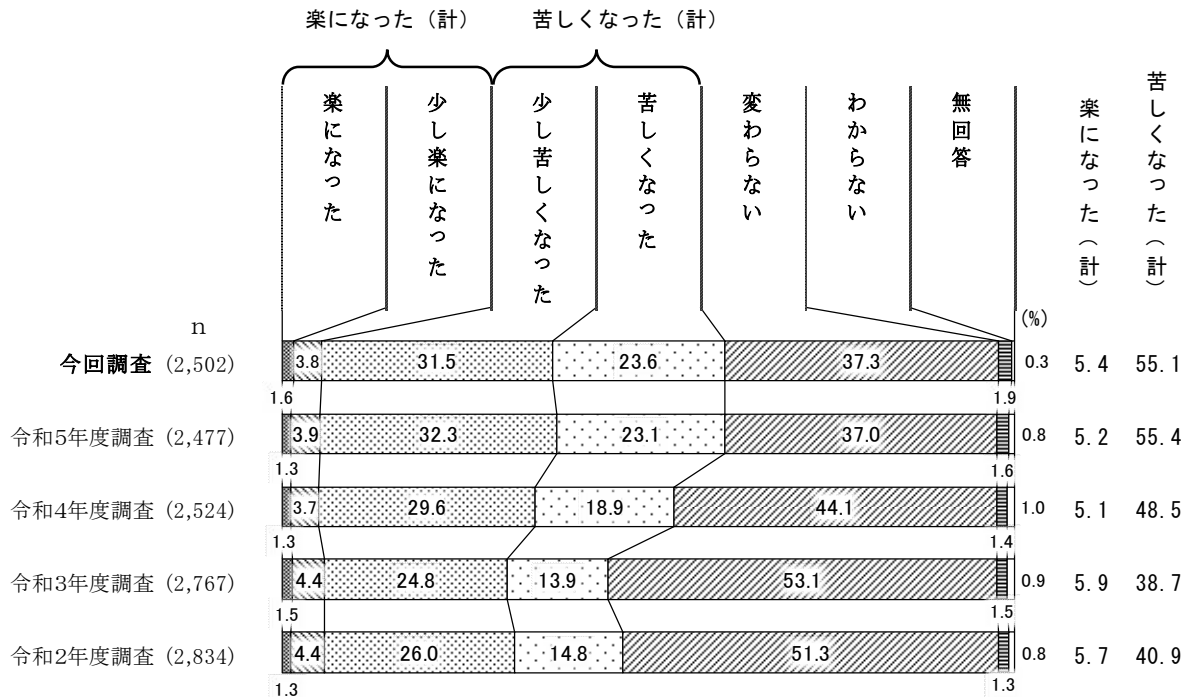
Ⅱ 調査結果（単純集計結果）

1. 生活意識

(1) 昨年と比べた暮らし向き

◇『苦しくなった（計）』は55.1%、「変わらない」は37.3%、『楽になった（計）』は5.4%

問1 最初に、あなたの生活意識についておたずねします。
お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。（○は1つだけ）



暮らし向きが「楽になった」（1.6%）と「少し楽になった」（3.8%）を合わせた『楽になった（計）』は5.4%となっている。一方で、「苦しくなった」（23.6%）と「少し苦しくなった」（31.5%）を合わせた『苦しくなった（計）』（55.1%）は5割台半ばとなっている。「変わらない」（37.3%）は3割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

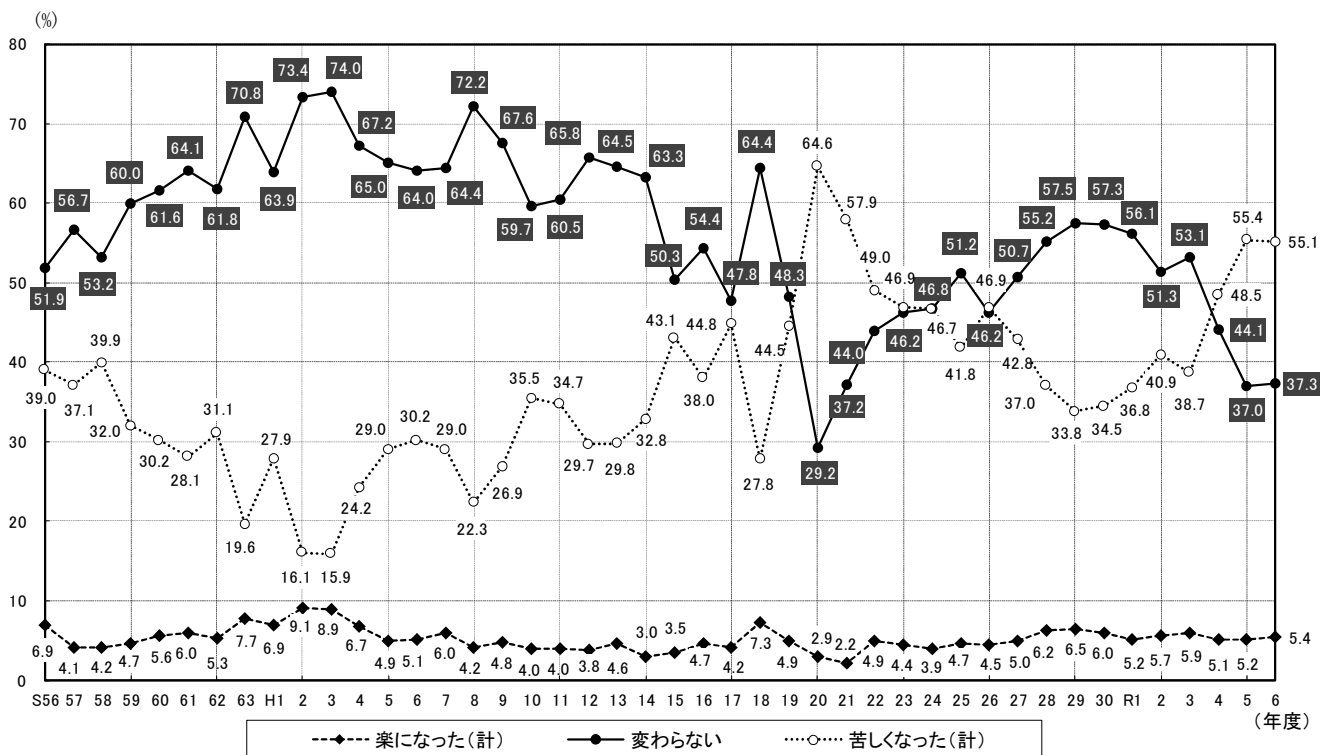
令和5年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【経年比較】

この調査を開始した昭和56年度以降の推移をみると、『苦しくなった(計)』は、最も高かった平成20年度(64.6%)を境におおむね減少傾向が続き、平成30年度調査から再び増加傾向にあり、令和4年度から「変わらない」を上回っている。

『楽になった(計)』は平成2年度が9.1%で最も高く、平成21年度が2.2%で最も低くなっており、調査開始から43年間、この範囲内で推移している。

○昨年と比べた暮らし向き・昭和56年度以降の推移



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

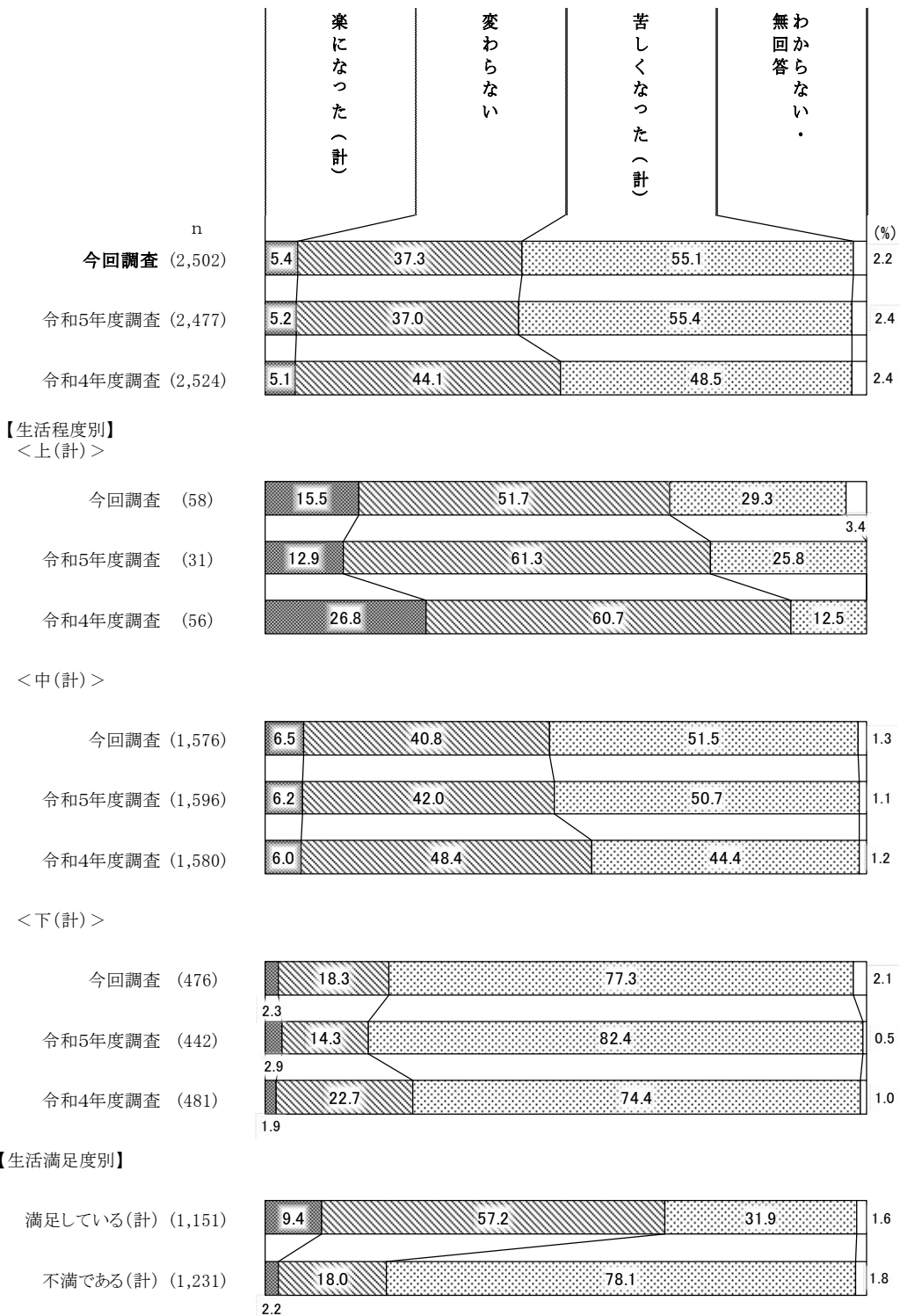
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、昨年と比べた暮らし向きが『苦しくなった（計）』は、下（計）で最も高く77.3%、中（計）で51.5%、上（計）で29.3%と差がみられる。

【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、昨年と比べた暮らし向きが『苦しくなった（計）』は、満足している（計）で31.9%に対して、不満である（計）では78.1%と大きく差がある。一方で、「変わらない」は、満足している（計）で57.2%と不満である（計）の18.0%を大きく上回っている。

○昨年と比べた暮らし向き・生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

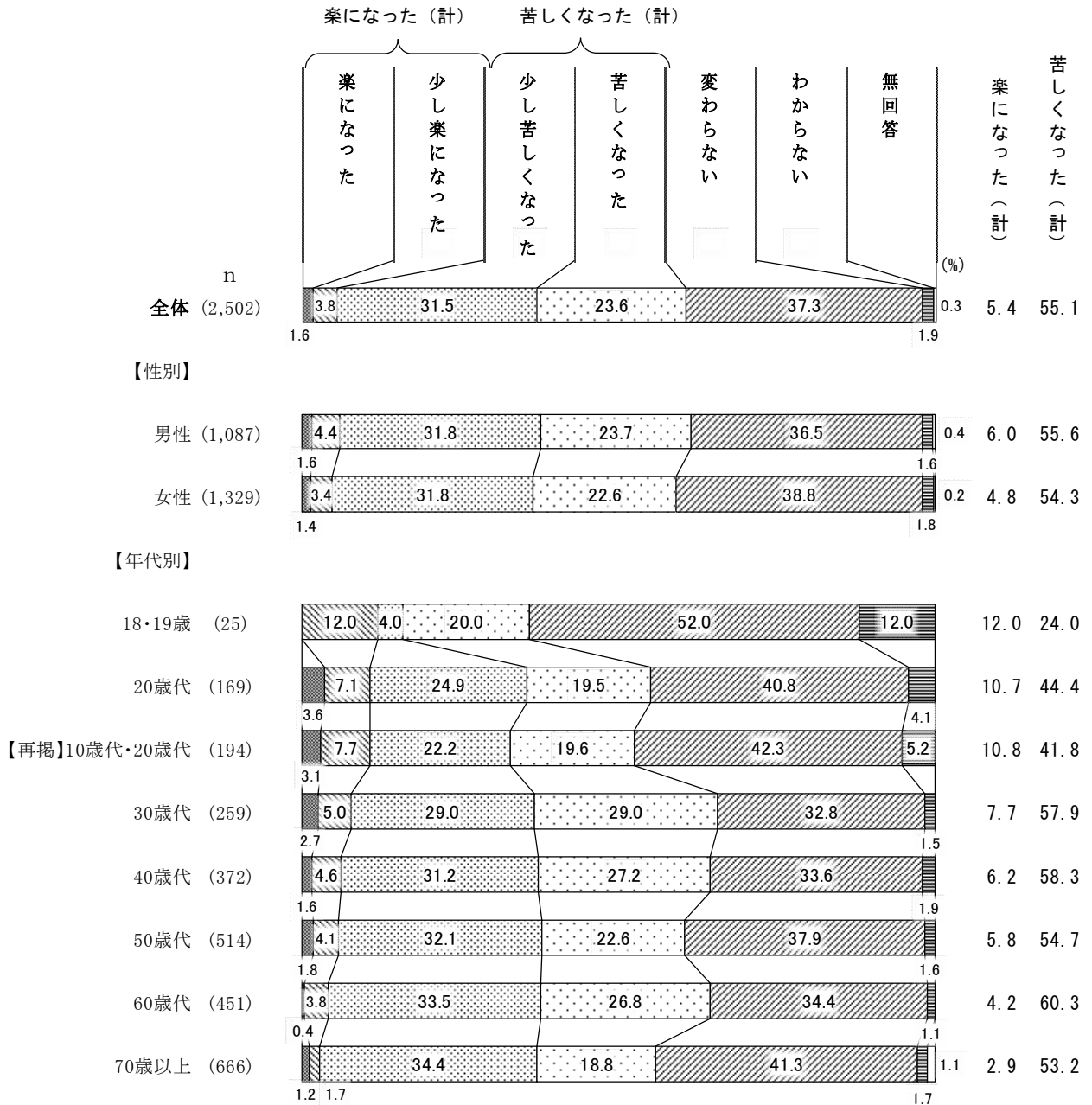
① 性別

性別の回答割合では特に大きな差はみられない。

② 年代別

『苦しくなった（計）』は60歳代（60.3%）で6割を超え最も高くなっている。

○昨年と比べた暮らし向き・性別／年代別



③ 地域別

『苦しくなった（計）』は秩父地域（63.3%）で6割強と最も高くなっている。一方で、『楽になった（計）』は東部地域（7.6%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『苦しくなった（計）』は男性40歳代（61.4%）と女性60歳代（61.3%）で6割強と高くなっている。一方で、『楽になった（計）』は男性10歳代・20歳代（11.1%）で1割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

職業別では回答分布に大きな差はみられない。

⑥ ライフステージ別

『苦しくなった（計）』は家族成長前期（63.8%）で6割強と最も高くなっている。一方で、『楽になった（計）』は家族形成期（11.3%）で1割強と最も高くなっている。

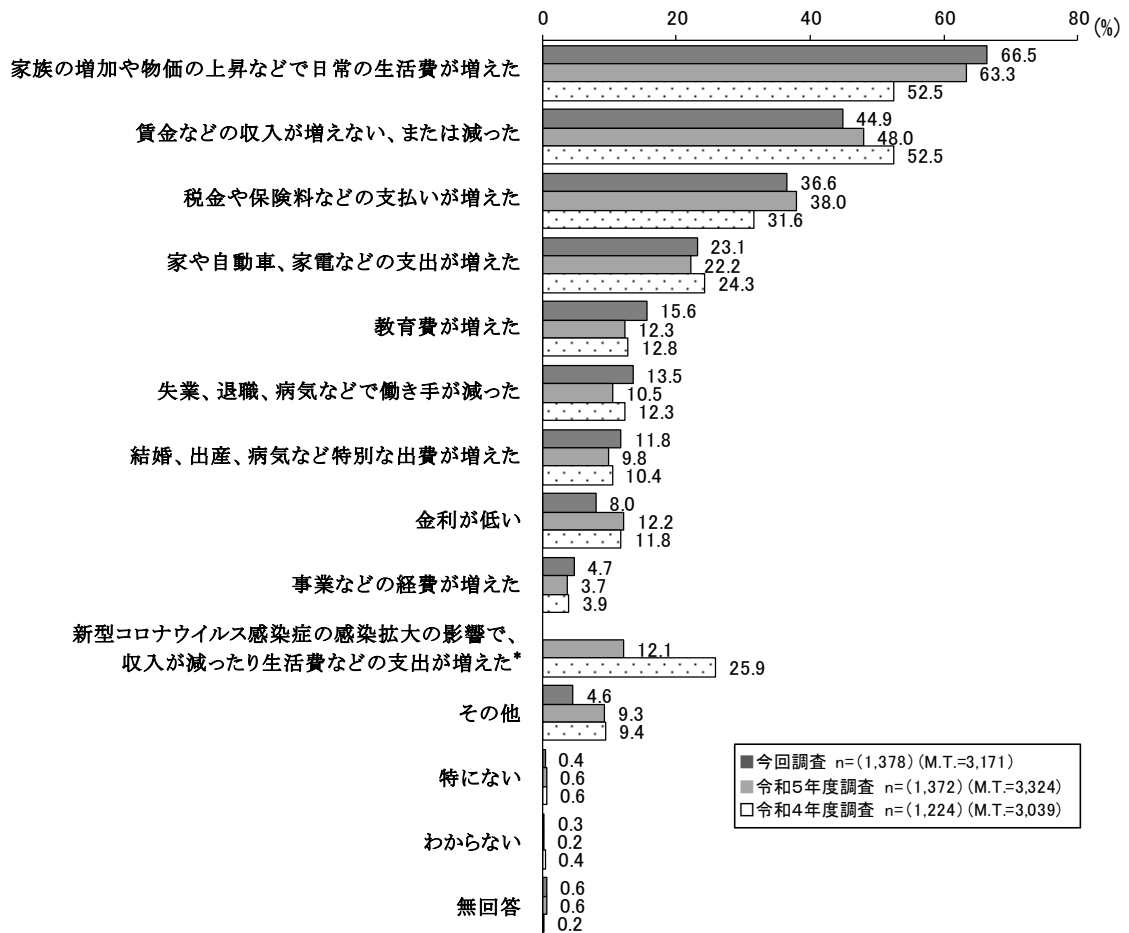
○昨年と比べた暮らし向き・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

| | 調査数 n | 楽になった | 少し楽になった | 少し苦しくなった | 苦しくなった | 変わらない | わからない | 無回答 | （%） | |
|-----------------|----------|-------|---------|----------|--------|-------|-------|-----|----------|-----------|
| | | | | | | | | | 楽になった（計） | 苦しくなった（計） |
| 全体 | 2,502 | 1.6 | 3.8 | 31.5 | 23.6 | 37.3 | 1.9 | 0.3 | 5.4 | 55.1 |
| 地域別 | | | | | | | | | | |
| 南部地域 | 249 | 0.8 | 4.4 | 34.5 | 18.1 | 40.6 | 1.2 | 0.4 | 5.2 | 52.6 |
| 南西部地域 | 218 | 1.4 | 3.2 | 31.7 | 22.9 | 38.5 | 2.3 | - | 4.6 | 54.6 |
| 東部地域 | 357 | 3.6 | 3.9 | 29.7 | 24.4 | 36.1 | 1.7 | 0.6 | 7.6 | 54.1 |
| さいたま地域 | 476 | 1.7 | 3.8 | 31.9 | 21.6 | 38.7 | 1.7 | 0.6 | 5.5 | 53.6 |
| 県央地域 | 210 | 0.5 | 4.3 | 39.5 | 22.9 | 31.4 | 1.4 | - | 4.8 | 62.4 |
| 川越比企地域 | 262 | 0.8 | 5.0 | 30.5 | 29.0 | 32.8 | 1.9 | - | 5.7 | 59.5 |
| 西部地域 | 270 | 1.9 | 3.3 | 31.9 | 19.3 | 40.4 | 3.3 | - | 5.2 | 51.1 |
| 利根地域 | 209 | 1.0 | 2.4 | 29.7 | 26.3 | 38.3 | 1.9 | 0.5 | 3.3 | 56.0 |
| 北部地域 | 173 | 1.2 | 4.0 | 22.5 | 30.6 | 39.9 | 1.7 | - | 5.2 | 53.2 |
| 秩父地域 | 30 | - | 3.3 | 30.0 | 33.3 | 33.3 | - | - | 3.3 | 63.3 |
| 性・年代別 | | | | | | | | | | |
| 男性／18・19歳 | 9 | - | 22.2 | 11.1 | 22.2 | 22.2 | 22.2 | - | 22.2 | 33.3 |
| 20歳代 | 63 | 3.2 | 6.3 | 20.6 | 20.6 | 44.4 | 4.8 | - | 9.5 | 41.3 |
| 【再掲】10歳代・20歳代 | 72 | 2.8 | 8.3 | 19.4 | 20.8 | 41.7 | 6.9 | - | 11.1 | 40.3 |
| 30歳代 | 93 | 3.2 | 6.5 | 23.7 | 31.2 | 33.3 | 2.2 | - | 9.7 | 54.8 |
| 40歳代 | 158 | 0.6 | 6.3 | 32.9 | 28.5 | 30.4 | 1.3 | - | 7.0 | 61.4 |
| 50歳代 | 230 | 2.6 | 5.2 | 28.3 | 24.8 | 38.3 | 0.9 | - | 7.8 | 53.0 |
| 60歳代 | 224 | 0.4 | 4.0 | 35.3 | 23.2 | 35.7 | 1.3 | - | 4.5 | 58.5 |
| 70歳以上 | 307 | 1.3 | 1.6 | 36.8 | 19.2 | 38.8 | 1.0 | 1.3 | 2.9 | 56.0 |
| 女性／18・19歳 | 15 | - | 6.7 | - | 13.3 | 73.3 | 6.7 | - | 6.7 | 13.3 |
| 20歳代 | 102 | 3.9 | 6.9 | 28.4 | 18.6 | 39.2 | 2.9 | - | 10.8 | 47.1 |
| 【再掲】10歳代・20歳代 | 117 | 3.4 | 6.8 | 24.8 | 17.9 | 43.6 | 3.4 | - | 10.3 | 42.7 |
| 30歳代 | 162 | 2.5 | 4.3 | 31.5 | 27.8 | 33.3 | 0.6 | - | 6.8 | 59.3 |
| 40歳代 | 207 | 2.4 | 3.4 | 30.4 | 24.6 | 37.2 | 1.9 | - | 5.8 | 55.1 |
| 50歳代 | 273 | 1.1 | 3.3 | 34.8 | 20.5 | 38.5 | 1.8 | - | 4.4 | 55.3 |
| 60歳代 | 222 | 0.5 | 3.6 | 31.5 | 29.7 | 33.8 | 0.9 | - | 4.1 | 61.3 |
| 70歳以上 | 345 | 0.6 | 1.7 | 33.0 | 17.4 | 44.3 | 2.0 | 0.9 | 2.3 | 50.4 |
| 職業別 | | | | | | | | | | |
| 自営業・家族従業（計） | 193 | 1.0 | 4.1 | 29.5 | 26.9 | 36.3 | 1.6 | 0.5 | 5.2 | 56.5 |
| 雇用者（計） | 1,293 | 1.9 | 4.8 | 30.6 | 24.1 | 37.2 | 1.3 | 0.1 | 6.7 | 54.7 |
| 無職（計） | 958 | 0.9 | 2.5 | 33.6 | 21.9 | 37.9 | 2.6 | 0.5 | 3.4 | 55.5 |
| ライフステージ別 | | | | | | | | | | |
| 独身期 | 249 | 2.8 | 5.6 | 18.9 | 20.9 | 46.6 | 5.2 | - | 8.4 | 39.8 |
| 家族形成期 | 141 | 2.8 | 8.5 | 32.6 | 29.1 | 25.5 | 1.4 | - | 11.3 | 61.7 |
| 家族成長前期 | 240 | 1.3 | 3.8 | 37.9 | 25.8 | 30.0 | 1.3 | - | 5.0 | 63.8 |
| 家族成長後期 | 177 | 2.3 | 3.4 | 33.3 | 29.9 | 29.4 | 1.7 | - | 5.6 | 63.3 |
| 家族成熟期 | 422 | 2.4 | 3.8 | 32.0 | 24.6 | 35.3 | 1.7 | 0.2 | 6.2 | 56.6 |
| 高齢期 | 614 | 0.2 | 2.8 | 33.2 | 20.0 | 42.0 | 1.0 | 0.8 | 2.9 | 53.3 |
| その他 | 659 | 1.7 | 3.3 | 31.3 | 23.5 | 37.9 | 2.1 | 0.2 | 5.0 | 54.8 |

(1-1) 暮らし向きが苦しくなった理由

◇「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」(66.5%)が最も高い

(問1で「3. 少し苦しくなった」または「4. 苦しくなった」とお答えの方にお伺いします。)
 問1-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」は令和5年度調査までの選択肢

暮らし向きが苦しくなった理由は、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」(66.5%)が6割台半ばを超え最も高く、次いで「賃金などの収入が増えない、または減った」(44.9%)が4割台半ば、「税金や保険料などの支払いが増えた」(36.6%)、「家や自動車、家電などの支出が増えた」(23.1%)、「教育費が増えた」(15.6%)などとなっている。

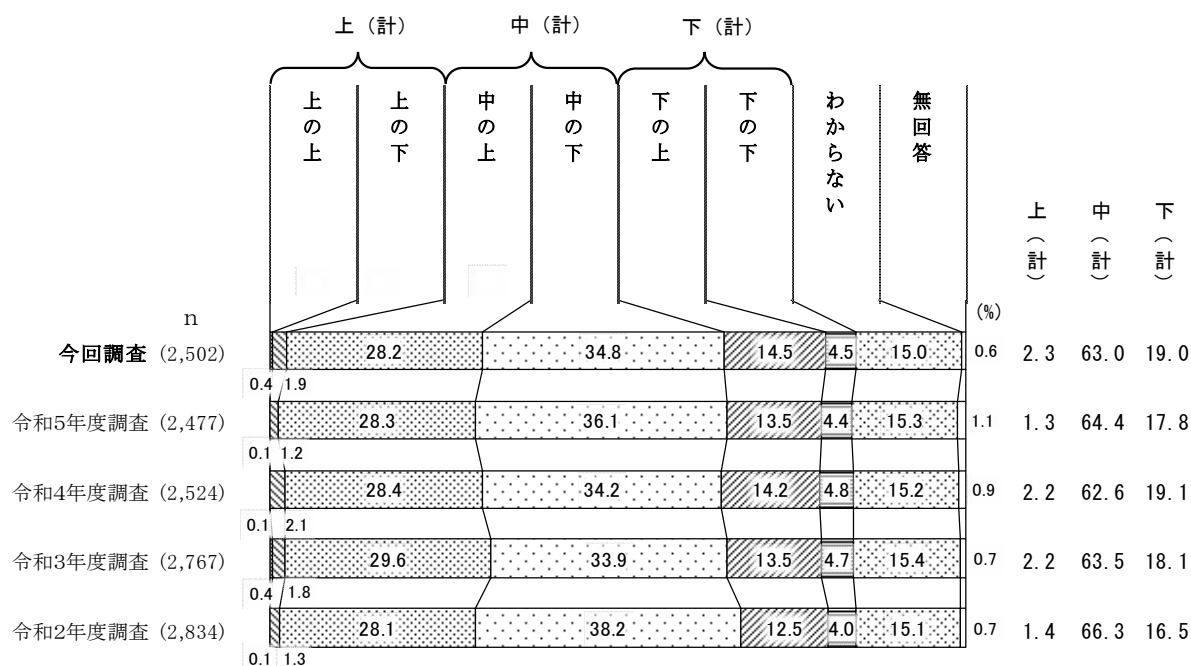
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

(2) 生活程度

◇『中(計)』が63.0%、一方『下(計)』は19.0%

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、次の中のどれに属すると思いますか。
(○は1つだけ)



世間一般からみた生活程度は、「中の下」(34.8%)が3割台半ばと最も高く、次いで「中の上」(28.2%)となっている。両者を合わせた『中(計)』(63.0%)は6割強となっている。同様に、「下の上」(14.5%)と「下の下」(4.5%)を合わせた『下(計)』(19.0%)は約2割、「上の下」(1.9%)と「上の上」(0.4%)を合わせた『上(計)』は2.3%となっている。

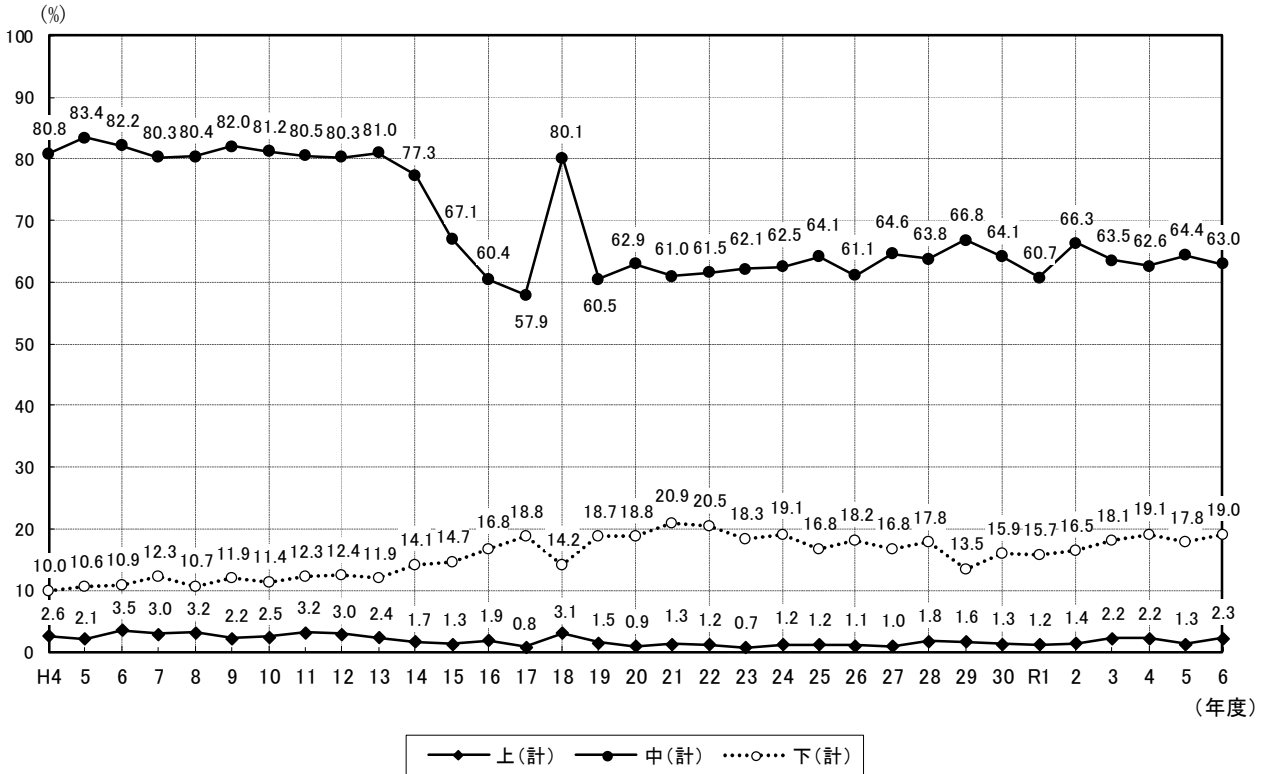
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【経年比較】

平成19年度以降、『中（計）』は6割台で推移しており、今回調査では前回調査から減少した。また、『下（計）』は平成29年度調査以降、おおむね増加傾向にあり、今回調査では前回調査から増加した。

○生活程度・平成4年度以降の推移

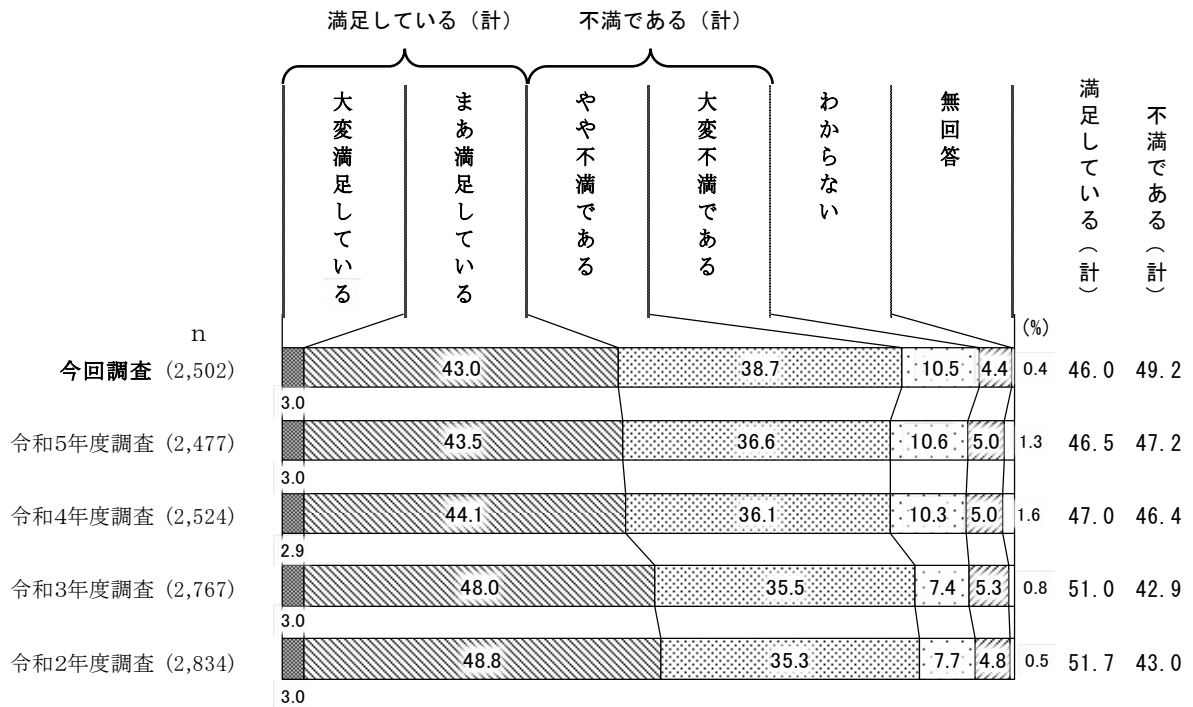


※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

(3) 生活全体の満足度

◇『満足している（計）』は46.0%、『不満である（計）』は49.2%

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。
 (○は1つだけ)



生活全体に対する満足度は、「まあ満足している」(43.0%)が4割強で最も高く、次いで「やや不満である」(38.7%)となっている。「大変満足している」(3.0%)と「まあ満足している」(43.0%)を合わせた『満足している(計)』(46.0%)は4割台半ばを超え、「大変不満である」(10.5%)と「やや不満である」(38.7%)を合わせた『不満である(計)』(49.2%)は約5割となっている。

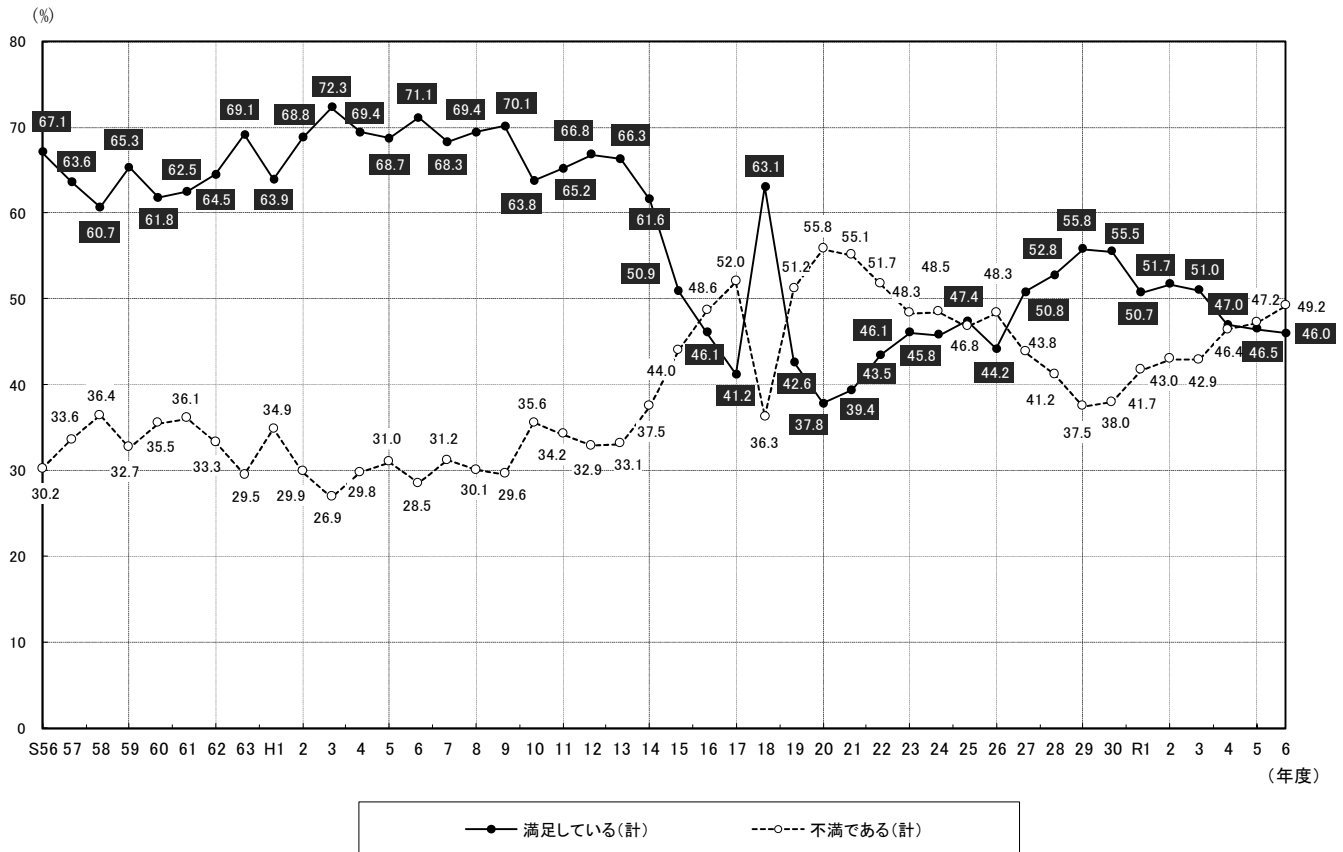
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、令和2年度以降『満足している(計)』は減少傾向にある。

【経年比較】

昭和56年度以降の推移をみると、平成19年度以降『満足している(計)』の割合が『満足している(計)』をおおむね上回る傾向にあったが、『満足している(計)』の割合が平成27年度調査(50.8%)で5割を超えて逆転した。しかし前回調査から、再び『不満である(計)』が『満足している(計)』を上回る結果となった。

○生活全体の満足度・昭和56年度以降の推移

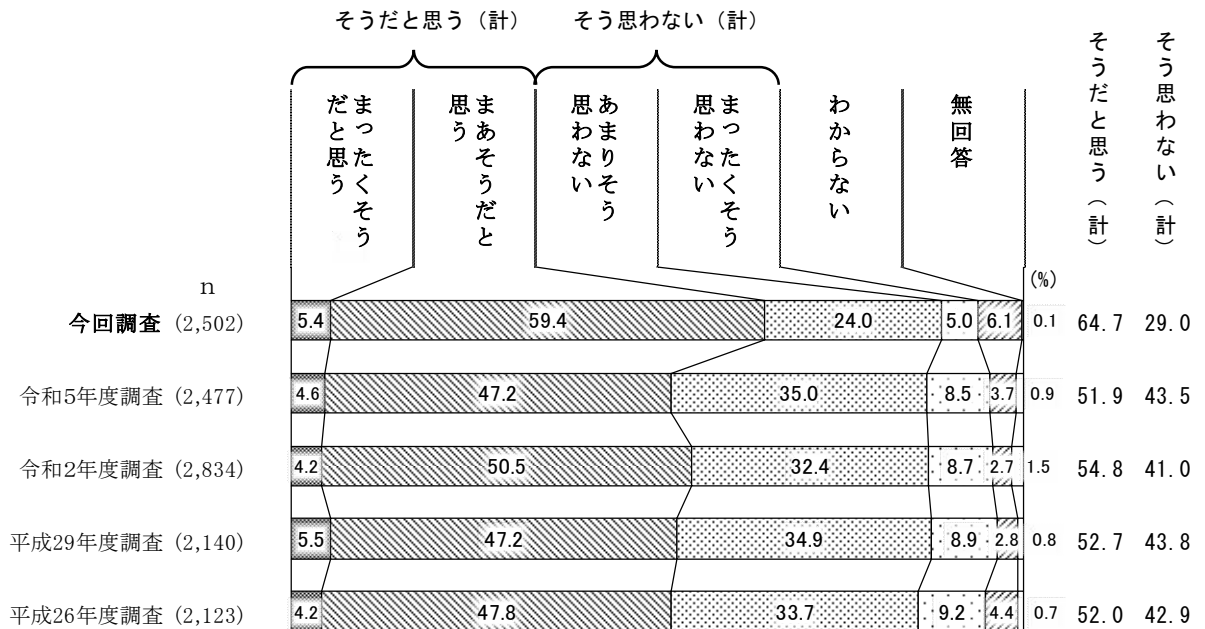


※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

(4) 地域の安全性

◇『そうだと思う(計)』は64.7%、『そう思わない(計)』は29.0%

問4 あなたは、日頃の生活の中で今お住まいの地域について、犯罪におびやかされることなく生活ができると感じますか。(〇は1つだけ)



地域の安全性は、「まあそうだと思う」(59.4%)が約6割と最も高く、次いで「あまりそう思わない」(24.0%)となっている。「まったくそうだと思う」(5.4%)と「まあそうだと思う」(59.4%)を合わせた『そうだと思う(計)』(64.7%)は6割台半ば、「まったくそう思わない」(5.0%)と「あまりそう思わない」(24.0%)を合わせた『そう思わない(計)』(29.0%)は約3割となっている。

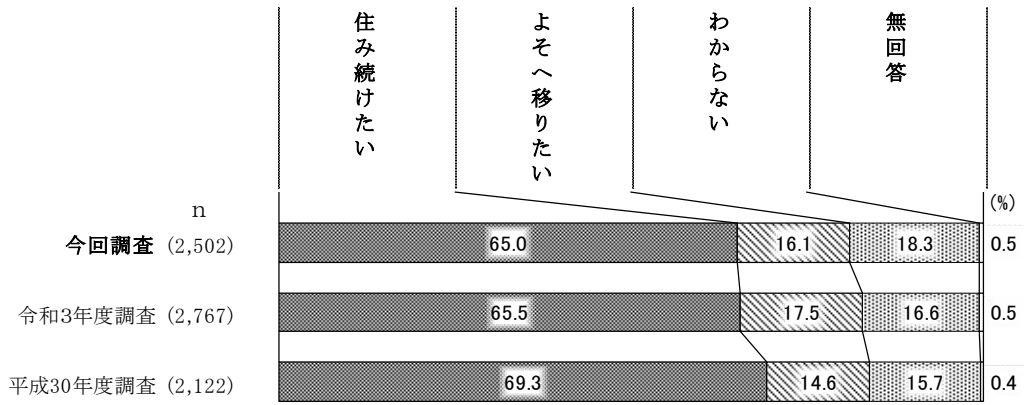
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、『そう思わない(計)』(29.0%)が14.5ポイント減少している。

(5) 定住意向

◇「住み続けたい」は65.0%、「よそへ移りたい」は16.1%

問5 あなたは、今お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。それとも、できればよそへ移りたいと思いますか。(〇は1つだけ)



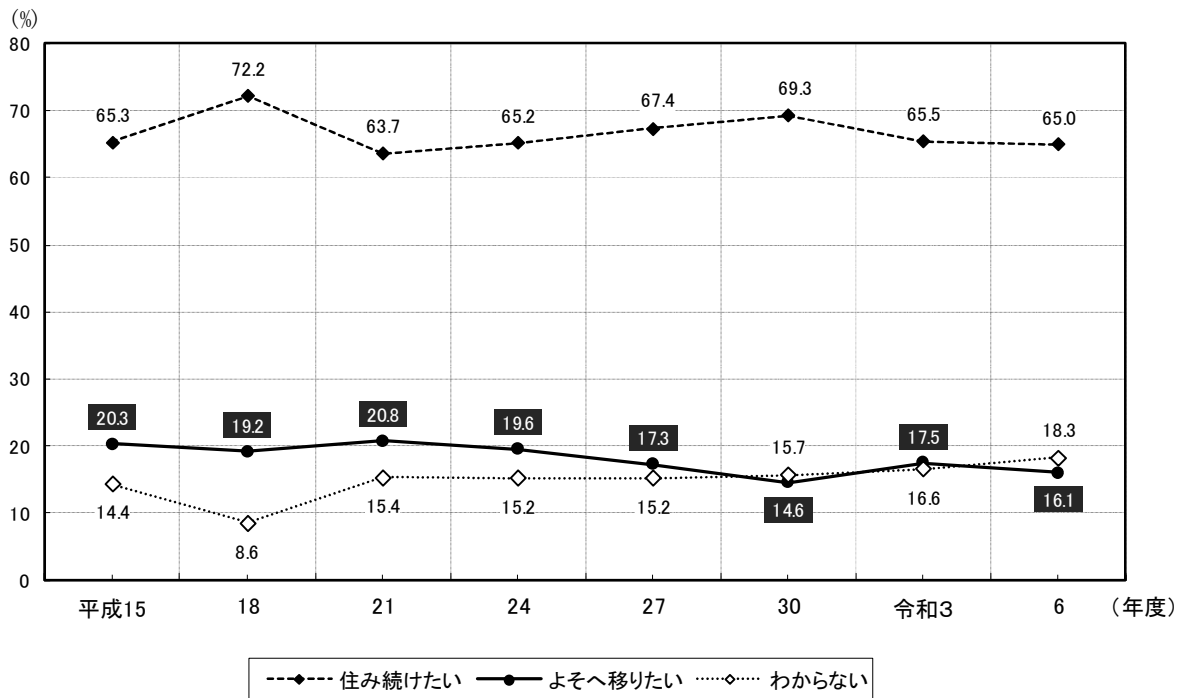
※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

居住地域に住み続ける意向は、「住み続けたい」(65.0%)が6割台半ばとなっている。

【経年比較】

令和3年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

○定住意向・平成15年度以降の推移

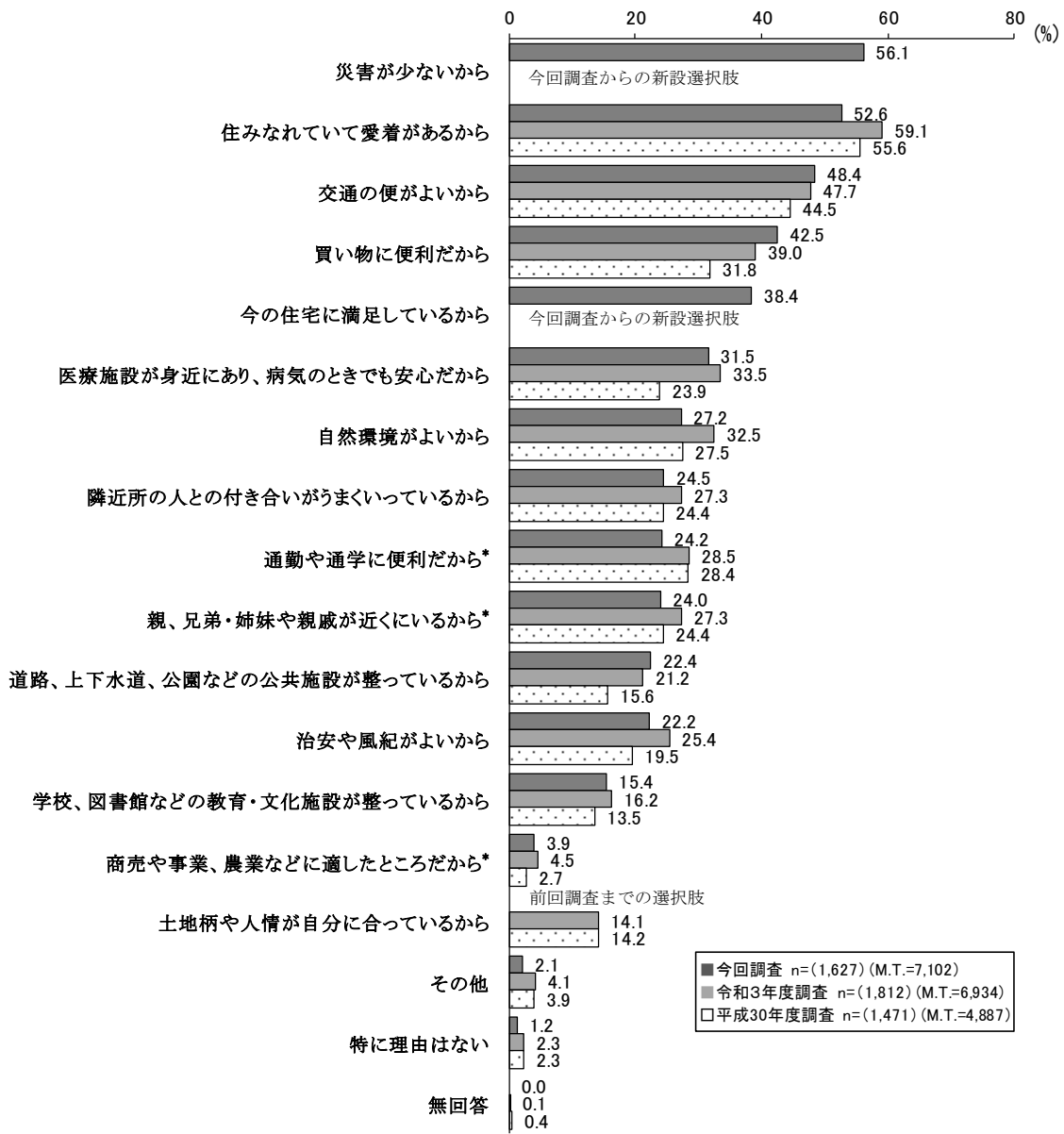


※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

(5-1) 定住したい理由

◇「災害が少ないから」が56.1%

(問5で「1. 住み続けたい」とお答えの方にお伺いします。)
 問5-1 今お住まいの地域に住み続けたいと思う理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

※令和3年度までは「通勤や仕事に便利だから」「親、兄弟や親戚が近くにいるから」「商業や事業などに適したところだから」

定住したい理由は、「災害が少ないから」(56.1%)が5割台半ばを超えて最も高く、次いで「住みなれていて愛着があるから」(52.6%)、「交通の便がよいから」(48.4%)、「買い物に便利だから」(42.5%)、「今の住宅に満足しているから」(38.4%)、「医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから」(31.5%)、「自然環境がよいから」(27.2%)、「隣近所の人との付き合いがうまくいっているから」(24.5%)、「通勤や通学に便利だから」(24.2%)、「親、兄弟・姉妹や親戚が近くにいるから」(24.0%)などとなっている。

定住したい理由で高かった回答の上位10位と、前回（令和3年度調査）の順位は次のようになっている。

| | | 今 回 | 前回（令和3年度調査） | | 増減差 |
|-----|----------------------------|-------|-------------|------|-------|
| 1位 | 災害が少ないから | 56.1% | - | - | - |
| 2位 | 住みなれていて愛着があるから | 52.6 | 59.1% | (1位) | △ 6.5 |
| 3位 | 交通の便がよいから | 48.4 | 47.7 | (2位) | 0.7 |
| 4位 | 買い物に便利だから | 42.5 | 39.0 | (3位) | 3.5 |
| 5位 | 今の住宅に満足しているから | 38.4 | - | - | - |
| 6位 | 医療施設が身近にあり、病気の時 でも安心だから | 31.5 | 33.5 | (4位) | △ 2.0 |
| 7位 | 自然環境がよいから | 27.2 | 32.5 | (5位) | △ 5.3 |
| 8位 | 隣近所の人との付き合いがうまく いっているから | 24.5 | 27.3 | (7位) | △ 2.8 |
| 9位 | 通勤や通学に便利だから | 24.2 | 28.5 | (6位) | △ 4.3 |
| 10位 | 親、兄弟・姉妹や親戚が近くにいる から | 24.0 | 27.3 | (7位) | △ 3.3 |

【令和3年度調査との比較】

今回の上位10位を前回の令和3年度調査と比較すると、今回調査からの新設項目「災害が少ないから」が1位、「今の住宅に満足しているから」が5位のため、全体的に順位を下げている。

前回との増減をみると、新設項目と「買い物に便利だから」、「交通の便がよいから」を除いたすべての項目で減少となっており、「住みなれていて愛着があるから」（6.5ポイント減）、「自然環境がよいから」（5.3ポイント減）が5%以上の減少となっている。

【平成24年度以降の上位10位の推移】

平成24年度以降の5回の調査の上位10位の推移をみると、今回1位の「災害が少ないから」と5位の「今の住宅に満足しているから」は新設項目となっている。2位の「住みなれていて愛着があるから」と、3位の「交通の便がよいから」、4位の「買い物に便利だから」は、順位の上下はあるが5回とも4位以内を維持している。6位の「医療施設が身近にあり、病気のと看でも安心だから」は平成24年から1つ順位を上げている一方、7位の「自然環境がよいから」は平成24年から4つ順位を下げている。

| 順位 | 平成24年度 | 平成27年度 | 平成30年度 | 令和3年度 | 令和6年度 |
|----|----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| 1 | 住みなれていて愛着があるから 59.3% | 住みなれていて愛着があるから 57.1% | 住みなれていて愛着があるから 55.6% | 住みなれていて愛着があるから 59.1% | 災害が少ないから 56.1% |
| 2 | 交通の便がよいから 41.7% | 交通の便がよいから 42.1% | 交通の便がよいから 44.5% | 交通の便がよいから 47.7% | 住みなれていて愛着があるから 52.6% |
| 3 | 自然環境がよいから 37.1% | 買い物に便利だから 33.8% | 買い物に便利だから 31.8% | 買い物に便利だから 39.0% | 交通の便がよいから 48.4% |
| 4 | 買い物に便利だから 32.4% | 自然環境がよいから 30.8% | 通勤や仕事に便利だから 28.4% | 医療施設が身近にあり、病気のと看でも安心だから 33.5% | 買い物に便利だから 42.5% |
| 5 | 隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 29.1% | 隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 30.7% | 自然環境がよいから 27.5% | 自然環境がよいから 32.5% | 今の住宅に満足しているから 38.4% |
| 6 | 親、兄弟や親戚が近くにいるから 26.9% | 親、兄弟や親戚が近くにいるから 25.4% | 隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 24.4% | 通勤や仕事に便利だから 28.5% | 医療施設が身近にあり、病気のと看でも安心だから 31.5% |
| 7 | 医療施設が身近にあり、病気のと看でも安心だから 24.8% | 医療施設が身近にあり、病気のと看でも安心だから 25.3% | 親、兄弟や親戚が近くにいるから 24.4% | 隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 27.3% | 自然環境がよいから 27.2% |
| 8 | 通勤や仕事に便利だから 24.3% | 通勤や仕事に便利だから 24.7% | 医療施設が身近にあり、病気のと看でも安心だから 23.9% | 親、兄弟や親戚が近くにいるから 27.3% | 隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 24.5% |
| 9 | 治安や風紀がよいから 19.0% | 治安や風紀がよいから 22.3% | 治安や風紀がよいから 19.5% | 治安や風紀がよいから 25.4% | 通勤や通学に便利だから 24.2% |
| 10 | 土地がらや人情が自分に合っていることから 16.7% | 道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから 16.7% | 道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから 15.6% | 道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから 21.2% | 親、兄弟・姉妹や親戚が近くにいるから 24.0% |

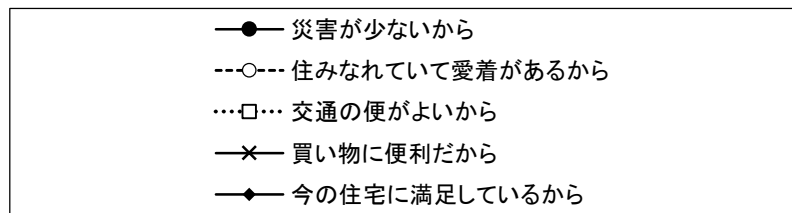
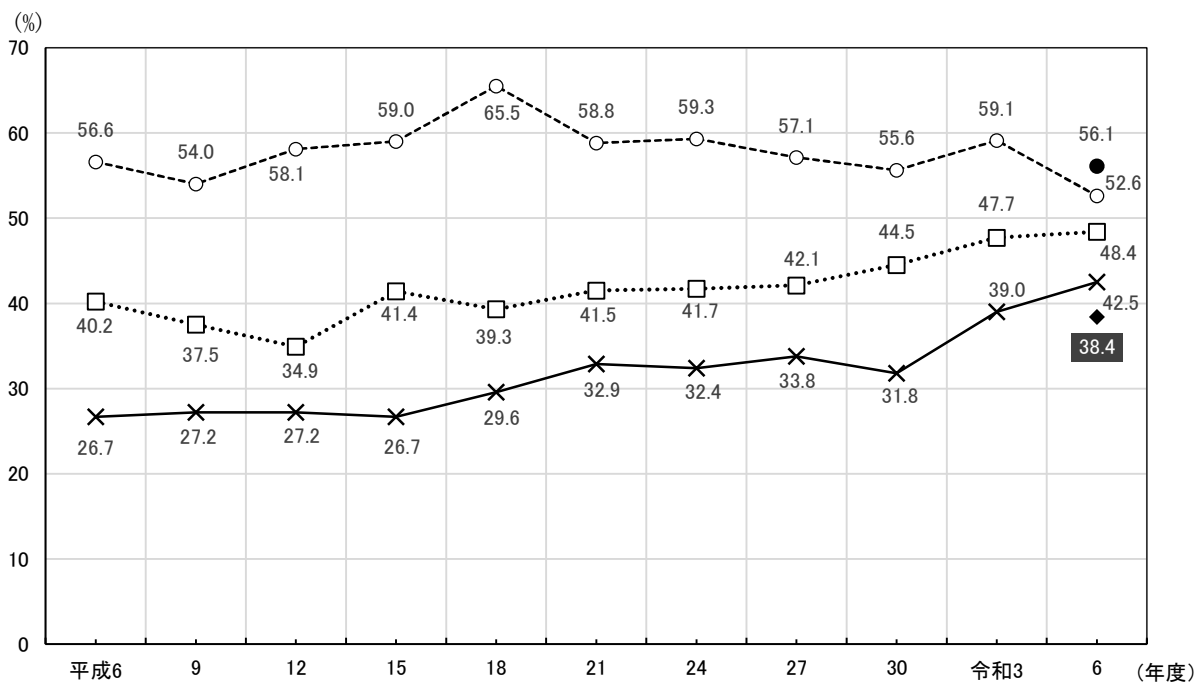
【上位5位の推移】

今回からの新設選択肢の「災害が少ないから」「今の住宅に満足しているから」を除いて、今回調査で上位となった「住みなれていて愛着があるから」、「交通の便がよいから」、「買い物に便利だから」の3項目について、平成6年度以降の推移をみると次のようになっている。

2位の「住みなれていて愛着があるから」は平成6年度以降おおむね5割台を維持しているが、平成18年度以降減少傾向にあり、今回は52.6%まで下がった。

3位の「交通の便がよいから」は平成15年度以降、おおむね4割台を維持しており、6回連続で上昇し今回は48.4%まで上がった。

4位の「買い物に便利だから」は平成21年度以降3割台で推移していたが、今回は42.5%まで上がった。

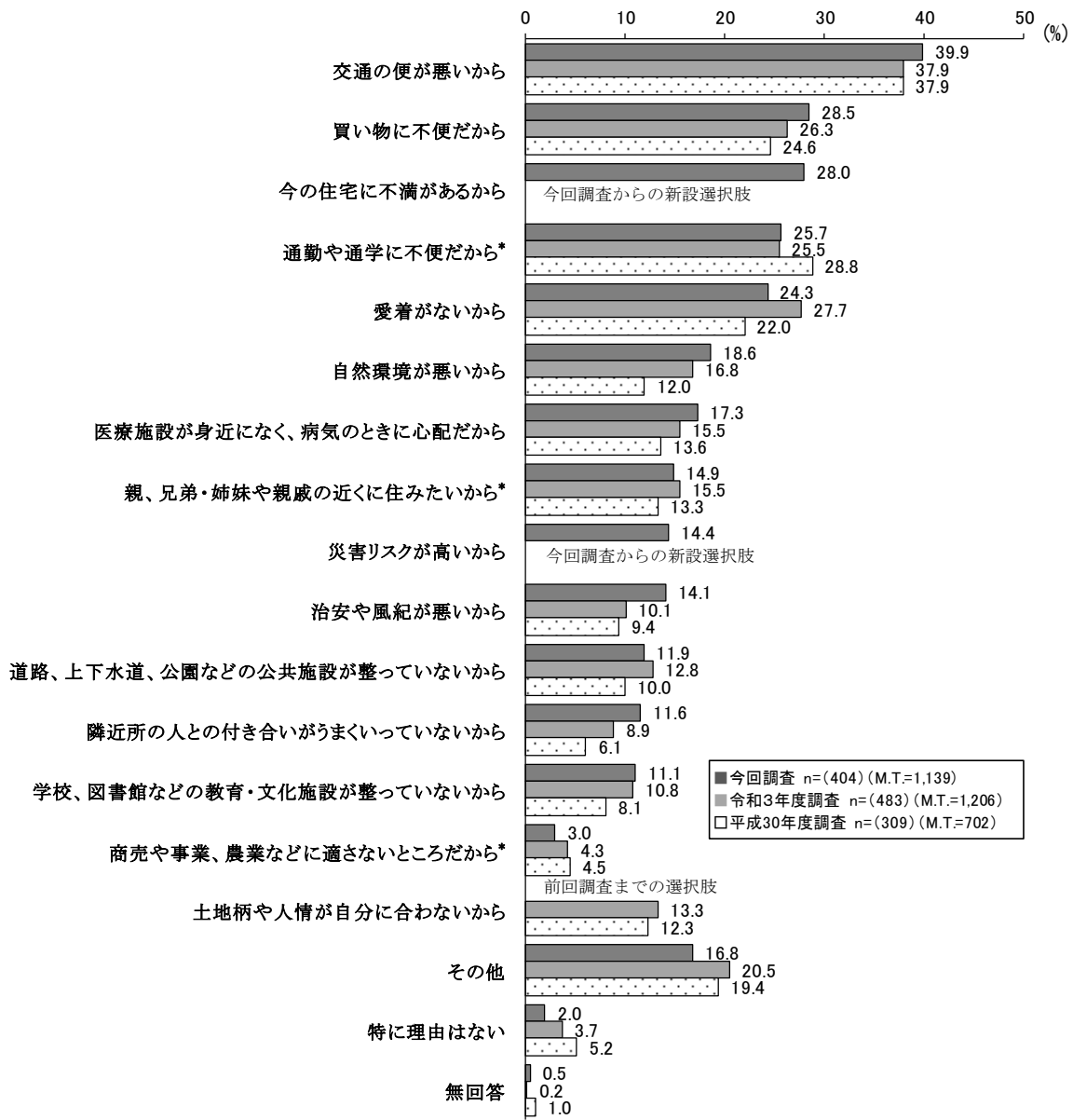


※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

(5-2) 転出したい理由

◇「交通の便が悪いから」が39.9%

(問5で「2. よそへ移りたい」とお答えの方にお伺いします。)
 問5-2 今お住まいの地域からよそへ移りたいと思う理由は何ですか。あてはまるものすべてを選んでください。(〇はいくつでも)



※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

※令和3年度までは「通勤や仕事に不便だから」「親、兄弟や親戚の近くに住みたいから」「商業や事業などに適さないところだから」

今の地域からよその地域へ移り住みたいと思う理由は、「交通の便が悪いから」(39.9%)が約4割と最も高く、次いで「買い物に不便だから」(28.5%)、「今の住宅に不満があるから」(28.0%)、「通勤や通学に不便だから」(25.7%)、「愛着がないから」(24.3%)、「自然環境が悪いから」(18.6%)、「医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから」(17.3%)、「親、兄弟・姉妹や親戚の近くに住みたいから」(14.9%)、「災害リスクが高いから」(14.4%)、「治安や風紀が悪いから」(14.1%)などとなっている。

転出したい理由で高かった回答の上位10位と、前回（令和3年度調査）の順位は次のようになっている。

| | | 今 回 | 前回（令和3年度調査） | | 増減差 |
|-----|------------------------|-------|-------------|-------|-------|
| 1位 | 交通の便が悪いから | 39.9% | 37.9% | (1位) | 2.0 |
| 2位 | 買い物に不便だから | 28.5 | 26.3 | (3位) | 2.2 |
| 3位 | 今の住宅に不満があるから | 28.0 | - | - | - |
| 4位 | 通勤や通学に不便だから | 25.7 | 25.5 | (4位) | 0.2 |
| 5位 | 愛着がないから | 24.3 | 27.7 | (2位) | △ 3.4 |
| 6位 | 自然環境が悪いから | 18.6 | 16.8 | (5位) | 1.8 |
| 7位 | 医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから | 17.3 | 15.5 | (6位) | 1.8 |
| 8位 | 親、兄弟・姉妹や親戚の近くに住みたいから | 14.9 | 15.5 | (6位) | △ 0.6 |
| 9位 | 災害リスクが高いから | 14.4 | - | - | - |
| 10位 | 治安や風紀が悪いから | 14.1 | 10.1 | (11位) | 4.0 |

【令和3年度調査との比較】

今回の上位10位と前回の令和3年度調査を比較すると、「買い物に不便だから」が3位から2位に順位を上げ、「治安や風紀が悪いから」が10位に入り込んでいる。一方、「愛着がないから」は2位から5位に順位を下げている。

前回との増減をみると、増加では「治安や風紀が悪いから」が4.0ポイント増とほとんどの項目で増加しているが、「愛着がないから」（3.4ポイント減）と「親、兄弟・姉妹や親戚の近くに住みたいから」（0.6ポイント減）が減少となっている。

【平成24年度以降の上位10位の推移】

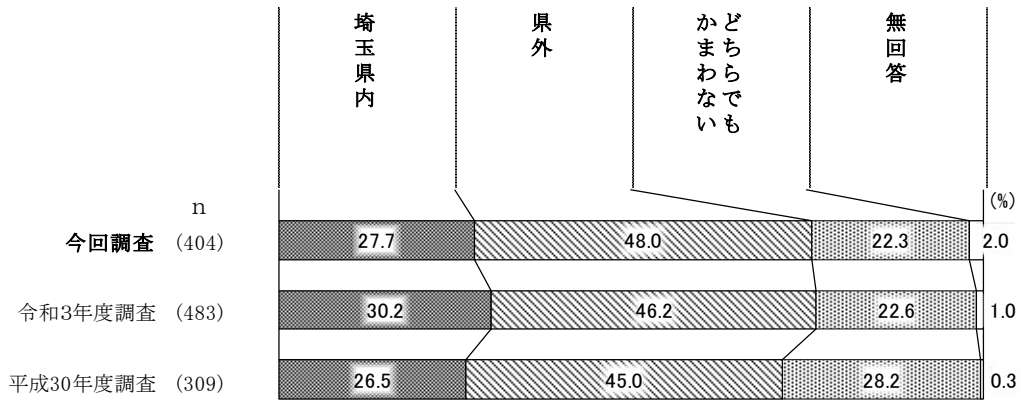
平成24年度以降の5回の調査の上位10位の推移をみると、「交通の便が悪いから」が5回連続で転出したい理由の1位となっている。2位の「買い物に不便だから」、4位の「通勤や通学に不便だから」は順位の上下はあるものの、5回の調査すべてで2位から4位を維持している。6位の「自然環境が悪いから」は前回5位から1つ順位を下げ、7位の「医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから」は前回の同率6位から順位を維持しているが、いずれも回答割合は上昇している。

| 順位 | 平成24年度 | 平成27年度 | 平成30年度 | 令和3年度 | 令和6年度 |
|----|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|
| 1 | 交通の便が悪いから 28.6% | 交通の便が悪いから 36.2% | 交通の便が悪いから 37.9% | 交通の便が悪いから 37.9% | 交通の便が悪いから 39.9% |
| 2 | 愛着がないから 21.6% | 通勤や仕事に不便だから 27.3% | 通勤や仕事に不便だから 28.8% | 愛着がないから 27.7% | 買い物に不便だから 28.5% |
| 3 | 通勤や仕事に不便だから 20.7% | 買い物に不便だから 23.3% | 買い物に不便だから 24.6% | 買い物に不便だから 26.3% | 今の住宅に不満があるから 28.0% |
| 4 | 買い物に不便だから 15.3% | 愛着がないから 19.6% | 愛着がないから 22.0% | 通勤や仕事に不便だから 25.5% | 通勤や通学に不便だから 25.7% |
| 5 | 親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 14.9% | 親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 16.6% | 医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから 13.6% | 自然環境が悪いから 16.8% | 愛着がないから 24.3% |
| 6 | 自然環境が悪いから 12.3% | 医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから 13.4% | 親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 13.3% | 医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから 13.3% | 自然環境が悪いから 18.6% |
| 7 | 土地がらや人情が自分に合わないから 11.4% | 道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 12.1% | 土地がらや人情が自分に合わないから 12.3% | 親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 15.5% | 医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから 17.3% |
| 8 | 医療施設が身近になく、病気のとくに心配だから 9.8% | 土地がらや人情が自分に合わないから 10.7% | 自然環境が悪いから 12.0% | 土地柄や人情が自分に合わないから 13.3% | 親、兄弟・姉妹や親戚の近くに住みたいから 14.9% |
| 9 | 道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 9.1% | 自然環境が悪いから 10.2% | 道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 10.0% | 道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 12.8% | 災害リスクが高いから 14.4% |
| 10 | 治安や風紀が悪いから 7.4% | 学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから 9.7% | 治安や風紀が悪いから 9.4% | 学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから 10.8% | 治安や風紀が悪いから 14.1% |

(5-3) 転出先

◇「県外」が48.0%

(問5で「2. よそへ移りたい」とお答えの方にお伺いします。)
 問5-3 よそへ移るとしたら、埼玉県内ですか。それとも県外ですか。(○は1つだけ)



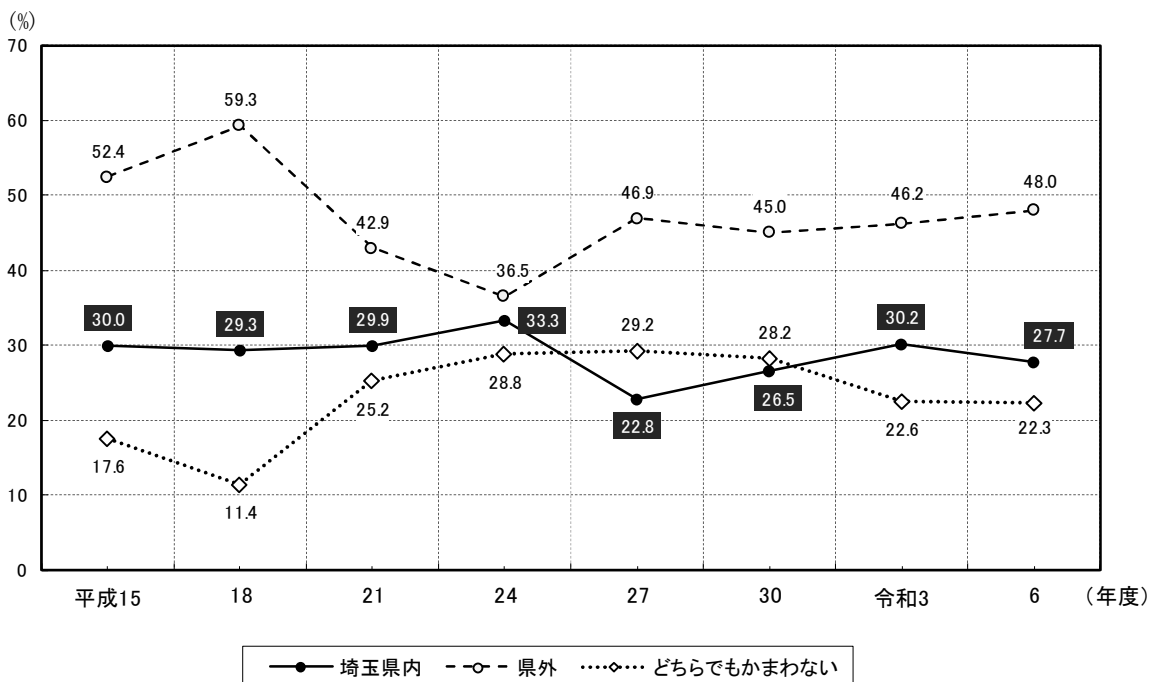
※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

転出先は、「県外」(48.0%)が5割弱と最も高く、次いで「埼玉県内」(27.7%)、「どちらでもかまわない」(22.3%)の順となっている。

【経年比較】

平成15年度以降(3年毎)に実施した調査結果の推移をみると、「県外」は平成18年度以降減少傾向であったが、平成27年度調査以降は4割台で推移している。「埼玉県内」は平成27年度調査で2割台前半に下がったが、今回調査では2割台半ばを超えている。

○転出先・平成15年度以降の推移



※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

(5-3-1) 移り住みたい都道府県

◇「東京都」が35.6%

(問5-3で「2. 県外」とお答えの方にお伺いします。)

問5-3-1 県外へ移るとしたら、どこの都道府県(または国)へ移りたいですか。

(○は1つだけ)

| 都道府県 | 今回調査 | 令和3年度調査 | 増減差 |
|------|------|---------|------|
| 東京都 | 35.6 | 37.2 | -1.6 |
| 神奈川県 | 9.3 | 11.2 | -1.9 |
| 千葉県 | 7.2 | 3.6 | 3.6 |
| 長野県 | 5.7 | 3.6 | 2.1 |
| 沖縄県 | 4.6 | 5.8 | -1.2 |
| 群馬県 | 4.1 | 3.6 | 0.5 |
| 兵庫県 | 3.1 | 1.3 | 1.8 |
| 静岡県 | 2.6 | 3.1 | -0.5 |
| 北海道 | 2.1 | 4.5 | -2.4 |
| 栃木県 | 2.1 | 1.3 | 0.8 |
| 宮城県 | 1.5 | 0.4 | 1.1 |
| 大阪府 | 1.5 | 0.9 | 0.6 |
| 福岡県 | 1.5 | 1.8 | -0.3 |
| 岩手県 | 1.0 | 0.9 | 0.1 |
| 新潟県 | 1.0 | 0.4 | 0.6 |
| 山梨県 | 1.0 | 0.9 | 0.1 |
| 京都府 | 1.0 | 1.8 | -0.8 |
| 香川県 | 1.0 | 0.9 | 0.1 |
| 青森県 | 0.5 | - | 0.5 |
| 福島県 | 0.5 | 1.8 | -1.3 |

| 都道府県 | 今回調査 | 令和3年度調査 | 増減差 |
|------|-------|---------|------|
| 茨城県 | 0.5 | 2.2 | -1.7 |
| 富山県 | 0.5 | 0.9 | -0.4 |
| 三重県 | 0.5 | - | 0.5 |
| 奈良県 | 0.5 | 1.3 | -0.8 |
| 鳥取県 | 0.5 | - | 0.5 |
| 島根県 | 0.5 | 0.4 | 0.1 |
| 岡山県 | 0.5 | 0.4 | 0.1 |
| 広島県 | 0.5 | - | 0.5 |
| 佐賀県 | 0.5 | 0.4 | 0.1 |
| 熊本県 | 0.5 | - | 0.5 |
| 秋田県 | - | 2.2 | -2.2 |
| 山形県 | - | 0.9 | -0.9 |
| 石川県 | - | 0.4 | -0.4 |
| 愛知県 | - | 1.8 | -1.8 |
| 和歌山県 | - | 0.4 | -0.4 |
| 愛媛県 | - | 1.3 | -1.3 |
| 宮崎県 | - | 0.4 | -0.4 |
| 海外* | 3.6 | - | 3.6 |
| 無回答 | 4.1 | 1.3 | 2.8 |
| | n=194 | n=223 | |

*「海外」は前回の選択肢にはない。

*「福井県」「岐阜県」「滋賀県」「山口県」「徳島県」「高知県」「長崎県」「大分県」「鹿児島県」は今回、前回ともに回答がないため表示していない。

移りたい都道府県は、「東京都」(35.6%)が3割台半ばと最も高く、次いで「神奈川」(9.3%)、「千葉県」(7.2%)、「長野県」(5.7%)などとなっている。

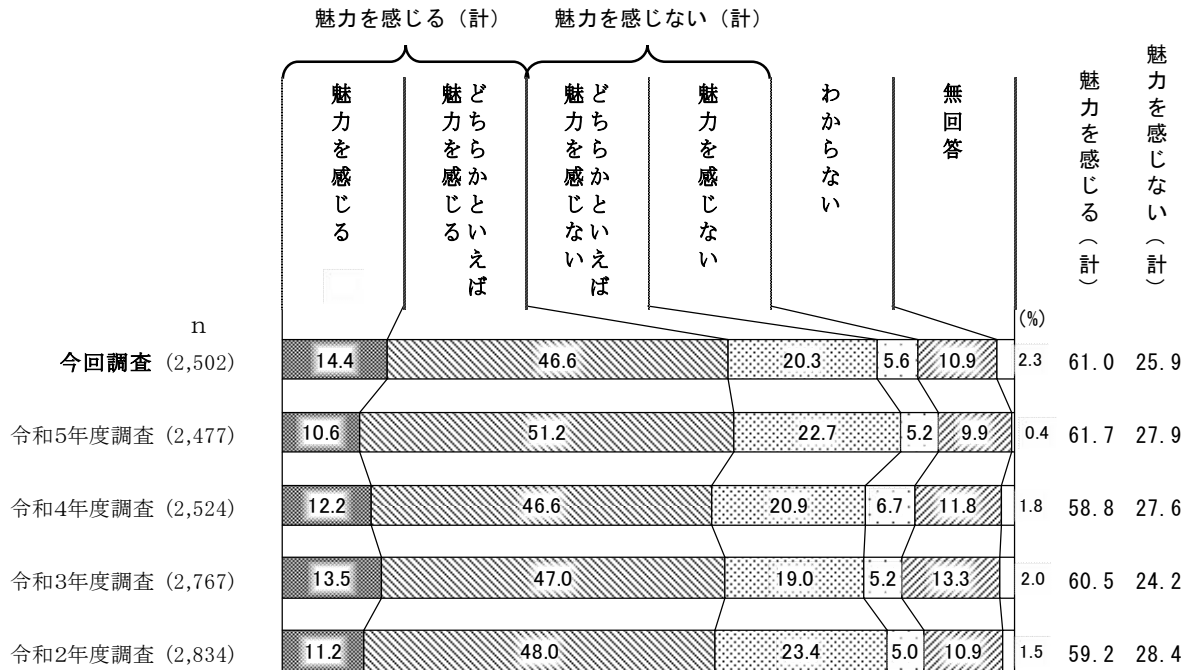
【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べると、東京都(1.6ポイント減)、神奈川県(1.9ポイント減)などが減少しているが、千葉県(3.6ポイント増)、長野県(2.1ポイント増)などで増加となっている。

(6) 埼玉県に魅力を感じるか

◇『魅力を感じる(計)』は61.0%、『魅力を感じない(計)』は25.9%

問6 あなたは、埼玉県に魅力を感じますか。(○は1つだけ)



埼玉県に魅力を感じるかについては、「どちらかといえば魅力を感じる」(46.6%)が4割台半ばを超えて最も高く、「魅力を感じる」(14.4%)と合わせた『魅力を感じる(計)』(61.0%)は6割強となっている。一方で、「魅力を感じない」(5.6%)と「どちらかといえば魅力を感じない」(20.3%)を合わせた『魅力を感じない(計)』(25.9%)は2割台半ばとなっており、『魅力を感じる(計)』が『魅力を感じない(計)』よりも35.1ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

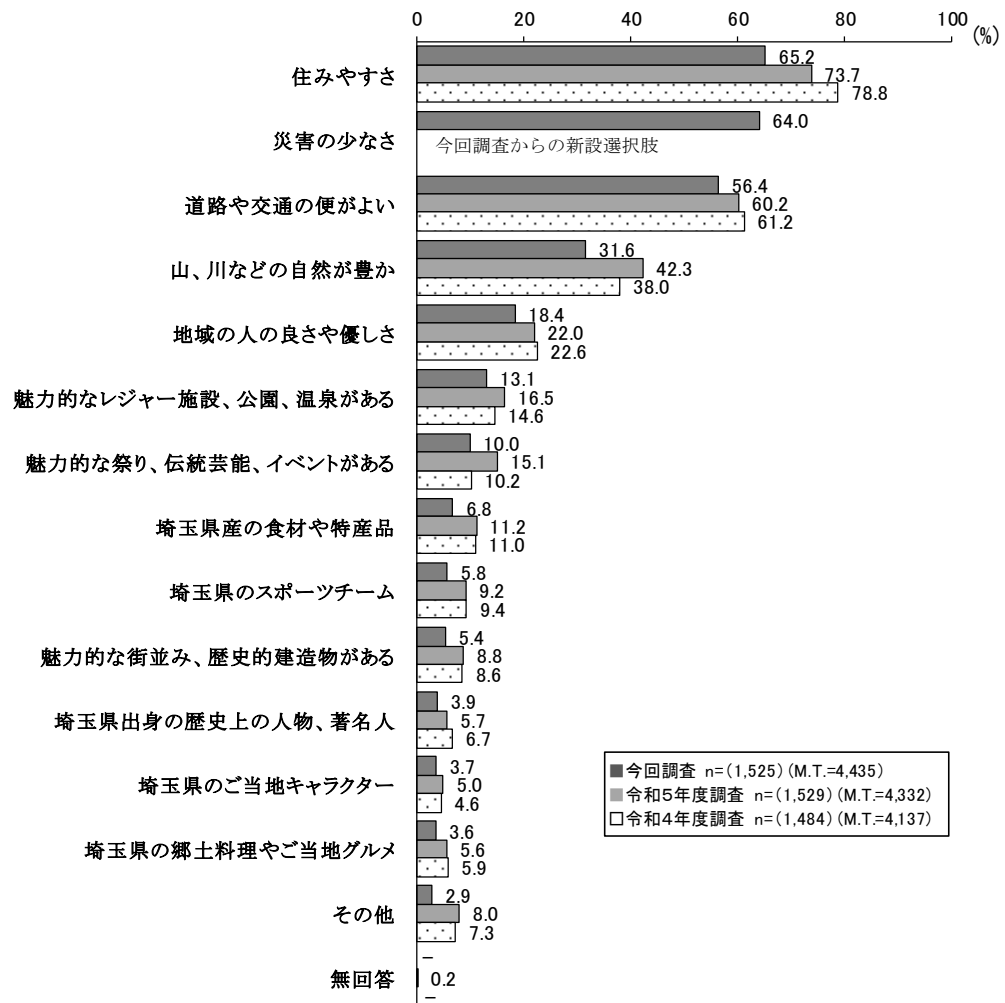
令和5年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

(6-1) 埼玉県で魅力を感じるもの

◇「住みやすさ」が65.2%で第1位、次いで「災害の少なさ」が64.0%

(問6で「1. 魅力を感じる」または「2. どちらかといえば魅力を感じる」とお答えの方にお伺いします。)

問6-1 あなたが埼玉県で魅力を感じるものは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



埼玉県で魅力を感じるものは、「住みやすさ」(65.2%)が6割台半ばと最も高く、次いで「災害の少なさ」(64.0%)、「道路や交通の便がよい」(56.4%)、「山、川などの自然が豊か」(31.6%)、「地域の人の良さや優しさ」(18.4%)、「魅力的なレジャー施設、公園、温泉がある」(13.1%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、全体的に減少しており、「山、川などの自然が豊か」(10.7ポイント減)、「住みやすさ」(8.5ポイント減)、「魅力的な祭り、伝統芸能、イベントがある」(5.1ポイント減)が5ポイント以上減少している。

2. 日常生活

(1) 地域社会活動への参加経験

◇「ある」が38.2%、「ない」が59.9%

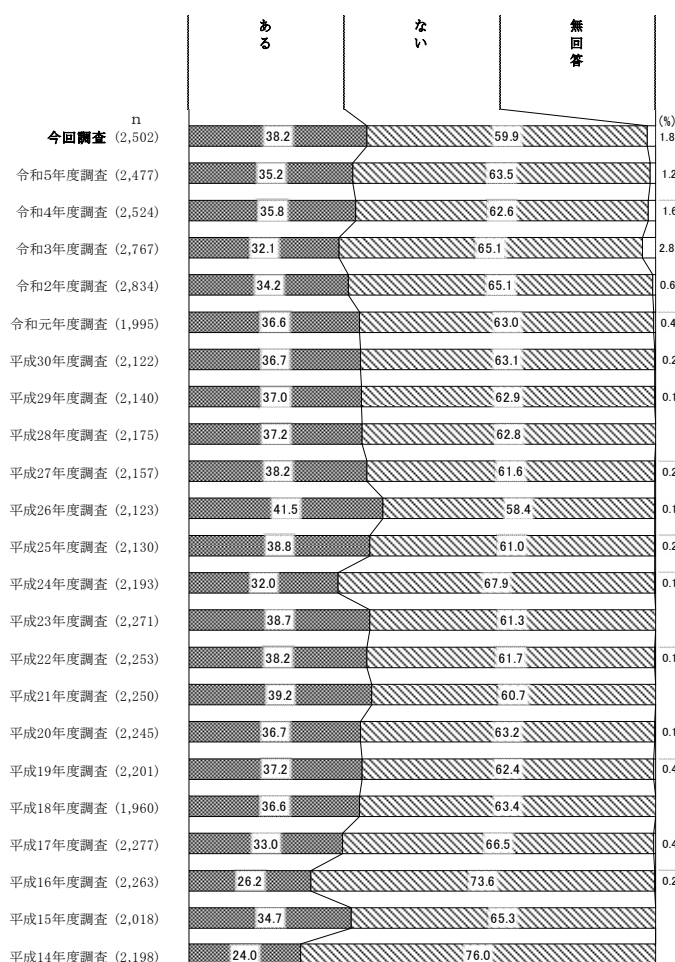
問7 次に、あなたの日常生活に関連することについておたずねします。

(1) あなたは、この1年間に、地域社会活動*に参加したことがありますか。

(〇は1つだけ)

*地域社会活動とは、例えば以下のような活動です。SNSやWeb会議システムを活用したオンラインでの参加も含まれます。

- 清掃活動や防犯パトロール等、町内会や自治会の活動
- 地域のイベント・祭事等への参加
- PTA活動や子ども会の活動
- 趣味やスポーツなど地域のクラブ・サークル活動への参加
- 所属する企業や団体等で行った地域への社会貢献活動
- 障害者や高齢者のための活動
- 青少年健全育成のための活動
- みどりと川の再生活動など環境保全の活動
- 子ども食堂やフードバンクへの寄付、募金などの活動
- SNSや地域新聞、掲示板等を活用した地域情報の発信活動
- 子育てサロンや高齢者サロン等、地域サロンへの参加
- 生涯学習や市(町)民大学への参加
- その他、地域活動やボランティア・NPO・寄付活動、地域とつながり交流する活動



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

この1年間に地域社会活動に参加したことが「ある」(38.2%)は4割弱となっている。

【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

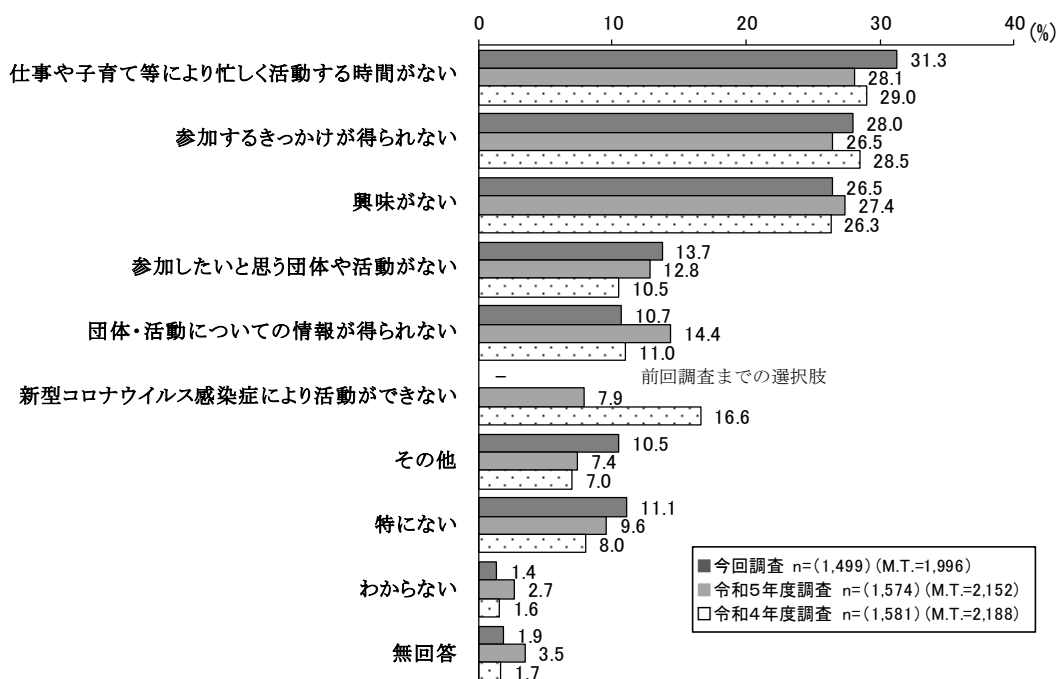
(1-1) 地域社会活動への不参加の理由

◇「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」が31.3%

(問7(1)で「2. ない」とお答えの方にお伺いします。)

問7(1)-1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

(〇は2つまで)



地域社会活動への不参加の理由は、「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」(31.3%)が3割強で最も高く、次いで「参加するきっかけが得られない」(28.0%)、「興味がない」(26.5%)、「参加したいと思う団体や活動がない」(13.7%)、「団体・活動についての情報が得られない」(10.7%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」(3.2ポイント増)、「参加するきっかけが得られない」(1.5ポイント増)などが増加し、「団体・活動についての情報が得られない」(3.7ポイント減)などが減少している。

(2) 文化や芸術の活動の経験

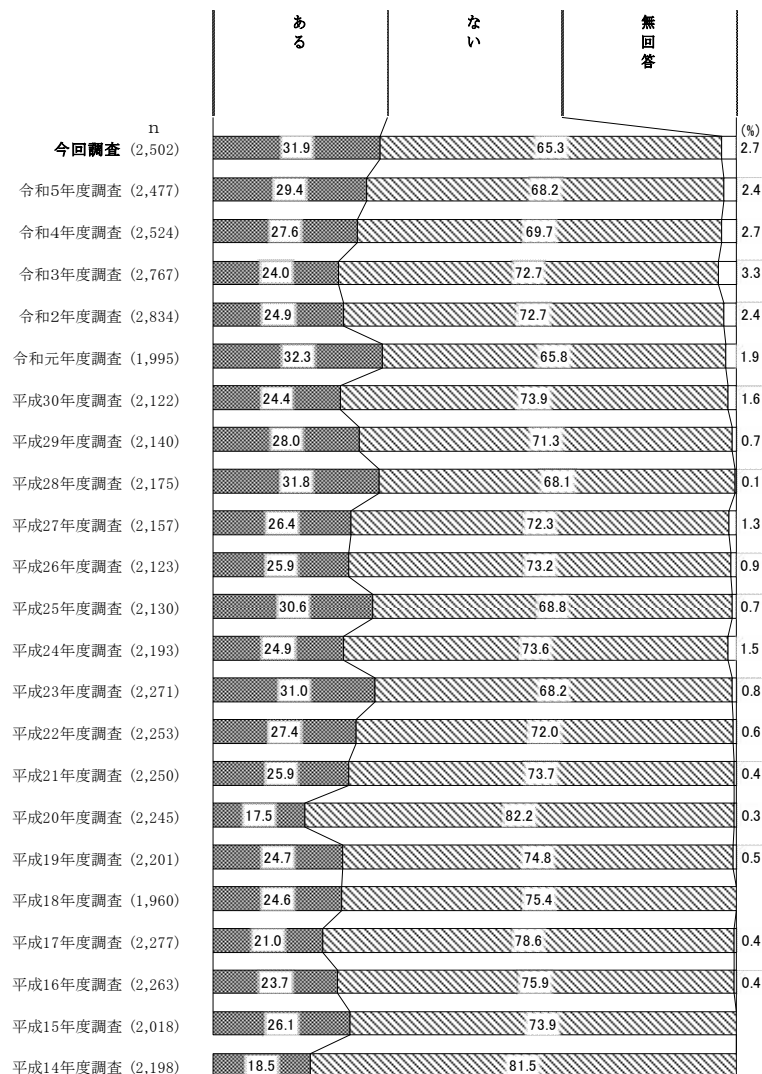
◇「ある」が31.9%、「ない」が65.3%

問7(2) あなたは、この1年間に、趣味や習い事、サークル活動、体験教室などで文化や芸術の活動*を行なったことがありますか。(インターネット上で行う活動も含みます。)

(○は1つだけ)

*例えば以下のような分野での活動です。

- ・音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など）
- ・美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）
- ・舞踊（バレエ、ダンス、よさこいなど）
- ・生活文化（書道、茶道、華道、盆栽など）
- ・伝統芸能（和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域のお祭りなど）
- ・伝統工芸、文化財の継承・保存
- ・写真（風景、人物、花、動物、料理など。スマートフォンでの撮影も含む）
- ・映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術
- ・演劇（現代劇、ミュージカルなど）
- ・文芸（小説、詩、俳句、短歌など）
- ・演芸（落語、漫談、漫才など）
- ・国民娯楽（囲碁、将棋など）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

この1年間に文化や芸術の活動を行なったことが「ある」(31.9%)は3割強となっている。

【過去調査との比較】

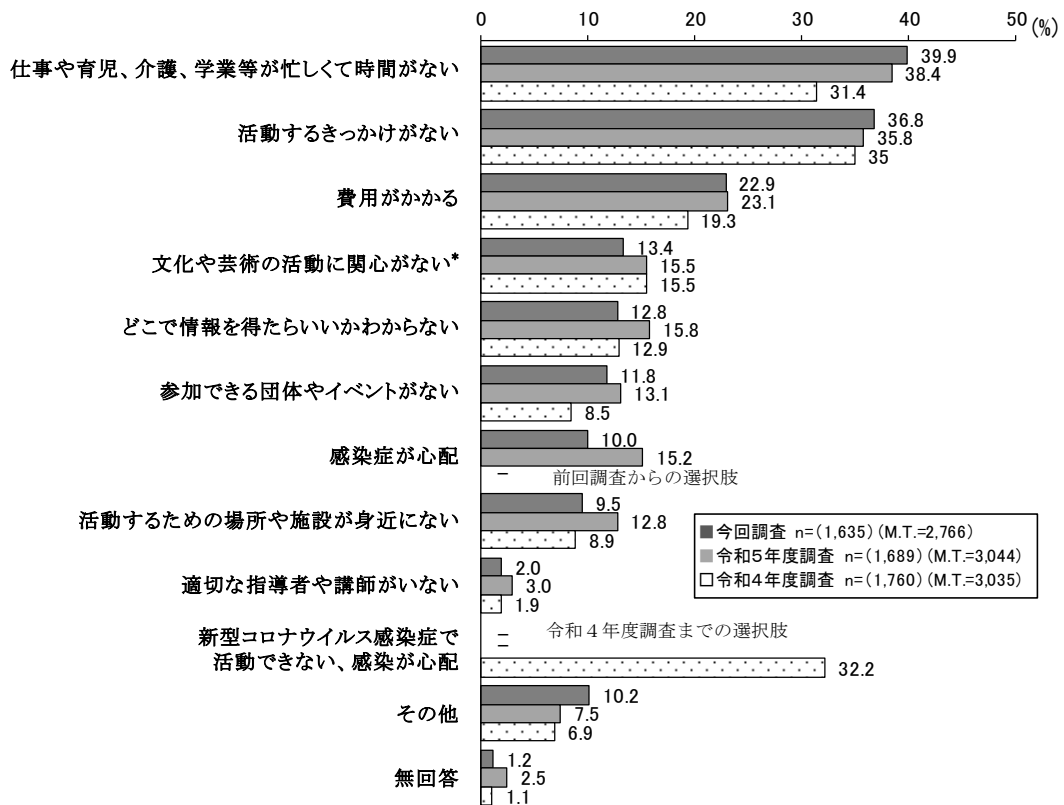
令和5年度調査と比べると、「ある」は2.5ポイントの増加となっている。

(2-1) 文化や芸術の活動への不参加の理由

◇「仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない」が39.9%

(問7(2)で「2. ない」とお答えの方にお伺いします。)

問7(2)-1 その理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。
(○はいくつでも)



*令和4年度は「文化芸術活動に関心がない」

文化や芸術の活動への不参加の理由は、「仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない」(39.9%)が約4割で最も高く、次いで「活動するきっかけがない」(36.8%)、「費用がかかる」(22.9%)、「文化や芸術の活動に関心がない」(13.4%)、「どこで情報を得たらいいかわからない」(12.8%)などとなっている。

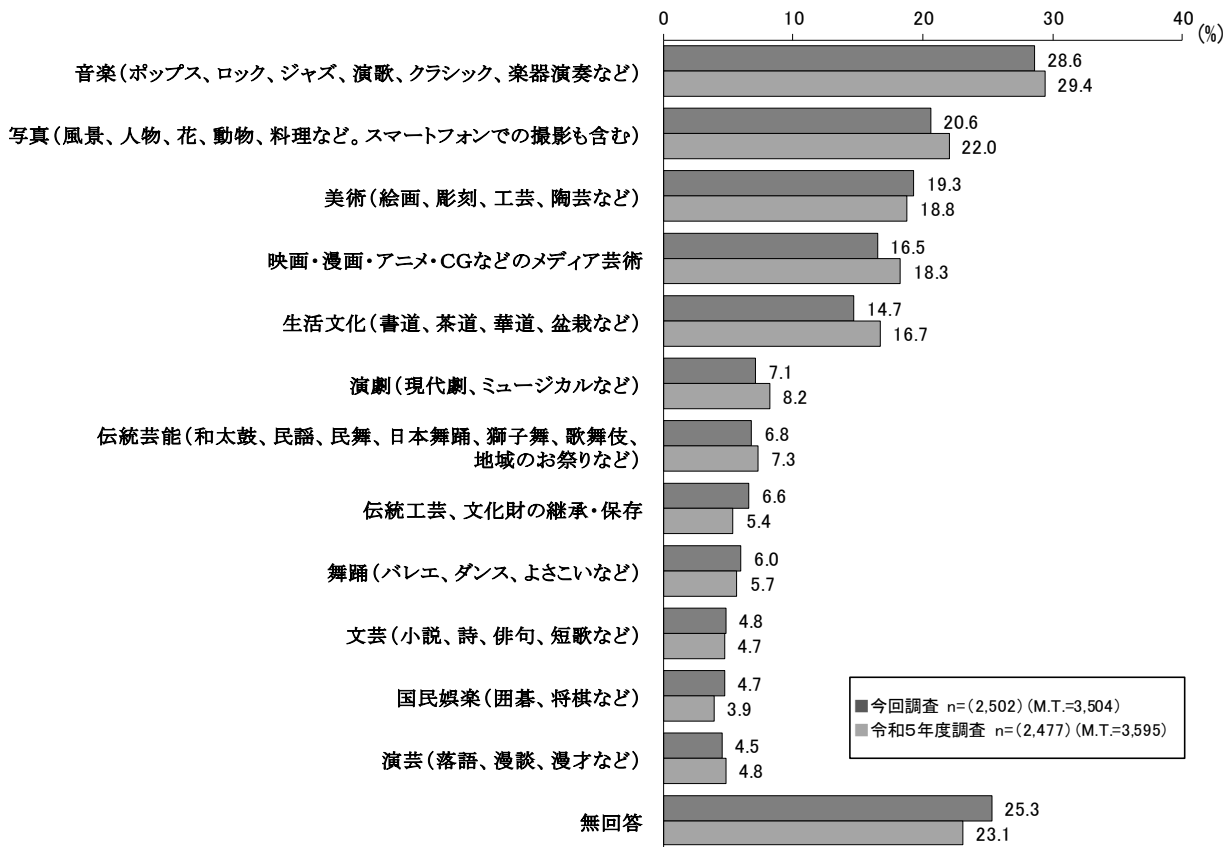
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、「仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない」(1.5ポイント増)、「活動するきっかけがない」(1.0ポイント増)が増加し、「感染症が心配」(5.2ポイント減)、「活動するための場所や施設が身近にない」(3.3ポイント減)などが減少している。

(3) 今後、参加したい、取り組みたい文化や芸術の活動

◇「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など）」が 28.6%

問7 (3) 今後、参加したい、取り組みたい文化や芸術の活動はありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



今後、参加したい、取り組みたい文化や芸術の活動では、「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など）」(28.6%) が3割弱と最も高く、次いで「写真（風景、人物、花、動物、料理など。スマートフォンでの撮影も含む）」(20.6%)、「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）」(19.3%)、「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」（16.5%)、「生活文化（書道、茶道、華道、盆栽など）」(14.7%) などとなっている。

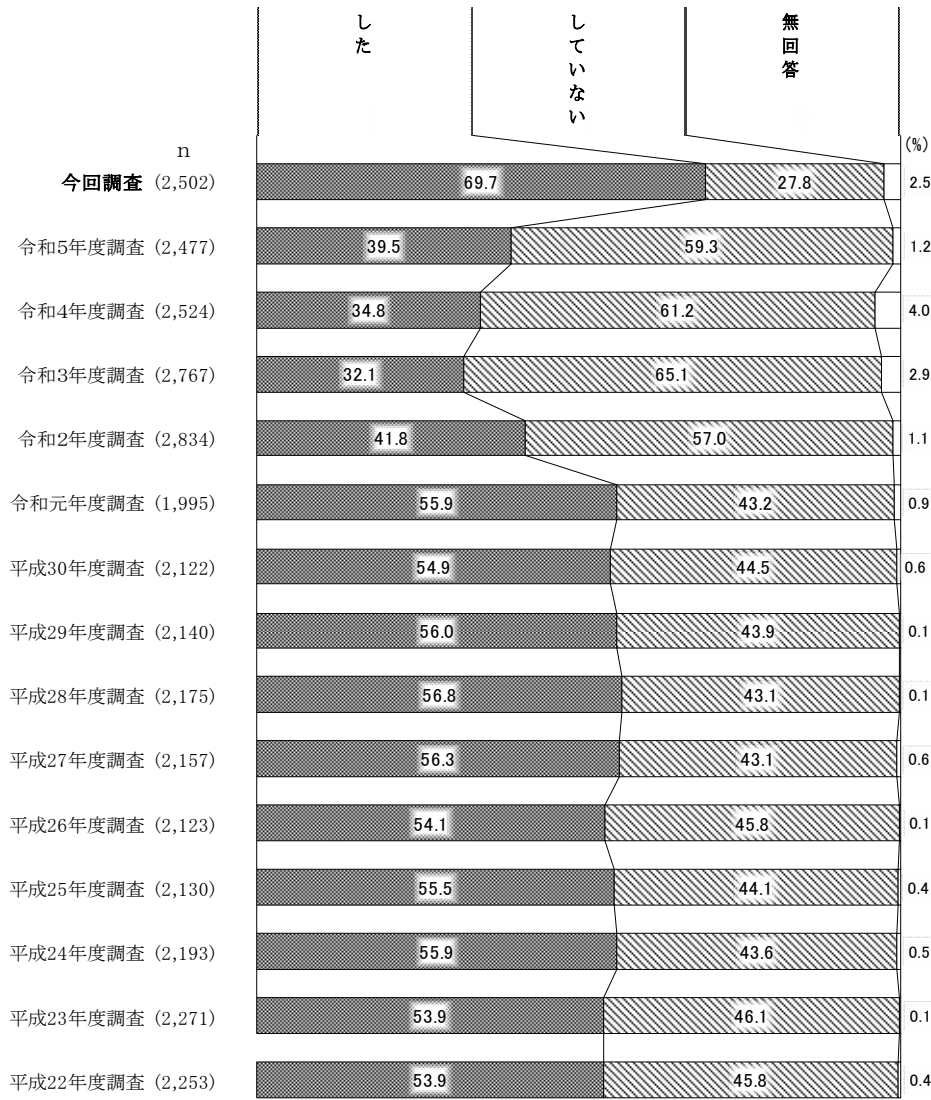
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

(4) 文化や芸術の鑑賞

◇「した」が69.7%、「していない」が27.8%

問7(4) あなたは、この1年間に、文化や芸術を鑑賞しましたか。(○は1つだけ)
(テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等による鑑賞を含みます。)



※令和4年度調査までは選択肢「ある」「ない」

※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

この1年間に、文化や芸術を鑑賞したかは、「した」(69.7%)は約7割となっており、「していない」(27.8%)を41.9ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、「した」(69.7%)は30.2ポイント増加している。

(5) スポーツ・レクリエーション活動の実施とその頻度

◇『週に1回程度以上（計）』は全体の60.0%

問8 埼玉県では、週に1回以上スポーツをすることを推奨しています。

(1) あなたは、この1年間に、散歩やウォーキング、軽い体操や日常生活の中で意識的に体を動かすことなどをはじめ、スポーツ・レクリエーション活動*をしましたか。

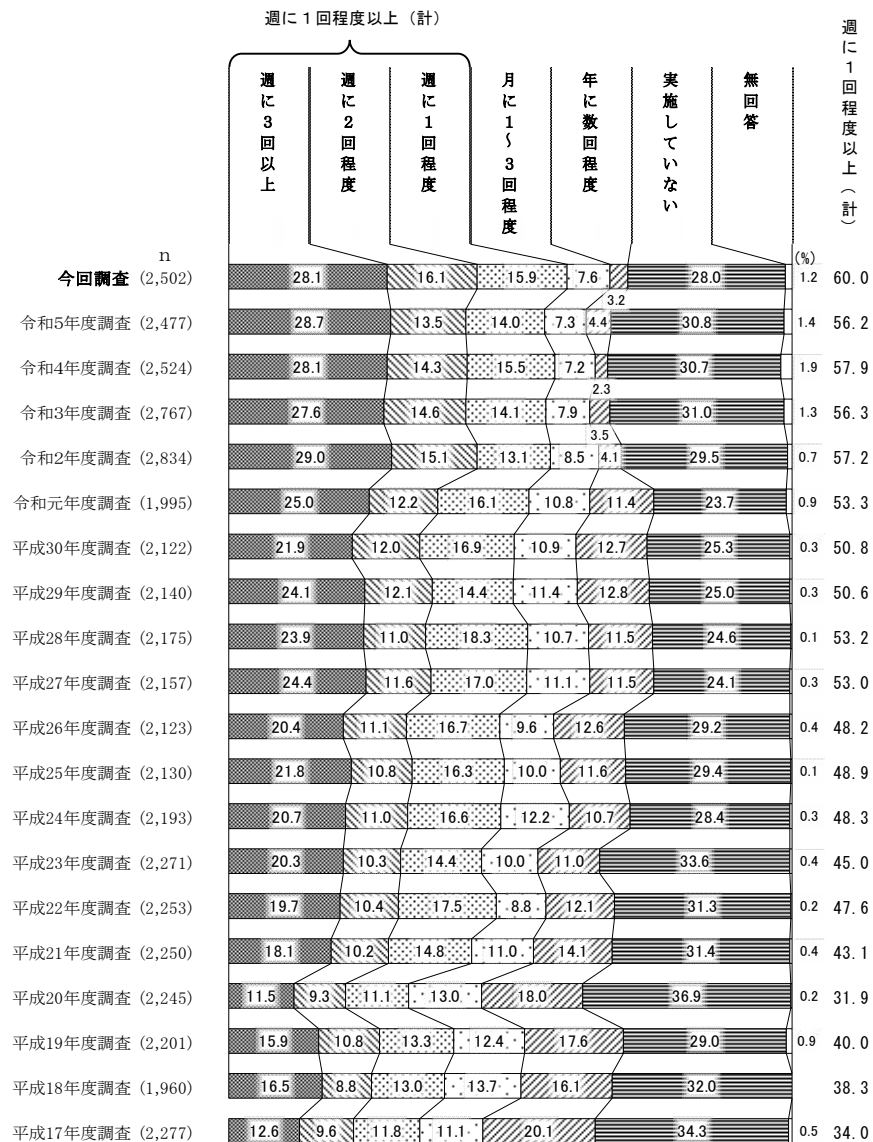
(○は1つだけ)

問8(1)-1 (問8で「1. した」場合に) それはどのくらいの頻度でしましたか。

(○は1つだけ)

*スポーツ・レクリエーション活動には、以下のような活動も含めます。

散歩・ウォーキング（ぶらぶら歩き、一駅歩きを含む）、子どもとの体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすこと、階段昇降、ジョギング・ランニング、水泳、体操（軽い体操・ラジオ体操を含む）、ヨガ・バレエ、登山（トレッキングを含む）、ハイキング、ボウリング、ゴルフ、トレーニング（筋力・その他運動器具を使った運動）、釣り、自転車・サイクリング、ゲートボール、ダンス（フォークダンス、民謡踊りを含む）、バーチャルスポーツ（体の動きを伴うコンピューターゲーム） など



※選択肢「月に1〜3回程度」は、平成22年度から平成26年度調査までは「月に1〜2回程度」としていた。

平成24年度調査までの選択肢「ない」は、「ない」と「わからない」の合計である。

令和2年度調査からは「実施していない」は問8(1)の「していない」を問8(1)-1に組み込んだものである。

※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

この1年間のスポーツ・レクリエーション活動の実施機会は、「週に3回以上」(28.1%)が3割弱と最も高くなっており、「週に2回程度」(16.1%)、「週に1回程度」(15.9%)を合わせた『週に1回程度以上(計)』(60.0%)は6割となっている。一方、「実施していない」(28.0%)は3割弱となっている。

【過去調査との比較】

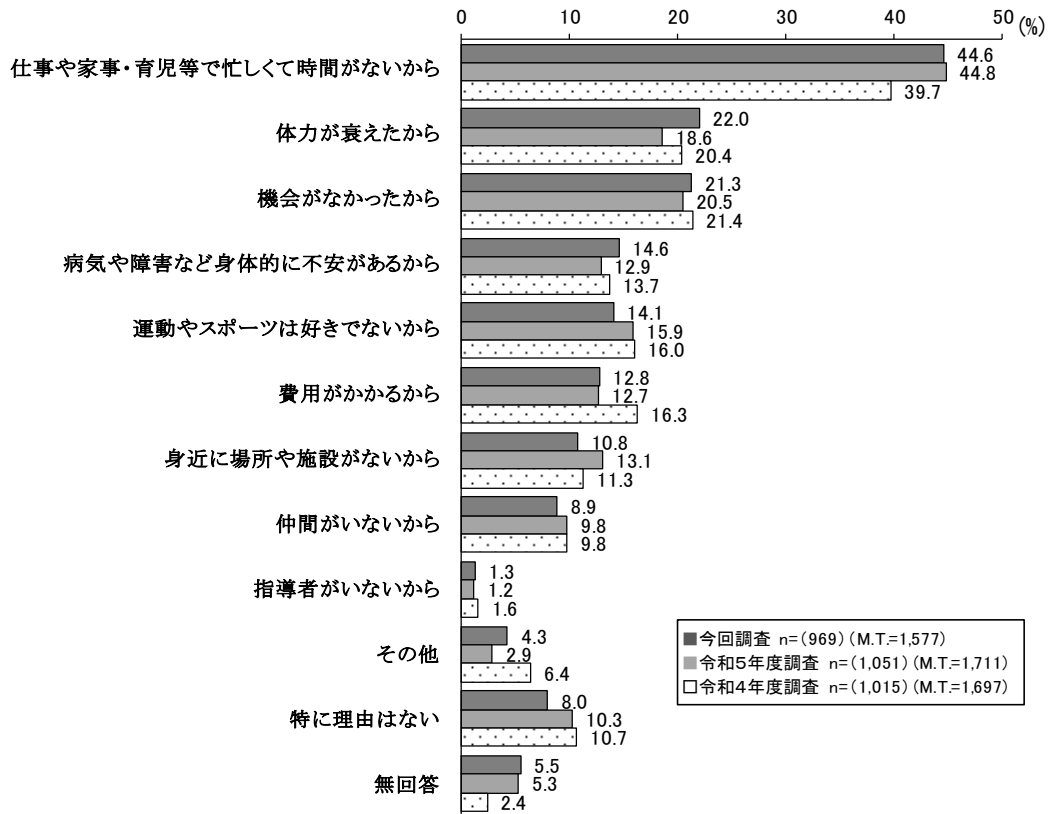
令和5年度調査と比べて、『週に1回程度以上(計)』(60.0%)が3.8ポイント増加している。

(5-1) スポーツ・レクリエーション活動をする機会がなかった理由

◇「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が44.6%

(問8(1)で「2. していない」とお答えの方、または問8(1)-1で「4. 月に1~3回程度」もしくは「5. 年に数回程度」とお答えの方にお伺いします。)

問8(1)-2 週に1回以上活動する機会がなかった理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



週に1回以上スポーツ・レクリエーション活動をする機会がなかった理由は、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」(44.6%)が4割台半ばで最も高く、次いで「体力が衰えたから」(22.0%)が2割強と続き、以下「機会がなかったから」(21.3%)、「病気や障害など身体的に不安があるから」(14.6%)、「運動やスポーツは好きでないから」(14.1%)などとなっている。

【過去調査との比較】

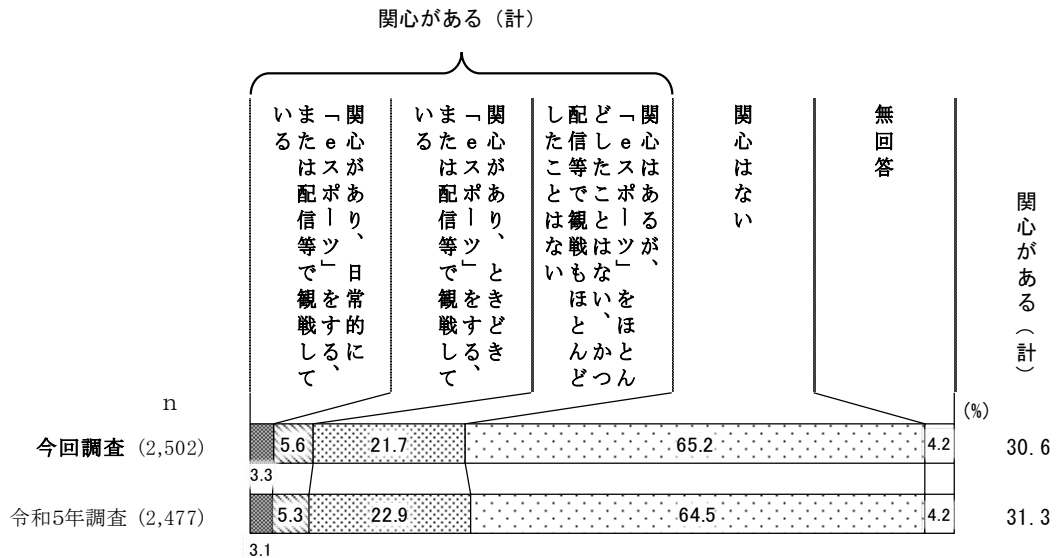
令和5年度調査と比べると、「体力が衰えたから」(22.0%)が3.4ポイント増加している。

(6) eスポーツへの関心

◇『関心がある（計）』は全体の30.6%

問8（2） あなたは、「eスポーツ*」に関心がありますか。（○は1つだけ）

*「eスポーツ(esports)」とは、「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称です。



eスポーツへの関心は、「関心はない」（65.2%）が6割台半ばと最も高くなっている。関心がある中では、「関心はあるが、「eスポーツ」をほとんどしたことはない、かつ配信等で観戦もほとんどしたことはない」（21.7%）が2割強と最も高く、「関心があり、日常的に「eスポーツ」をする、または配信等で観戦している」（3.3%）、「関心があり、ときどき「eスポーツ」をする、または配信等で観戦している」（5.6%）を合わせた『関心がある（計）』（30.6%）は3割を超えている。

【過去調査との比較】

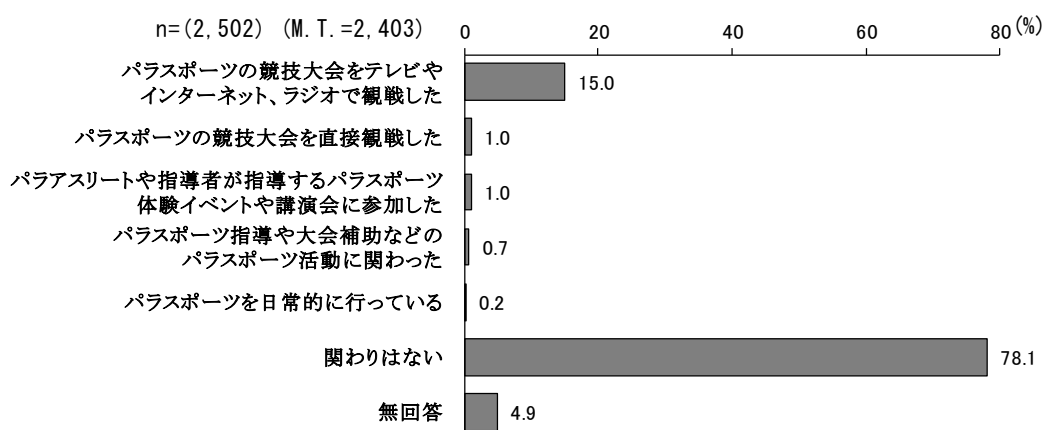
令和5年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

(7) パラスポーツへの関わり

◇「パラスポーツの競技大会をテレビやインターネット、ラジオで観戦した」が15.0%

問8(3) あなたは、「パラスポーツ*」とどのような関わりがありますか。
(〇はいくつでも)

*パラスポーツとは、身体機能や知的発育などに障害をもつ人が行うスポーツです。また、障害のある方の運動機能にあわせて考えられたスポーツです(パラリンピック・デフリンピック競技を含みます)。最近では、障害のある人もない人も共に楽しめるという点も注目されています。



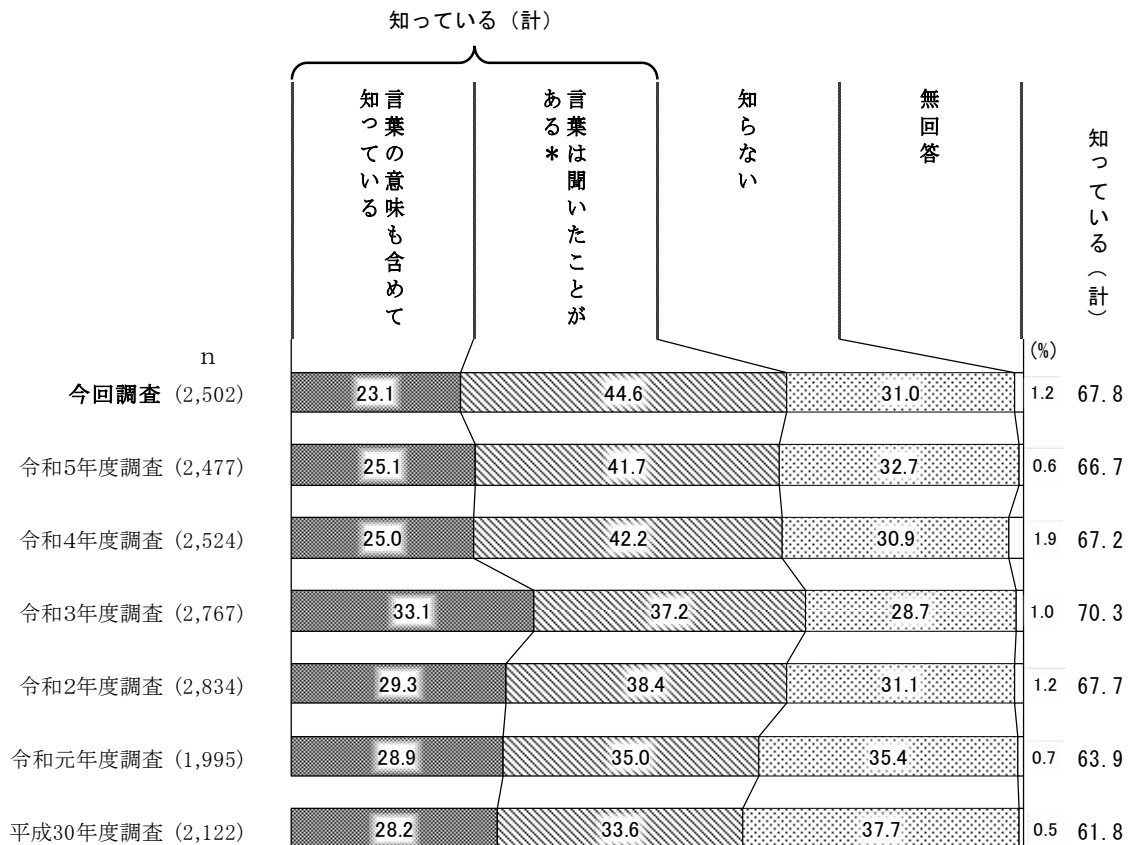
パラスポーツへの関わりは、「パラスポーツの競技大会をテレビやインターネット、ラジオで観戦した」(15.0%)が1割台半ばで最も高く、次いで「パラスポーツの競技大会を直接観戦した」と「パラアスリートや指導者が指導するパラスポーツ体験イベントや講演会に参加した」(各1.0%)、「パラスポーツ指導や大会補助などのパラスポーツ活動に関わった」(0.7%)、「パラスポーツを日常的に行っている」(0.2%)などとなっている。一方で、「関わりはない」(78.1%)が8割弱となっている。

(8) 生物多様性の認知度

◇『知っている（計）』が67.8%

問9 現在、「生物多様性」の保全という、地球上の様々な生物やそれらが生息・生育できる環境を守る取組が進められています。また、もともとその地域にいなかったのに、人間によって他の地域から入ってきたアライグマやカミツキガメなど種々の外来生物により、地域固有の生物の生態系や自然環境に影響を与える問題が起きています。

あなたは、「生物多様性」という言葉を知っていますか。（〇は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意
*令和3年度調査までは「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」

「生物多様性」という言葉の認知度は、「言葉は聞いたことがある」（44.6%）が4割台半ばと最も高く、これに「言葉の意味も含めて知っている」（23.1%）を合わせた『知っている（計）』（67.8%）は6割台半ばを超えている。一方で、「知らない」（31.0%）は3割強となっている。

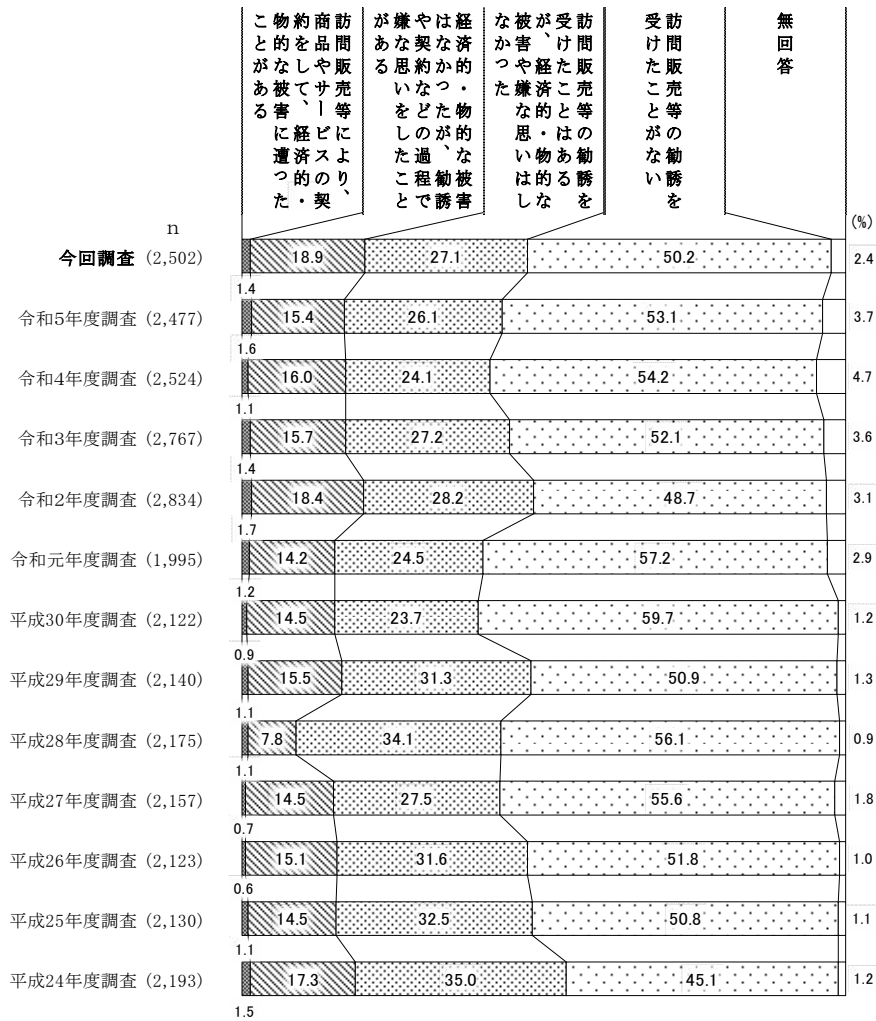
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

(9-1) 訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害

◇「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」が50.2%

問10 消費生活についておたずねします。
 (1) あなたは、この1年間に、訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによって、経済的・物的な被害に遭った、または嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害は、「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」(50.2%)が5割を超えて最も高くなっている。訪問販売等を受けたことがある中では、「訪問販売等の勧誘を受けたことはあるが、経済的・物的な被害や嫌な思いはしなかった」(27.1%)が2割台半ばを超えて最も高くなっており、次いで、「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」(18.9%)、「訪問販売等により、商品やサービスの契約をして、経済的・物的な被害に遭ったことがある」(1.4%)となっている。

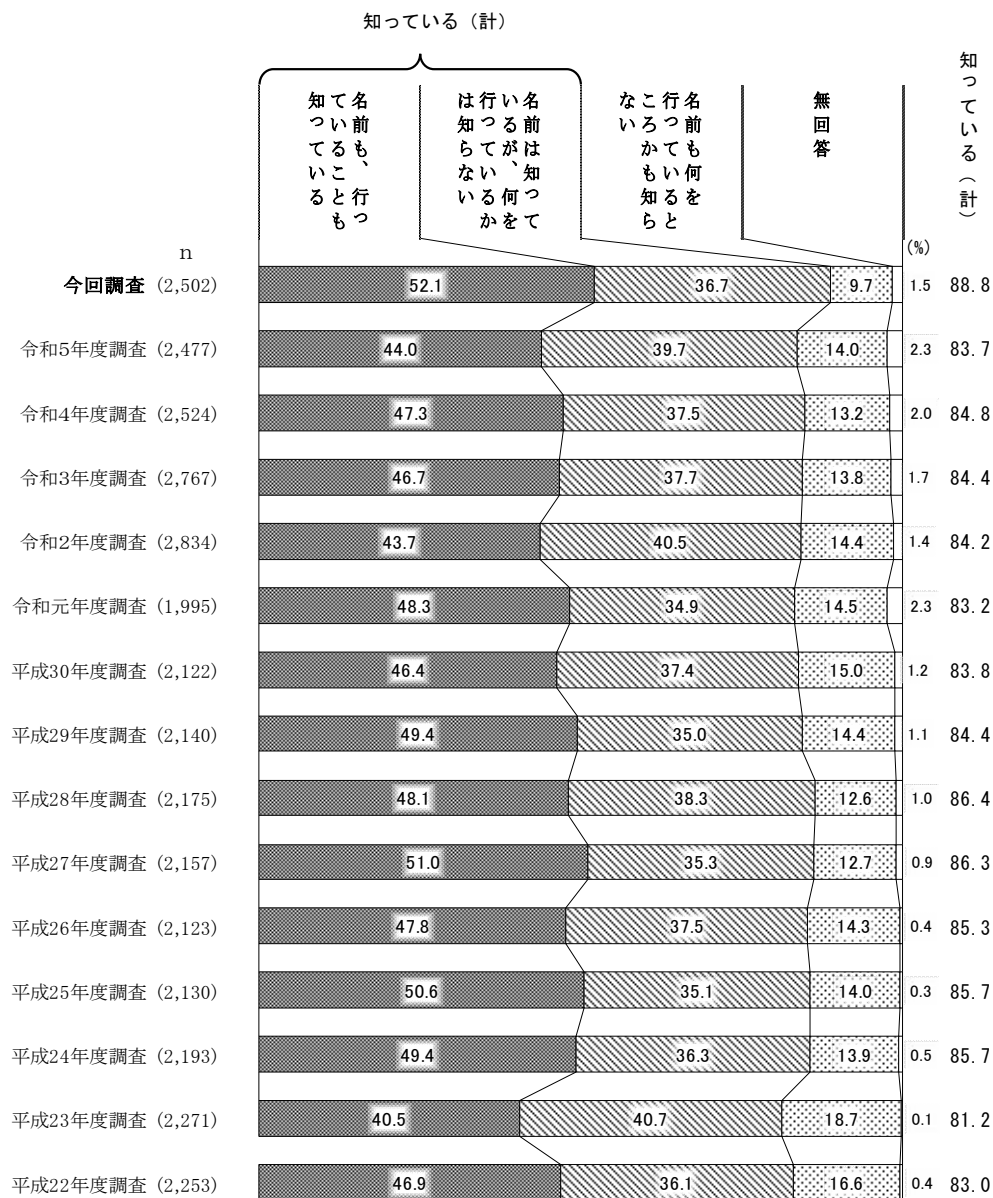
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」(18.9%)が3.5ポイント増加している。

(9-2) 消費生活センターの認知度

◇『知っている（計）』が88.8%

問10(2) あなたは、契約トラブルの相談・助言や商品テストを行っている消費生活センター（または消費生活相談窓口）を知っていますか。（〇は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

消費生活センター（または消費生活相談窓口）の認知度は、「名前も、行っていることも知っている」（52.1%）が5割強と最も高くなっている。次いで「名前は知っているが、何を行っているかは知らない」（36.7%）となっており、これらを合わせた『知っている（計）』（88.8%）は9割弱を占めている。一方で、「名前も何を行っているところかも知らない」（9.7%）は約1割となっている。

【過去調査との比較】

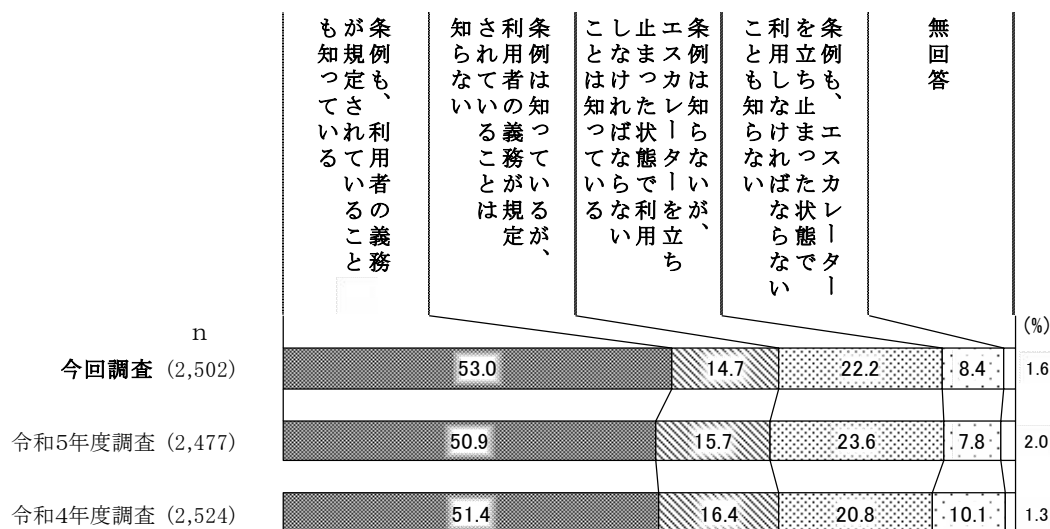
令和5年度調査と比べて、『知っている（計）』（88.8%）は5.1ポイント増加している。

(10-1) 「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知度

◇「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」が53.0%

問11 エスカレーターの利用についておたずねします。

(1) あなたは、「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例（以下「条例」という。）」で、エスカレーターの利用者の義務として「立ち止まった状態で利用しなければならない」と規定していることを知っていますか。（○は1つだけ）



「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知度は、「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」（53.0%）が5割強と最も高く、次いで「条例は知らないが、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことは知っている」（22.2%）、「条例は知っているが、利用者の義務が規定されていることは知らない」（14.7%）、「条例も、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことも知らない」（8.4%）となっている。

【過去調査との比較】

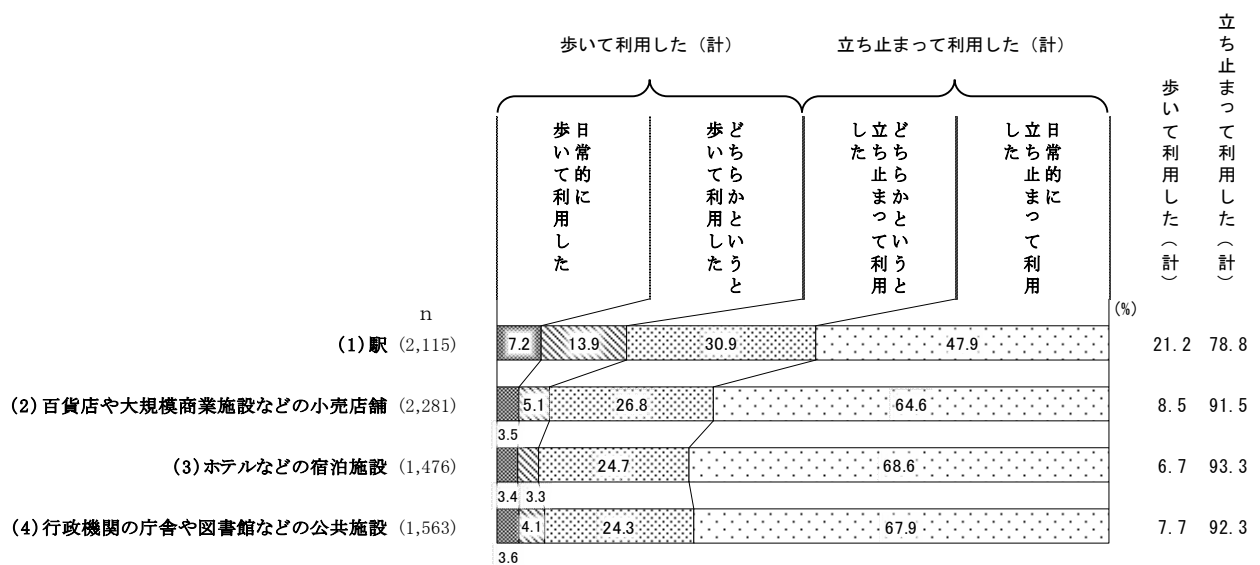
令和5年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

(10-2) エスカレーターの利用実態

◇駅での利用は、『歩いて利用した(計)』が17.9%、『立ち止まって利用した(計)』が66.6%

問11(2) あなたは、この1年間に、エスカレーターを利用する際、歩いて利用しましたか。それとも立ち止まって利用しましたか。エスカレーターが設置されている次の(1)から(4)までの施設それぞれについて、近いものを選んでください。
(各施設それぞれ〇は1つずつ)

※本設問は、任意設問のため、「利用していない」と「無回答」を除いたものをn数(回答者)として、利用形態を比較した。

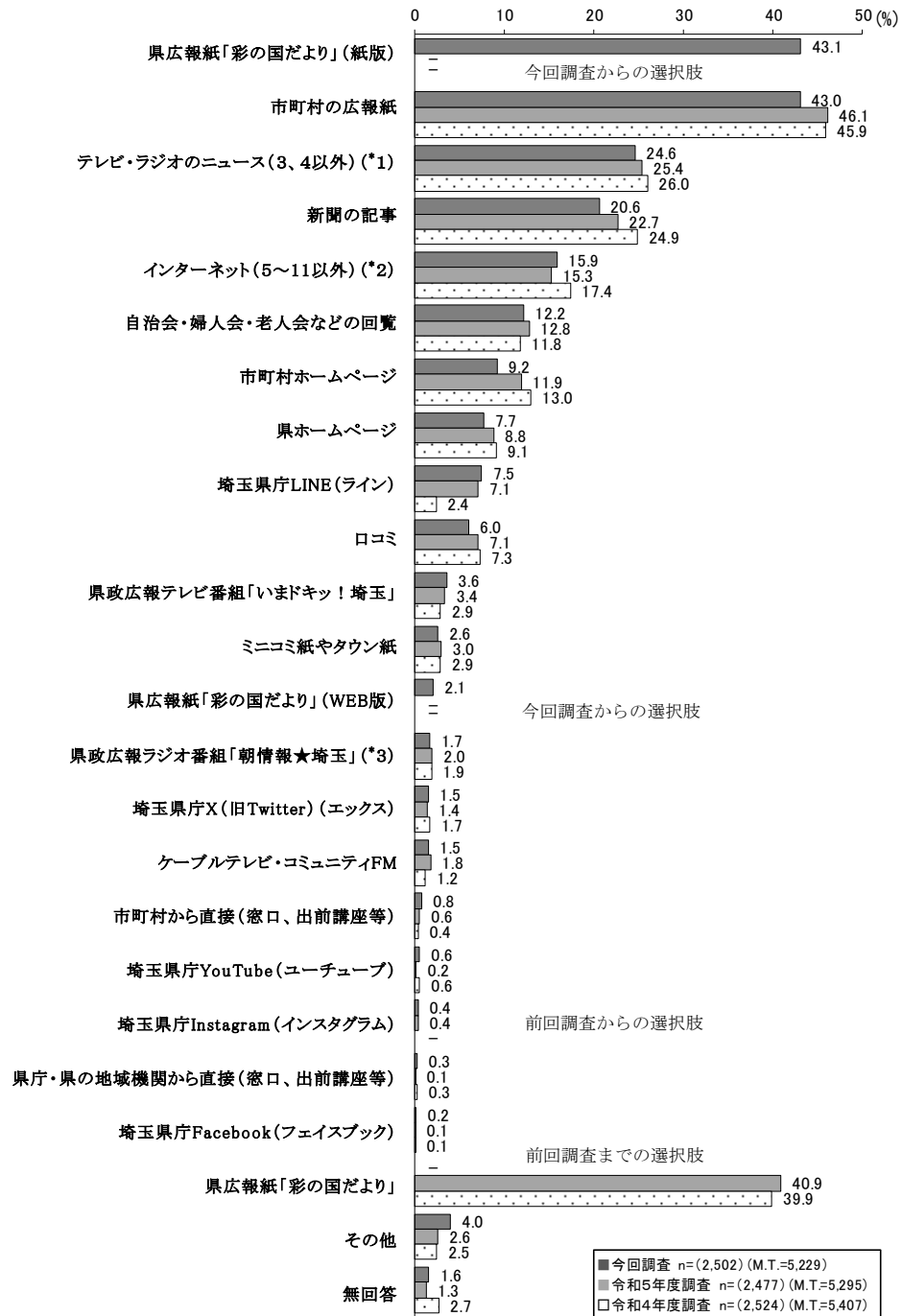


『立ち止まって利用した(計)』は(3)ホテルなどの宿泊施設(93.3%)で9割強と最も高くなっている。次いで、(4)行政機関の庁舎や図書館などの公共施設(92.3%)、(2)百貨店や大規模商業施設などの小売店舗(91.5%)となっており、(1)駅(78.8%)が8割弱で最も低くなっている。

(11) 埼玉県に関する情報の入手先

◇県広報紙「彩の国だより」(紙版)が43.1%

問12 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)



*1 テレビ・ラジオのニュース(3、4以外)は、「3. 県政広報テレビ番組『いまドキッ!埼玉』(テレビ埼玉/土曜朝 8:30~9:00)」、「4. 県政広報ラジオ番組『朝情報★埼玉』(FM NACK5/月~金曜朝 8:15~8:25)」を除くテレビ・ラジオのニュースを指す。
 *2 インターネット(5~11以外)は、「5. 県ホームページ」、「6. 埼玉県庁LINE(ライン)」、「7. 埼玉県庁X(旧Twitter)(エックス)」、「8. 埼玉県庁Facebook(フェイスブック)」、「9. 埼玉県庁YouTube(ユーチューブ)」、「10. 埼玉県庁Instagram(インスタグラム)」、「11. 市町村ホームページ」を除くインターネットを指す。
 *3 番組変更に伴い、令和2年度から「県政広報ラジオ番組『FM NACK5 モーニングスクエア』」を「県政広報ラジオ番組『朝情報★埼玉』」へ変更した

埼玉県に関する情報の入手先は、「県広報紙『彩の国だより』（紙版）」（43.1%）が4割強と最も高く、次いで「市町村の広報紙」（43.0%）、「テレビ・ラジオのニュース（3、4以外）」（24.6%）、「新聞の記事」（20.6%）、「インターネット（5～11以外）」（15.9%）、「自治会・婦人会・老人会などの回覧」（12.2%）、「市町村ホームページ」（9.2%）などとなっている。

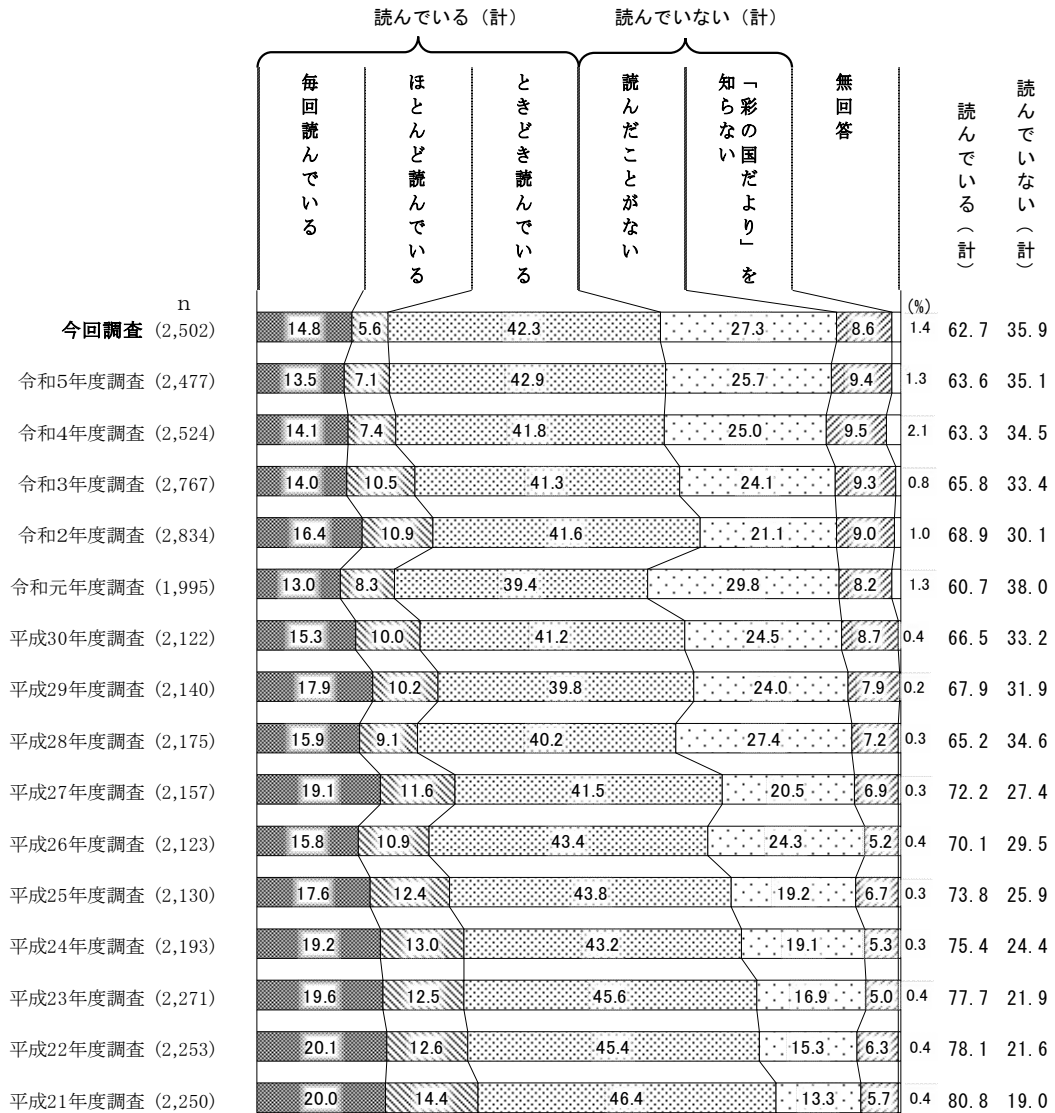
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、「市町村の広報紙」が3.1ポイント減少している。

(12-1) 県広報紙「彩の国だより」の閲読状況

◇『読んでいる(計)』が62.7%

問13 県の広報紙、広報テレビ番組やラジオ番組についておたずねします。
 (1) あなたは、県広報紙「彩の国だより」を読んだことがありますか。(○は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

県広報紙「彩の国だより」の閲読状況は、「ときどき読んでいる」(42.3%)が4割強と最も高く、これに「毎回読んでいる」(14.8%)と「ほとんど読んでいる」(5.6%)を合わせた『読んでいる(計)』(62.7%)は6割強と高くなっている。一方で、「読んだことがない」(27.3%)と「『彩の国だより』を知らない」(8.6%)を合わせた『読んでいない(計)』(35.9%)は3割台半ばとなっている。

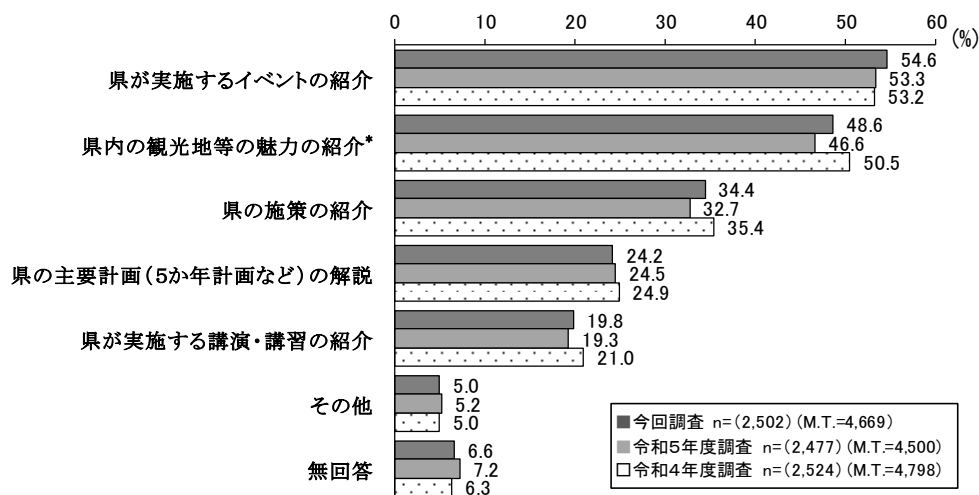
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

(12-2) 県広報紙「彩の国だより」に期待する記事

◇「県が実施するイベントの紹介」が54.6%と最も高い

問13 (2) あなたは、「彩の国だより」にどのような記事を期待しますか。
(〇はいくつでも)



*令和5年度までは「県内の観光地等の紹介」

県広報紙「彩の国だより」に期待する記事は、「県が実施するイベントの紹介」(54.6%)が5割台半ばで最も高く、次いで「県内の観光地等の魅力の紹介」(48.6%)が5割弱で続き、以下「県の施策の紹介」(34.4%)、「県の主要計画(5か年計画など)の解説」(24.2%)、「県が実施する講演・講習の紹介」(19.8%)の順となっている。

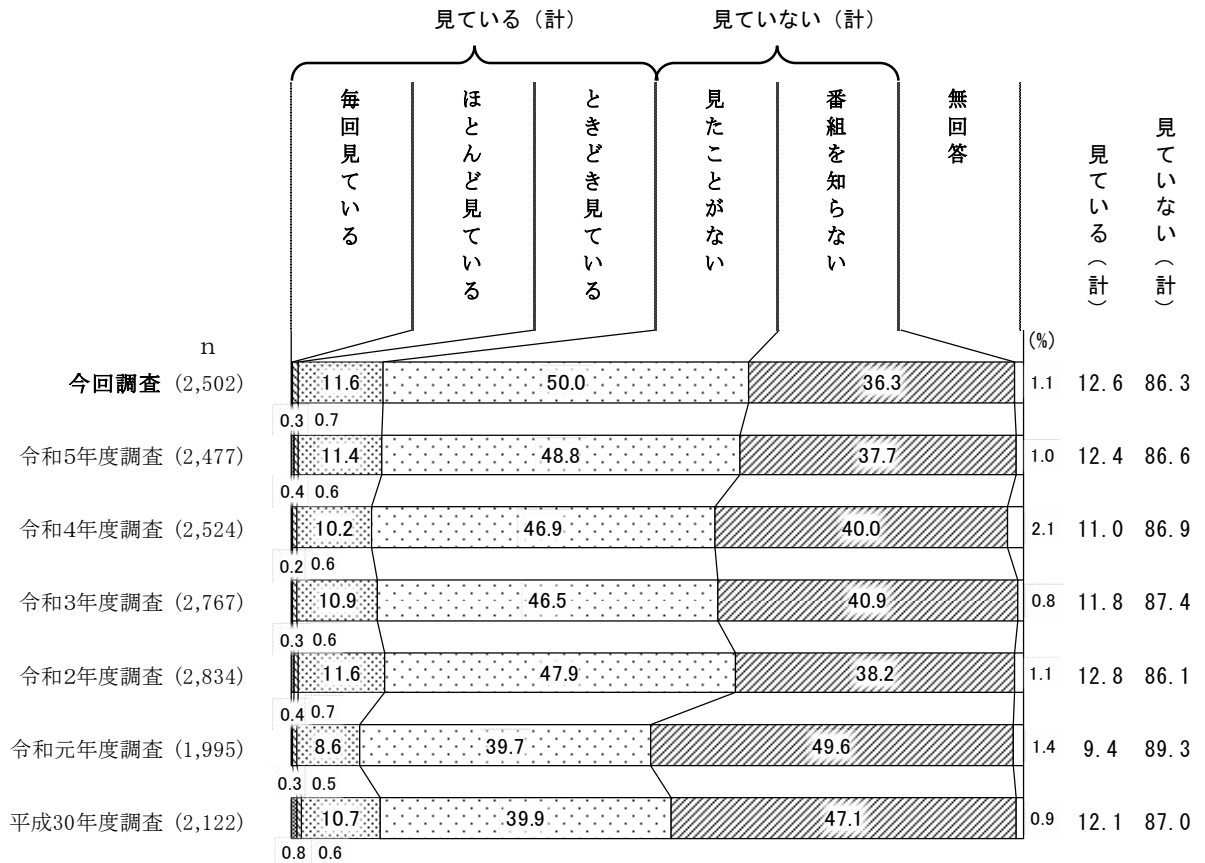
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

(12-3) 県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」の視聴状況

◇『見ている（計）』は12.6%、『見ていない（計）』は86.3%

問13(3) あなたは、県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉（テレビ埼玉/土曜朝8:30～9:00）」を見たことがありますか。（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」の視聴状況は、「見たことがない」(50.0%)が5割と最も高く、これに「番組を知らない」(36.3%)を合わせた『見ていない(計)』(86.3%)は8割台半ばを超えている。一方で、「毎回見ている」(0.3%)、「ほとんど見ている」(0.7%)、「ときどき見ている」(11.6%)を合わせた『見ている(計)』(12.6%)は1割強となっている。

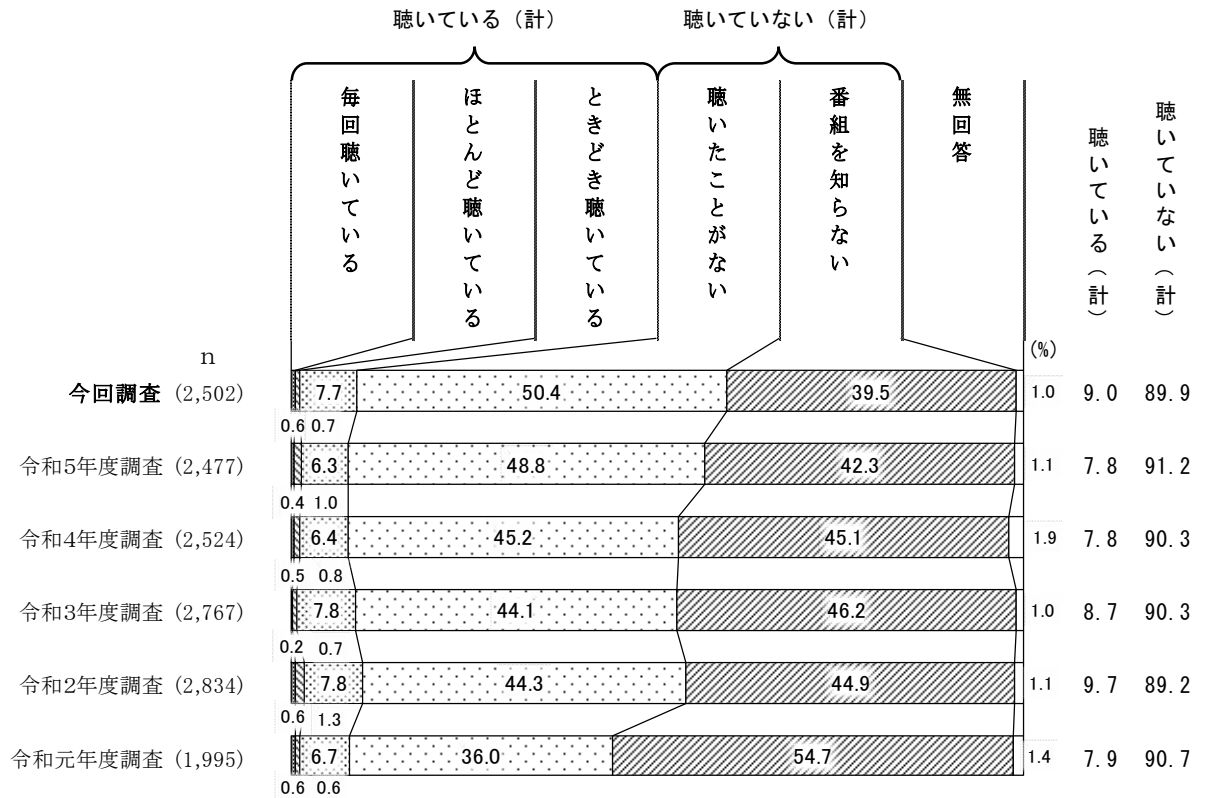
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

(12-4) 県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」の聴取状況

◇『聴いている(計)』は9.0%、『聴いていない(計)』は89.9%

問13(4) あなたは、県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉 (FM NACK5/月～金曜朝8:15～8:25)」を聴いたことがありますか。(〇は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」の聴取状況は、「聴いたことがない」(50.4%)が5割を超えて最も高く、これに「番組を知らない」(39.5%)を合わせた『聴いていない(計)』(89.9%)は約9割となっている。一方で、「毎回聴いている」(0.6%)、「ほとんど聴いている」(0.7%)、「ときどき聴いている」(7.7%)を合わせた『聴いている(計)』(9.0%)は約1割となっている。

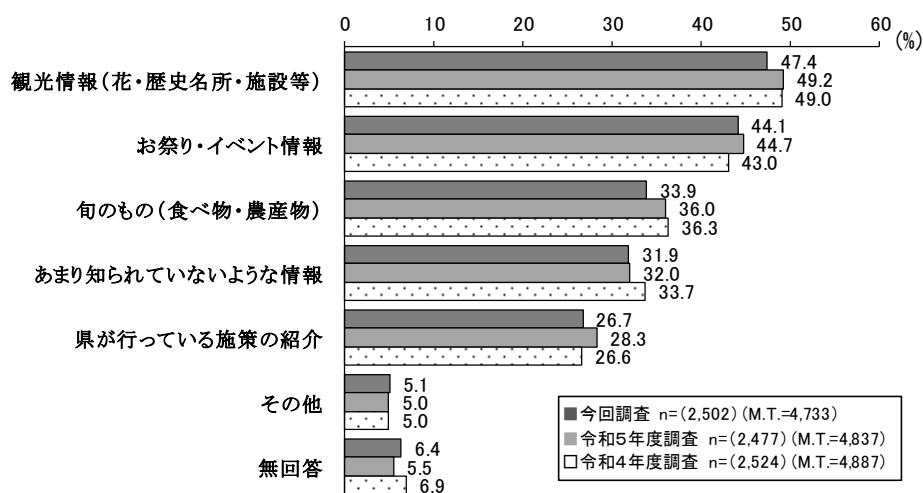
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べると、『聴いている(計)』(9.0%)は1.2ポイント増加している。

(12-5) 県の広報テレビ・ラジオ番組の内容への要望

◇「観光情報」が47.4%で第1位、次いで「お祭り・イベント情報」が44.1%

問13(5) あなたは、県の広報テレビ・ラジオ番組で、どのような内容を見たり聴いたりしたいと思いますか。(〇はいくつでも)



県の広報テレビ・ラジオ番組に求める内容では、「観光情報（花・歴史名所・施設等）」（47.4%）が4割台半ばを超えて最も高く、次いで「お祭り・イベント情報」（44.1%）、「旬のもの（食べ物・農産物）」（33.9%）、「あまり知られていないような情報」（31.9%）、「県が行っている施策の紹介」（26.7%）の順となっている。

【過去調査との比較】

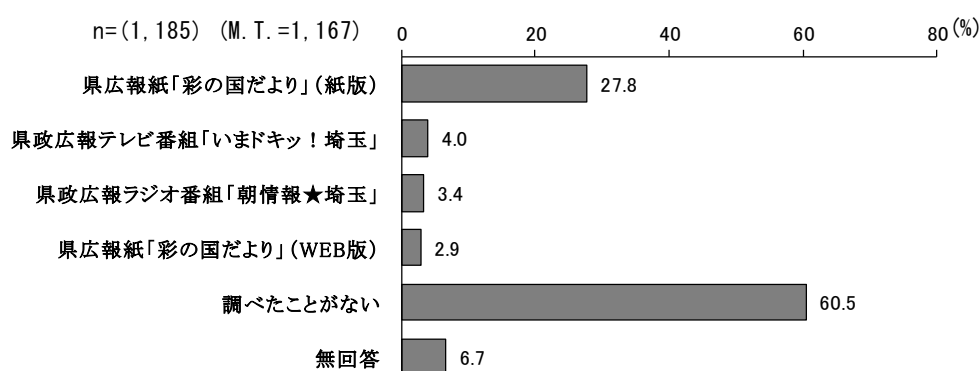
令和5年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられないが、全体的に割合が減少している。

(12-6) 調べるきっかけとなった広報媒体

◇「県広報紙『彩の国だより』(紙版)」が27.8%

(問12で「1. 県広報紙「彩の国だより」(紙版)」「2. 県広報紙「彩の国だより」(WEB版)」「3. 県政広報テレビ番組「いまドキッ! 埼玉」(テレビ埼玉/土曜朝8:30~9:00)」「4. 県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」(FM NACK5/月~金曜朝8:15~8:25)」とお答えの方にお伺いします。)

問13(6) あなたは、県の広報媒体(県広報紙、広報テレビ番組、ラジオ番組)で見たり聴いたりした情報を、インターネット等で詳しく調べたことはありますか。調べるきっかけとなった広報媒体をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

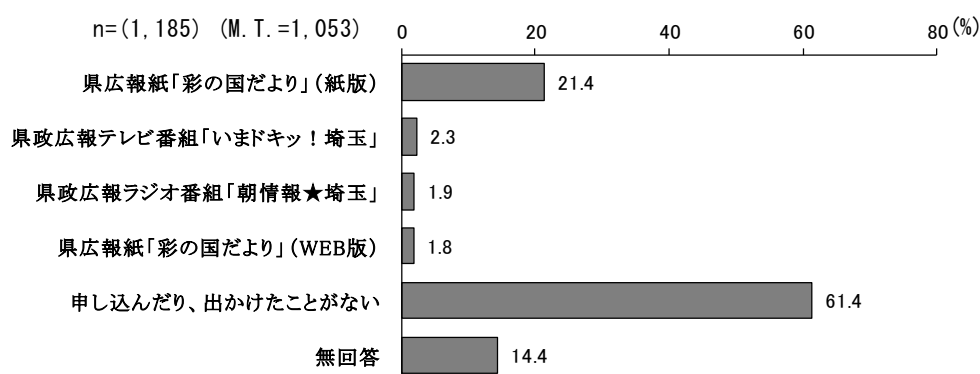


調べるきっかけとなった広報媒体は、「県広報紙『彩の国だより』(紙版)」(27.8%)が2割台半ばを超えて最も高く、次いで「県政広報テレビ番組『いまドキッ! 埼玉』」(4.0%)、「県政広報ラジオ番組『朝情報★埼玉』」(3.4%)、「県広報紙『彩の国だより』(WEB版)」(2.9%)となっている。一方で、「調べたことがない」(60.5%)は6割を超えている。

(12-7) イベント等に申し込んだり、出かけたりしたきっかけとなった広報媒体
 ◇「県広報紙『彩の国だより』(紙版)」が21.4%

(問12で「1. 県広報紙「彩の国だより」(紙版)」「2. 県広報紙「彩の国だより」(WEB版)」「3. 県政広報テレビ番組「いまドキッ! 埼玉」(テレビ埼玉/土曜朝8:30~9:00)」「4. 県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」(FM NACK5/月~金曜朝8:15~8:25)」とお答えの方にお伺いします。)

問13(7) あなたは、県の広報媒体(県広報紙、広報テレビ番組、ラジオ番組)で見たり聴いたりしたイベント等に申し込んだり、出かけたりしたことがありますか。そのきっかけとなった広報媒体をすべて選んでください。(〇はいくつでも)



イベント等に申し込んだり、出かけたりしたきっかけとなった広報媒体は、「県広報紙『彩の国だより』(紙版)」(21.4%)が2割強と最も高く、次いで「県政広報テレビ番組『いまドキッ! 埼玉』」(2.3%)、「県政広報ラジオ番組『朝情報★埼玉』」(1.9%)、「県広報紙『彩の国だより』(WEB版)」(1.8%)となっている。一方で、「申し込んだり、出かけたことがない」(61.4%)は6割強となっている。

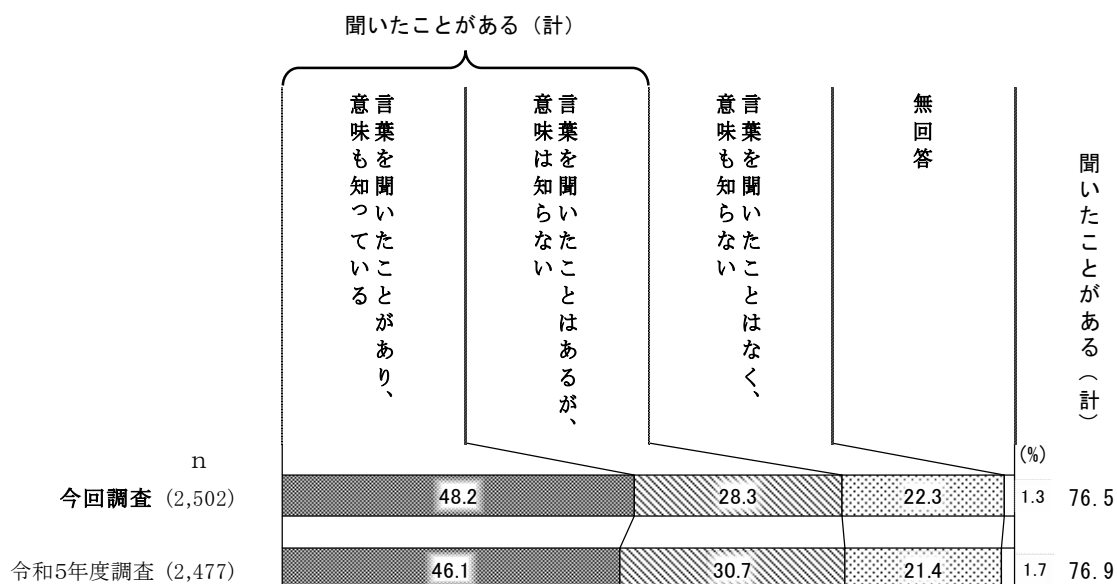
(13-1) 性的指向の認知度

◇『聞いたことがある(計)』が76.5%

問14 次に、性の多様性についておたずねします。

(1) あなたは、「性的指向*」という言葉を知ったことがありますか。また、意味を知っていますか。(○は1つだけ)

*「性的指向」とは、自己の恋愛又は性的な関心の対象となる性別についての指向のことです。



「性的指向」という言葉の認知度は、「言葉を知ったことがある、意味も知っている」(48.2%)が5割弱と最も高く、これに「言葉を知ったことはあるが、意味は知らない」(28.3%)を合わせた『聞いたことがある(計)』(76.5%)は7割台半ばを超えている。一方で、「言葉を知ったことはなく、意味も知らない」(22.3%)は2割強となっている。

【過去調査との比較】

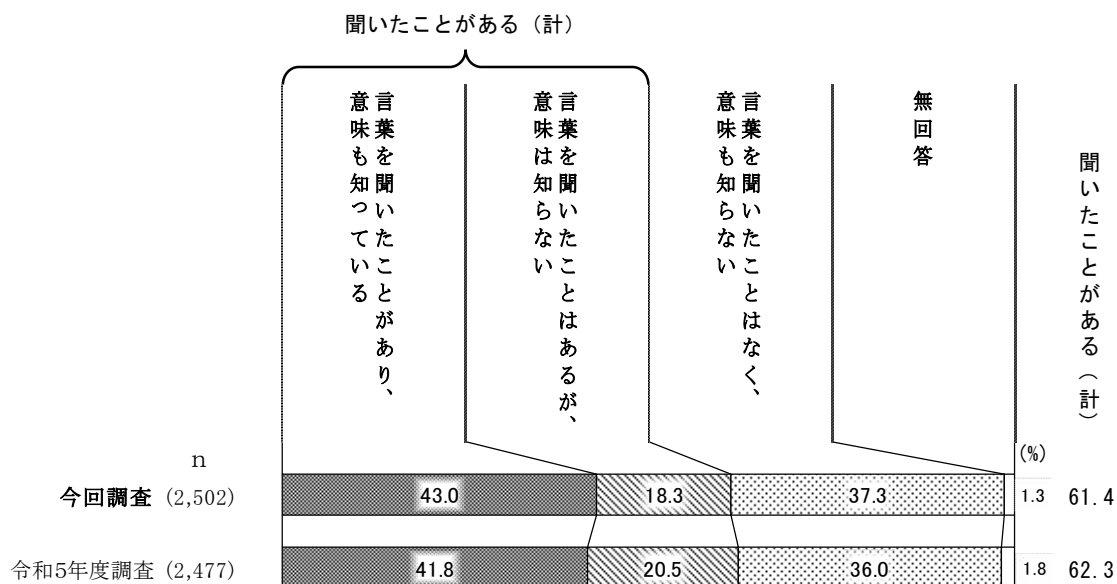
令和5年度調査と比べると、回答分布に大きな差はみられない。

(13-2) 性自認の認知度

◇『聞いたことがある（計）』が61.4%

問14(2) あなたは、「性自認*」という言葉を知っていますか。また、意味を知っていますか。(○は1つだけ)

*「性自認」とは、自己の性別についての認識のことです。



「性自認」という言葉の認知度は、「言葉を知っていることあり、意味も知っていることあり」(43.0%)が4割強と最も高く、これに「言葉を知っていることあり、意味は知らない」(18.3%)を合わせた『聞いたことがある（計）』(61.4%)は6割強となっている。一方で、「言葉を知っていることあり、意味も知らない」(37.3%)は3割台半ばを超えている。

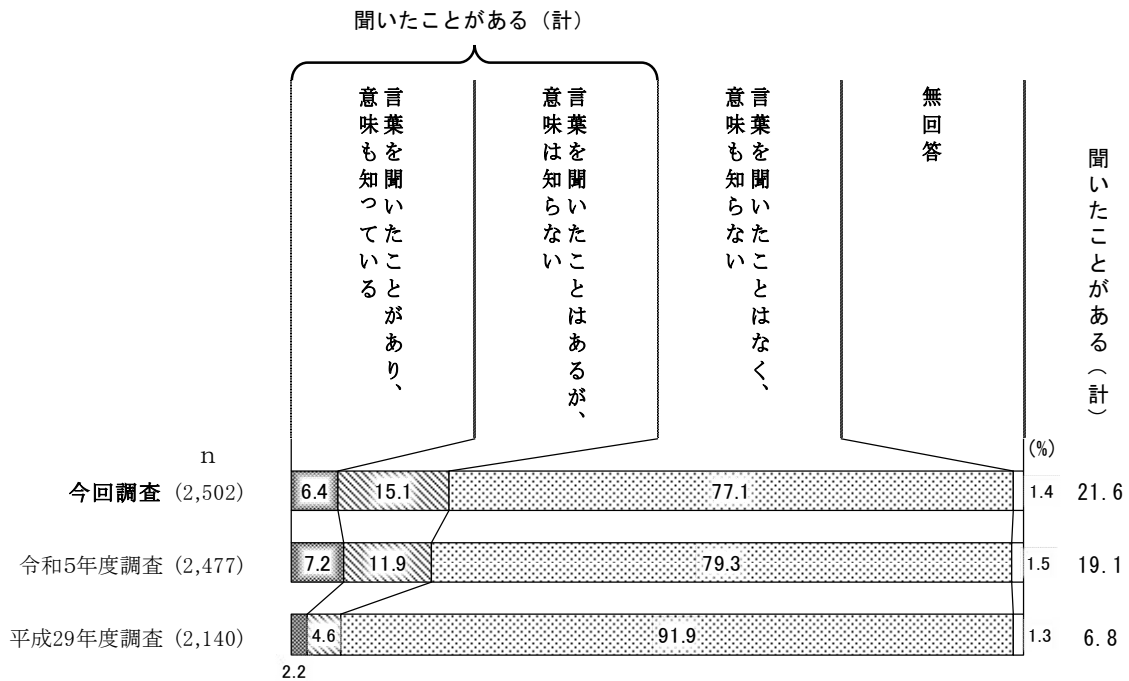
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べると、回答分布に大きな差はみられない。

(13-3) アライ (ALL Y) の認知度

◇『聞いたことがある (計)』が 21.6%

問14 (3) あなたは、「アライ (ALL Y) *」という言葉を知っていますか。また、意味を知っていますか。(○は1つだけ)
 *「アライ (ALL Y)」とは、性的マイノリティを理解し、支援している人、または支援したいと思う人のことです。



※平成29年度調査は「言葉は聞いているし、意味も知っている」
 「言葉は聞いているが、意味は知らなかった」
 「言葉を聞いたことがないし、意味も知らない」

「アライ (ALL Y)」という言葉の認知度は、「言葉を聞いたことがあり、意味も知っている」が6.4%となっており、これに「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」(15.1%)を合わせた『聞いたことがある (計)』(21.6%)は2割強となっている。一方で、「言葉を聞いたことはなく、意味も知らない」(77.1%)は7割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

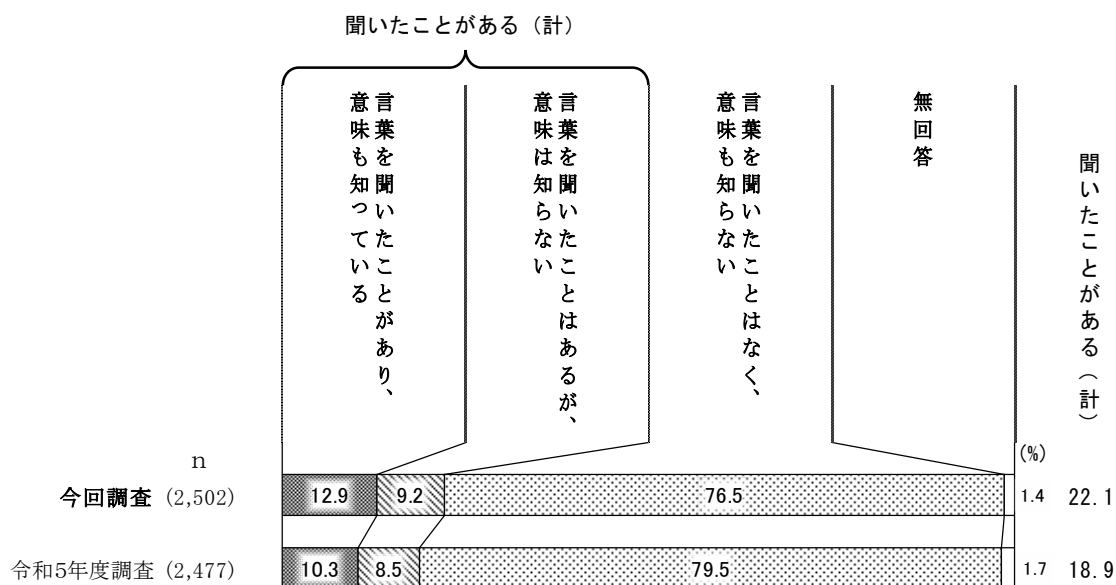
令和5年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

(13-4) アウティングの認知度

◇『聞いたことがある（計）』が22.1%

問14(4) あなたは、「アウティング*」という言葉を知っていますか。また、意味を知っていますか。(○は1つだけ)

*「アウティング」とは、性的指向又は性自認に関して、本人の意に反して本人が秘密にしていることを明かすことです。



「アウティング」という言葉の認知度は、「言葉を知ったことがある、意味も知っている」(12.9%)が1割強となっており、これに「言葉を知ったことはあるが、意味は知らない」(9.2%)を合わせた『聞いたことがある（計）』(22.1%)は2割強となっている。一方で、「言葉を知ったことはなく、意味も知らない」(76.5%)は7割台半ばを超えている。

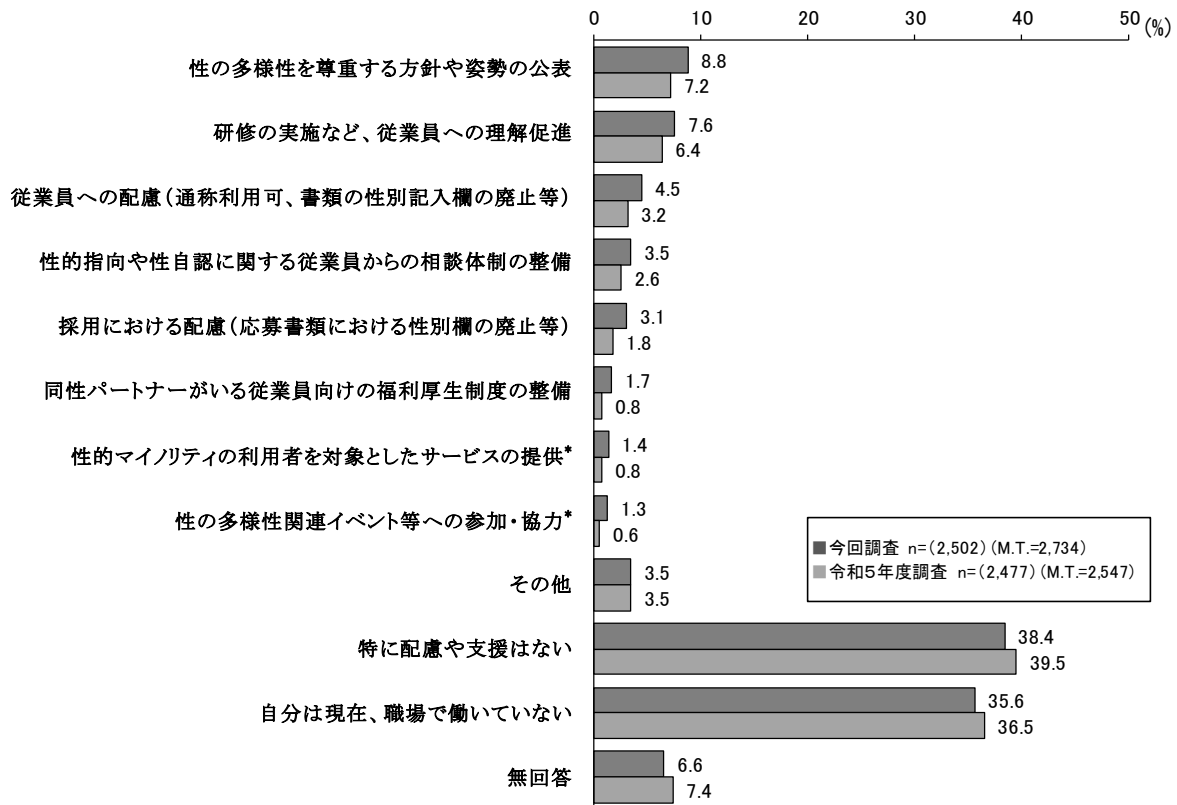
【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べると、回答分布に大きな差はみられない。

(13-5) 職場での性の多様性に対する配慮や支援

◇「特に配慮や支援はない」が38.4%

問14(5) あなたの職場では、性の多様性に対する配慮や支援はありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※令和5年度は「LGBTQの利用者を対象としたサービスの提供」「LGBTQ関連イベント等への参加・協力」

職場での性の多様性に対する配慮や支援は、「性の多様性を尊重する方針や姿勢の公表」が8.8%と最も高く、次いで「研修の実施など、従業員への理解促進」(7.6%)、「従業員への配慮(通称利用可、書類の性別記入欄の廃止等)」(4.5%) などとなっている。一方で、「特に配慮や支援はない」(38.4%) が4割弱となっている。

【過去調査との比較】

令和5年度調査と比べると、回答分布に大きな差はみられない。

3. 県政への要望について

◇「災害から県民をまもる」が24.6%

問15 埼玉県政への要望についておたずねします。

県の行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)

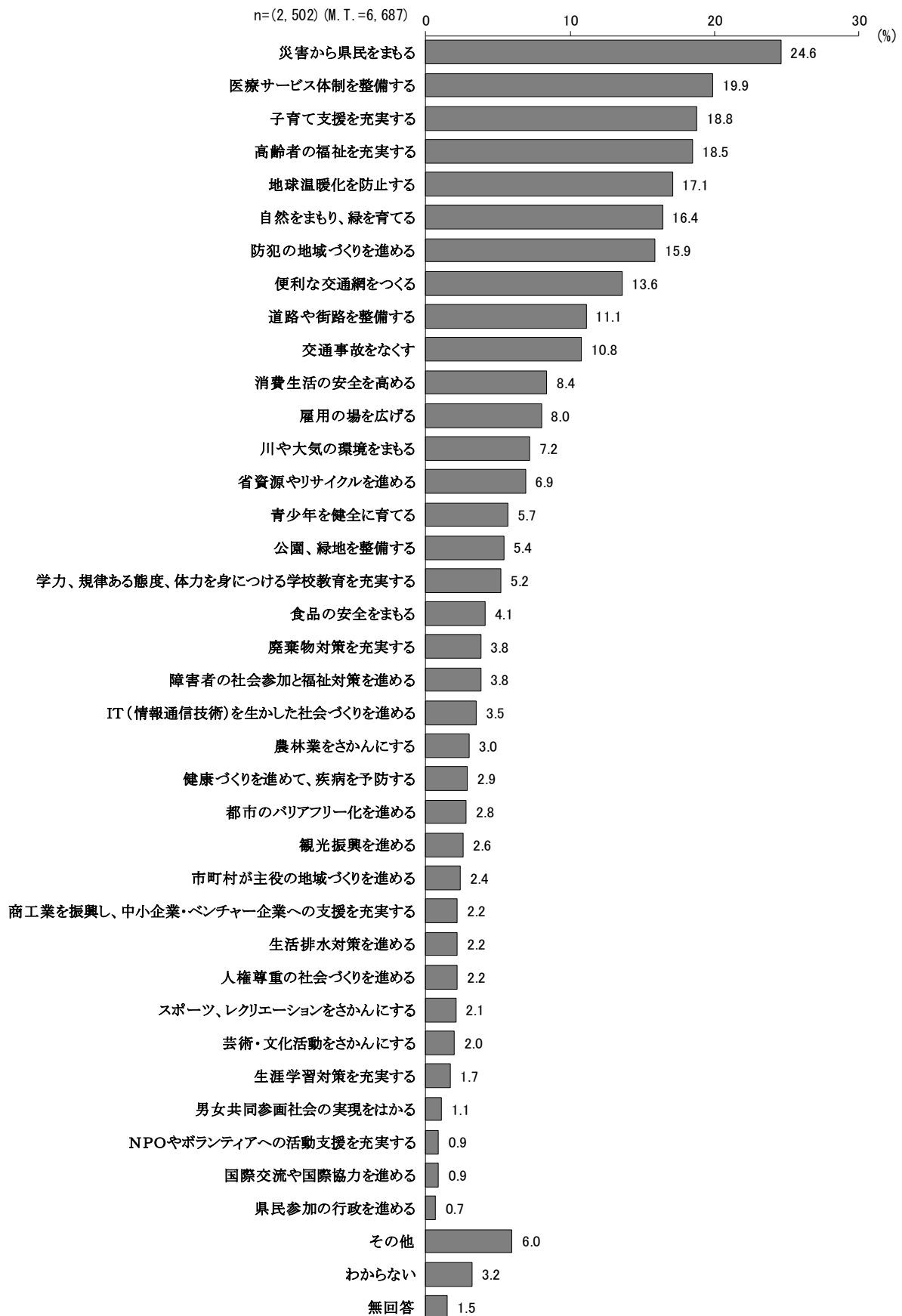
| | 今 回 | 前回 (令和5年度調査) | 増減差 |
|------------------|-------|--------------|-------|
| 1位 災害から県民をまもる | 24.6% | 23.2% (1位) | 1.4 |
| 2位 医療サービス体制を整備する | 19.9 | 18.0 (3位) | 1.9 |
| 3位 子育て支援を充実する | 18.8 | 17.9 (4位) | 0.9 |
| 4位 高齢者の福祉を充実する | 18.5 | 17.2 (5位) | 1.3 |
| 5位 地球温暖化を防止する | 17.1 | 19.4 (2位) | △ 2.3 |
| 6位 自然をまもり、緑を育てる | 16.4 | 15.9 (7位) | 0.5 |
| 7位 防犯の地域づくりを進める | 15.9 | 16.8 (6位) | △ 0.9 |
| 8位 便利な交通網をつくる | 13.6 | 13.2 (8位) | 0.4 |
| 9位 道路や街路を整備する | 11.1 | 10.8 (10位) | 0.3 |
| 10位 交通事故をなくす | 10.8 | 11.0 (9位) | △ 0.2 |

【過去調査との比較】

今回の上位10位と前回の令和5年度調査を比べると、1位の「災害から県民をまもる」と8位の「便利な交通網をつくる」は順位の変化がない。2位の「医療サービス体制を整備する」、3位の「子育て支援を充実する」、4位の「高齢者の福祉を充実する」は順位を1つ上げ、5位の「地球温暖化を防止する」は順位を3つ下げている。また、6位の「自然をまもり、緑を育てる」と9位の「道路や街路を整備する」は順位を1つ上げ、7位の「防犯の地域づくりを進める」と10位の「交通事故をなくす」は順位を1つ下げている。

前回調査との増減をみると、「地球温暖化を防止する」(2.3ポイント減)、「防犯の地域づくりを進める」(0.9ポイント減)、「交通事故をなくす」(0.2ポイント減)が減少し、他の項目は増加している。

○「県政」への要望について



【令和2年度以降の上位10位の推移】

過去5年間の上位10位の推移をみると、1位の「災害から県民をまもる」(2位→2位→1位→1位→1位)、8位の「便利な交通網をつくる」(9位→11位→9位→8位→8位)は前回順位を維持している。2位の「医療サービス体制を整備する」(3位→3位→2位→3位→2位)、3位の「子育て支援を充実する」(6位→6位→5位→4位→3位)、4位の「高齢者の福祉を充実する」(5位→4位→3位→5位→4位)、6位の「自然をまもり、緑を育てる」(6位→7位→6位→7位→6位)、9位の「道路や街路を整備する」(9位→9位→10位→10位→9位)は前回から順位を1つ上げた。5位の「地球温暖化を防止する」(4位→5位→4位→2位→5位)は前回から順位を3つ下げた。7位の「防犯の地域づくりを進める」(8位→8位→8位→6位→7位)、10位の「交通事故をなくす」(12位→10位→11位→9位→10位)は前回から順位を1つ下げた。

| 順位 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|----|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------|------------------------|
| 1 | 新型コロナウイルス感染症対策を進める 37.3% | 新型コロナウイルス感染症対策を進める 26.8% | 災害から県民をまもる 25.6% | 災害から県民をまもる 23.2% | 災害から県民をまもる 24.6% |
| 2 | 災害から県民をまもる 25.5% | 災害から県民をまもる 25.0% | 医療サービス体制を整備する 19.7% | 地球温暖化を防止する 19.4% | 医療サービス体制を整備する 19.9% |
| 3 | 医療サービス体制を整備する 20.3% | 医療サービス体制を整備する 19.8% | 高齢者の福祉を充実する 17.8% | 医療サービス体制を整備する 18.0% | 子育て支援を充実する 18.8% |
| 4 | 地球温暖化を防止する 17.3% | 高齢者の福祉を充実する 15.6% | 地球温暖化を防止する 17.6% | 子育て支援を充実する 17.9% | 高齢者の福祉を充実する 18.5% |
| 5 | 高齢者の福祉を充実する 17.2% | 地球温暖化を防止する 14.9% | 子育て支援を充実する 17.2% | 高齢者の福祉を充実する 17.2% | 地球温暖化を防止する 17.1% |
| 6 | 自然をまもり、緑を育てる 14.3% | 子育て支援を充実する 14.3% | 自然をまもり、緑を育てる 15.8% | 防犯の地域づくりを進める 16.8% | 自然をまもり、緑を育てる 16.4% |
| 7 | 子育て支援を充実する 12.9% | 自然をまもり、緑を育てる 13.8% | 新型コロナウイルス感染症対策を進める 15.6% | 自然をまもり、緑を育てる 15.9% | 防犯の地域づくりを進める 15.9% |
| 8 | 防犯の地域づくりを進める 11.8% | 防犯の地域づくりを進める 13.0% | 防犯の地域づくりを進める 12.9% | 便利な交通網をつくる 13.2% | 便利な交通網をつくる 13.6% |
| 9 | 道路や街路を整備する 11.8% | 道路や街路を整備する 11.8% | 便利な交通網をつくる 12.2% | 交通事故をなくす 11.0% | 道路や街路を整備する 11.1% |
| 10 | 便利な交通網をつくる 10.0% | 交通事故をなくす 11.7% | 道路や街路を整備する 10.4% | 道路や街路を整備する 10.8% | 交通事故をなくす 10.8% |

【上位4位の10年間の推移】

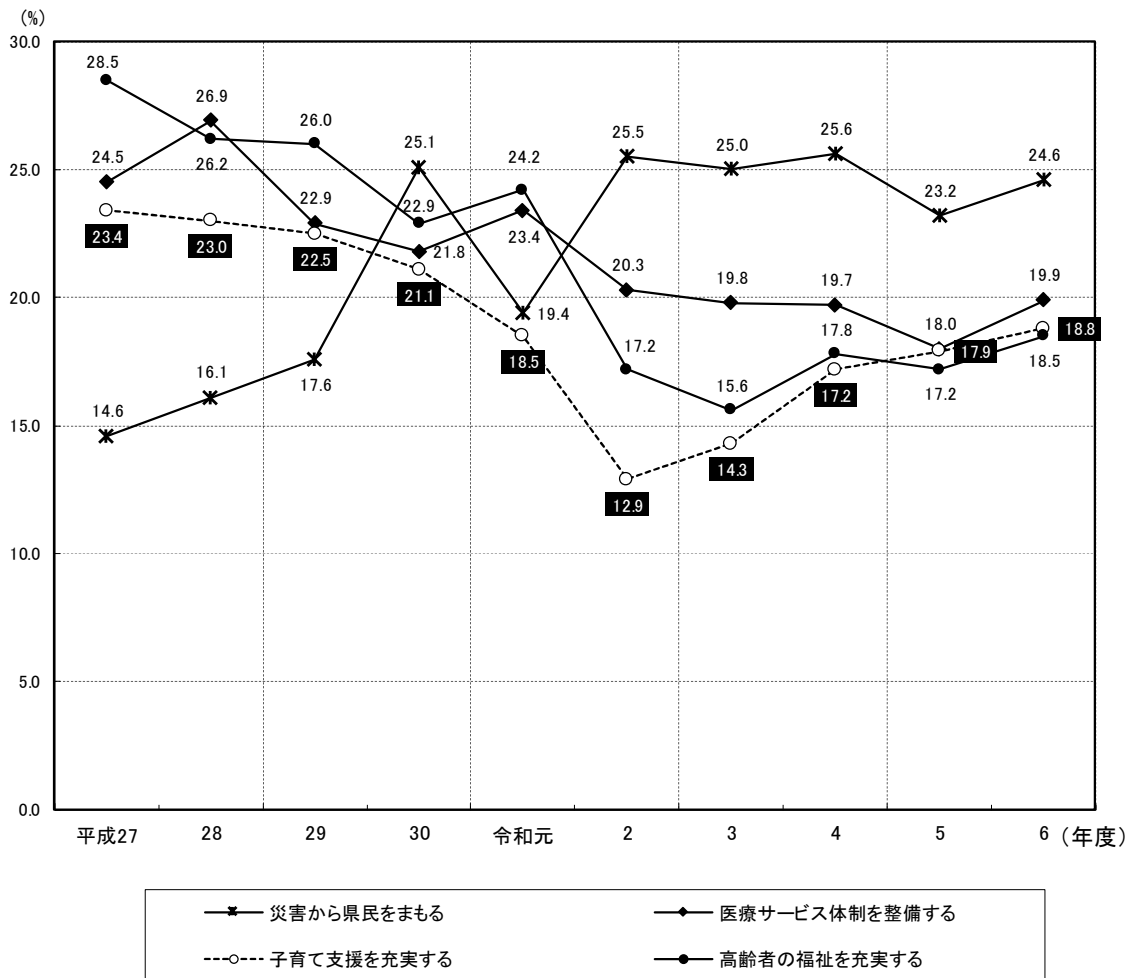
今回調査で上位となった「災害から県民をまもる」、「医療サービス体制を整備する」、「子育て支援を充実する」、「高齢者の福祉を充実する」の4項目について、平成27年度以降の直近10年間の推移をみると次のようになっている。

まず、1位の「災害から県民をまもる」は平成29年度までは1割台で推移していたが、平成30年度（25.1%）の2割台半ばまで増加した。令和元年度（19.4%）に1割台後半に減少したが、令和2年度（25.5%）からおおむね2割台半ばで推移している。

2位の「医療サービス体制を整備する」は平成28年度（26.9%）に2割台半ばを超えたが、その後は2割台前半で推移し、令和3年度（19.8%）から2割を下回って推移している。

3位の「子育て支援を充実する」は、平成27年度（23.4%）の2割台前半から令和2年度（12.9%）で1割台前半まで減少していたが、令和4年度（17.2%）から1割台後半まで増加して推移している。

4位の「高齢者の福祉を充実する」は、平成27年度（28.5%）の2割台後半から令和3年度（15.6%）で1割台半ばまで減少していたが、令和4年度（17.8%）から1割台後半まで増加して推移している。



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

県政への要望 10年間の推移（平成27年度～令和6年度）

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|----|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 | 高齢者の福祉を充実する 28.5% | 医療サービス体制を整備する 26.9% | 高齢者の福祉を充実する 26.0% | 災害から県民をまもる 25.1% | 高齢者の福祉を充実する 24.2% |
| 2 | 医療サービス体制を整備する 24.5% | 高齢者の福祉を充実する 26.2% | 医療サービス体制を整備する 22.9% | 高齢者の福祉を充実する 22.9% | 医療サービス体制を整備する 23.4% |
| 3 | 子育て支援を充実する 23.4% | 子育て支援を充実する 23.0% | 子育て支援を充実する 22.5% | 医療サービス体制を整備する 21.8% | 災害から県民をまもる 19.4% |
| 4 | 防犯の地域づくりを進める 17.4% | 防犯の地域づくりを進める 17.9% | 災害から県民をまもる 17.6% | 子育て支援を充実する 21.1% | 子育て支援を充実する 18.5% |
| 5 | 災害から県民をまもる 14.6% | 災害から県民をまもる 16.1% | 防犯の地域づくりを進める 14.7% | 防犯の地域づくりを進める 14.7% | 防犯の地域づくりを進める 16.7% |
| 6 | 食品の安全をまもる 13.4% | 自然をまもり、緑を育てる 13.4% | 交通事故をなくす 13.6% | 自然をまもり、緑を育てる 13.4% | 交通事故をなくす 16.6% |
| 7 | 道路や街路を整備する 13.0% | 雇用の場を広げる 12.8% | 道路や街路を整備する 12.8% | 道路や街路を整備する 12.7% | 道路や街路を整備する 13.4% |
| 8 | 雇用の場を広げる 12.8% | 道路や街路を整備する 12.0% | 自然をまもり、緑を育てる 12.6% | 便利な交通網をつくる 12.6% | 便利な交通網をつくる 12.9% |
| 9 | 自然をまもり、緑を育てる 12.4% | 食品の安全をまもる 11.9% | 便利な交通網をつくる 12.0% | 交通事故をなくす 12.5% | 地球温暖化を防止する 12.7% |
| 10 | 便利な交通網をつくる 12.0% | 便利な交通網をつくる 11.7% | 食品の安全をまもる 11.4% | 地球温暖化を防止する 12.3% | 自然をまもり、緑を育てる 12.3% |
| 11 | 交通事故をなくす 10.5% | 交通事故をなくす 9.9% | 雇用の場を広げる 10.8% | 食品の安全をまもる 11.9% | 雇用の場を広げる 9.6% |
| 12 | 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.4% | 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.8% | 地球温暖化を防止する 10.7% | 雇用の場を広げる 8.6% | 食品の安全をまもる 9.3% |
| 13 | 青少年を健全に育てる 7.9% | 地球温暖化を防止する 8.6% | 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 9.2% | 川や大気環境をまもる 8.4% | 省資源やリサイクルを進める 8.4% |
| 14 | 川や大気環境をまもる 6.6% | 川や大気環境をまもる 8.0% | 川や大気環境をまもる 8.0% | 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 7.4% | 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.1% |
| 15 | 地球温暖化を防止する／ 6.4% | 青少年を健全に育てる 6.9% | 青少年を健全に育てる 6.8% | 青少年を健全に育てる 6.7% | 川や大気環境をまもる 7.9% |
| 16 | 公園、緑地を整備する 6.4% | 公園、緑地を整備する 5.4% | 公園、緑地を整備する 5.8% | 省資源やリサイクルを進める／ 6.7% | 青少年を健全に育てる 7.2% |
| 17 | 消費生活の安全を高める 6.3% | 省資源やリサイクルを進める／ 5.6% | 障害者の社会参加と福祉対策を進める 5.5% | 消費生活の安全を高める／ 5.6% | 公園、緑地を整備する 5.6% |
| 18 | 健康づくりを進めて、疾病を予防する 5.6% | 消費生活の安全を高める 5.2% | 消費生活の安全を高める 5.2% | 公園、緑地を整備する 5.6% | 消費生活の安全を高める 5.5% |
| 19 | 省資源やリサイクルを進める 5.1% | 健康づくりを進めて、疾病を予防する 4.8% | 省資源やリサイクルを進める／ 4.6% | 障害者の社会参加と福祉対策を進める 4.7% | 障害者の社会参加と福祉対策を進める 4.9% |
| 20 | 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 4.3% | 障害者の社会参加と福祉対策を進める 4.7% | 健康づくりを進めて、疾病を予防する 4.6% | 廃棄物対策を充実する／ 4.1% | 廃棄物対策を充実する 4.7% |
| 21 | 障害者の社会参加と福祉対策を進める 3.7% | 廃棄物対策を充実する／ 3.4% | 都市のバリアフリー化を進める 4.3% | 健康づくりを進めて、疾病を予防する 4.1% | 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.8% |
| 22 | 都市のバリアフリー化を進める 3.4% | 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.4% | 廃棄物対策を充実する 3.5% | 都市のバリアフリー化を進める 3.5% | 健康づくりを進めて、疾病を予防する 3.4% |
| 23 | 生活排水対策を進める 3.2% | 都市のバリアフリー化を進める 3.3% | 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.3% | 観光振興を進める／ 3.0% | 都市のバリアフリー化を進める 3.1% |
| 24 | 廃棄物対策を充実する 3.1% | 生活排水対策を進める／ 3.1% | スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.9% | 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.0% | 生活排水対策を進める 3.0% |
| 25 | 市町村が主役の地域づくりを進める／ 3.1% | スポーツ、レクリエーションをさかんにする 3.1% | 生活排水対策を進める 2.8% | スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.7% | 観光振興を進める 2.9% |
| 26 | 芸術・文化活動をさかんにする／ 2.6% | 生涯学習対策を充実する／ 2.3% | 市町村が主役の地域づくりを進める／ 2.6% | 生活排水対策を進める 2.5% | 芸術・文化活動をさかんにする 2.6% |
| 27 | スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.6% | 芸術・文化活動をさかんにする 2.3% | 人権尊重の社会づくりを進める 2.6% | 農林業をさかんにする 2.3% | 人権尊重の社会づくりを進める 2.5% |
| 28 | 農林業をさかんにする 2.4% | 人権尊重の社会づくりを進める 2.2% | 芸術・文化活動をさかんにする 2.2% | IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 2.0% | 市町村が主役の地域づくりを進める 2.1% |
| 29 | 生涯学習対策を充実する 2.1% | 市町村が主役の地域づくりを進める 2.1% | 観光振興を進める 2.4% | 人権尊重の社会づくりを進める／ 2.0% | 農林業をさかんにする 2.0% |
| 30 | 観光振興を進める 2.0% | 農林業をさかんにする／ 1.8% | 農林業をさかんにする 1.9% | 芸術・文化活動をさかんにする 2.0% | IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める／ 1.8% |
| 31 | 人権尊重の社会づくりを進める 1.6% | 観光振興を進める 1.8% | 生涯学習対策を充実する 1.8% | 市町村が主役の地域づくりを進める 1.9% | 生涯学習対策を充実する／ 1.8% |
| 32 | 男女共同参画社会の実現をはかる／ 1.0% | IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 1.1% | IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 1.6% | 生涯学習対策を充実する 1.6% | スポーツ、レクリエーションをさかんにする 1.8% |
| 33 | 県民参加の行政を進める 1.0% | 県民参加の行政を進める／ 0.9% | 国際交流や国際協力を進める 1.2% | 国際交流や国際協力を進める 1.4% | 男女共同参画社会の実現をはかる 1.1% |
| 34 | IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める／ 0.9% | 国際交流や国際協力を進める 0.9% | 県民参加の行政を進める 1.1% | 男女共同参画社会の実現をはかる 1.1% | 国際交流や国際協力を進める 1.0% |
| 35 | 国際交流や国際協力を進める 0.9% | 男女共同参画社会の実現をはかる 0.8% | 男女共同参画社会の実現をはかる 0.7% | 県民参加の行政を進める 0.8% | NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.8% |
| 36 | NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.8% | NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.7% | NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.6% | NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.5% | 県民参加の行政を進める 0.6% |

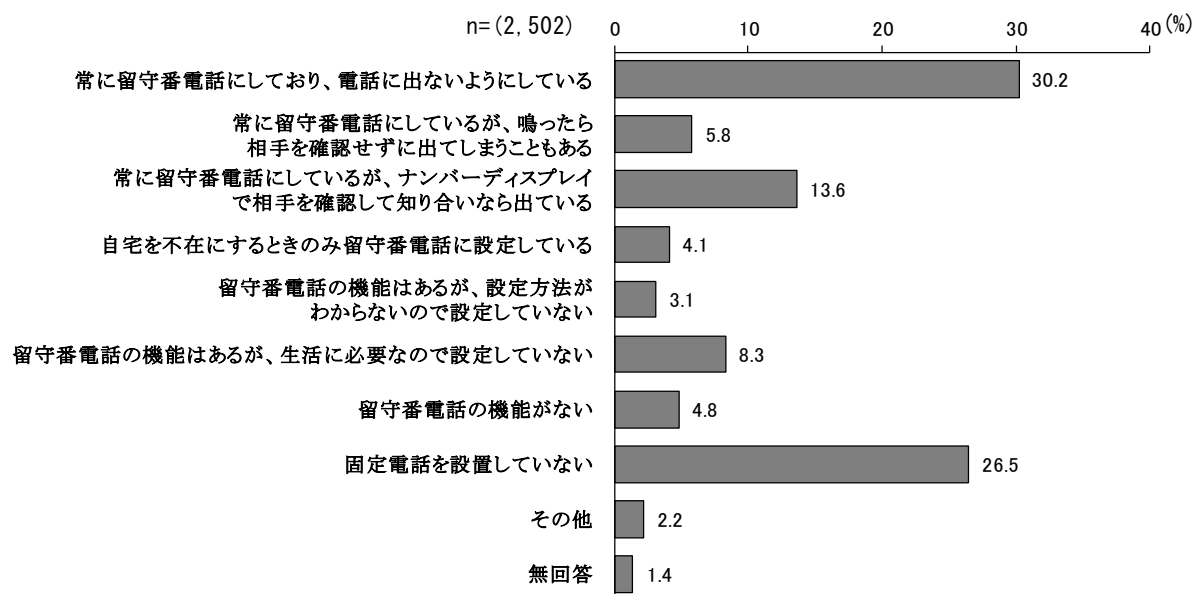
| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|----|--|---|---|---|---|
| 1 | 新型コロナウイルス感染症対策を進める 37.3% | 新型コロナウイルス感染症対策を進める 26.8% | 災害から県民をまもる 25.6% | 災害から県民をまもる 23.2% | 災害から県民をまもる 24.6% |
| 2 | 災害から県民をまもる 25.5% | 災害から県民をまもる 25.0% | 医療サービス体制を整備する 19.7% | 地球温暖化を防止する 19.4% | 医療サービス体制を整備する 19.9% |
| 3 | 医療サービス体制を整備する 20.3% | 医療サービス体制を整備する 19.8% | 高齢者の福祉を充実する 17.8% | 医療サービス体制を整備する 18.0% | 子育て支援を充実する 18.8% |
| 4 | 地球温暖化を防止する 17.3% | 高齢者の福祉を充実する 15.6% | 地球温暖化を防止する 17.6% | 子育て支援を充実する 17.9% | 高齢者の福祉を充実する 18.5% |
| 5 | 高齢者の福祉を充実する 17.2% | 地球温暖化を防止する 14.9% | 子育て支援を充実する 17.2% | 高齢者の福祉を充実する 17.2% | 地球温暖化を防止する 17.1% |
| 6 | 自然をまもり、緑を育てる/ 子育て支援を充実する 12.9% | 子育て支援を充実する 14.3% | 自然をまもり、緑を育てる 15.8% | 防犯の地域づくりを進める 16.8% | 自然をまもり、緑を育てる 16.4% |
| 7 | 自然をまもり、緑を育てる 12.9% | 自然をまもり、緑を育てる 13.8% | 新型コロナウイルス感染症対策を進める 15.6% | 自然をまもり、緑を育てる 15.9% | 防犯の地域づくりを進める 15.9% |
| 8 | 防犯の地域づくりを進める 11.8% | 防犯の地域づくりを進める 13.0% | 防犯の地域づくりを進める 12.9% | 便利な交通網をつくる 13.2% | 便利な交通網をつくる 13.6% |
| 9 | 道路や街路を整備する/ 便利な交通網をつくる 10.0% | 道路や街路を整備する 11.8% | 便利な交通網をつくる 12.2% | 交通事故をなくす 11.0% | 道路や街路を整備する 11.1% |
| 10 | 便利な交通網をつくる 10.0% | 交通事故をなくす 11.7% | 道路や街路を整備する 10.4% | 道路や街路を整備する 10.8% | 交通事故をなくす 10.8% |
| 11 | 川や大気環境をまもる 9.1% | 便利な交通網をつくる 11.2% | 交通事故をなくす 10.3% | 消費生活の安全を高める 9.8% | 消費生活の安全を高める 8.4% |
| 12 | 交通事故をなくす 8.8% | 省資源やリサイクルを進める 7.8% | 省資源やリサイクルを進める 8.7% | 川や大気環境をまもる 8.2% | 雇用の場を広げる 8.0% |
| 13 | 省資源やリサイクルを進める 7.7% | 雇用の場を広げる 7.0% | 雇用の場を広げる 8.3% | 省資源やリサイクルを進める 7.9% | 川や大気環境をまもる 7.2% |
| 14 | 雇用の場を広げる 7.2% | 川や大気環境をまもる 6.9% | 川や大気環境をまもる 7.3% | 雇用の場を広げる 7.0% | 省資源やリサイクルを進める 6.9% |
| 15 | 公園、緑地を整備する 6.0% | 公園、緑地を整備する 5.7% | 消費生活の安全を高める 6.9% | 食品の安全をまもる 6.3% | 青少年を健全に育てる 5.7% |
| 16 | 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 5.1% | 消費生活の安全を高める 5.1% | 公園、緑地を整備する 6.0% | 公園、緑地を整備する 6.1% | 公園、緑地を整備する 5.4% |
| 17 | 消費生活の安全を高める 4.8% | 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 4.9% | 食品の安全をまもる 5.5% | 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 5.7% | 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 5.2% |
| 18 | 青少年を健全に育てる 4.6% | IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 4.5% | 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する/ 青少年を健全に育てる 5.1% | 青少年を健全に育てる 5.6% | 食品の安全をまもる 4.1% |
| 19 | 食品の安全をまもる 4.2% | 青少年を健全に育てる/ 食品の安全をまもる 4.3% | 青少年を健全に育てる 5.1% | 廃棄物対策を充実する 4.7% | 廃棄物対策を充実する/ 障害者の社会参加と福祉対策を進める 3.8% |
| 20 | 廃棄物対策を充実する 4.1% | 食品の安全をまもる 4.3% | 廃棄物対策を充実する 4.9% | 障害者の社会参加と福祉対策を進める 4.4% | 障害者の社会参加と福祉対策を進める 3.8% |
| 21 | 障害者の社会参加と福祉対策を進める 3.5% | 廃棄物対策を充実する 4.1% | 障害者の社会参加と福祉対策を進める/ 農林業をさかんにする 3.9% | 新型コロナウイルス感染症対策を進める/ 農林業をさかんにする 3.8% | IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 3.5% |
| 22 | IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 2.9% | 障害者の社会参加と福祉対策を進める 3.7% | 農林業をさかんにする 3.9% | 農林業をさかんにする 3.8% | 農林業をさかんにする 3.0% |
| 23 | 農林業をさかんにする/ 芸術・文化活動をさかんにする 2.8% | 健康づくりを進めて、疾病を予防する/ 都市のバリアフリー化を進める 3.4% | IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 3.9% | 生活排水対策を進める/ 都市のバリアフリー化を進める 3.4% | 健康づくりを進めて、疾病を予防する 2.9% |
| 24 | 芸術・文化活動をさかんにする 2.8% | 都市のバリアフリー化を進める 3.4% | 人権尊重の社会づくりを進める 2.9% | 都市のバリアフリー化を進める 3.4% | 都市のバリアフリー化を進める 2.8% |
| 25 | 人権尊重の社会づくりを進める 2.6% | 芸術・文化活動をさかんにする 3.2% | 健康づくりを進めて、疾病を予防する/ 芸術・文化活動をさかんにする/ 観光振興を進める 2.9% | 人権尊重の社会づくりを進める 3.1% | 観光振興を進める 2.6% |
| 26 | 生活排水対策を進める/ 健康づくりを進めて、疾病を予防する 2.4% | 人権尊重の社会づくりを進める 2.9% | 芸術・文化活動をさかんにする/ 観光振興を進める 2.9% | 健康づくりを進めて、疾病を予防する 2.9% | 市町村が主役の地域づくりを進める 2.4% |
| 27 | 健康づくりを進めて、疾病を予防する 2.4% | スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.9% | 観光振興を進める/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.8% | 市町村が主役の地域づくりを進める/ IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 2.5% | 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.4% |
| 28 | 都市のバリアフリー化を進める/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.3% | 生活排水対策を進める 2.6% | 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.8% | IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 2.5% | 生活排水対策を進める/ 人権尊重の社会づくりを進める 2.2% |
| 29 | 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.3% | 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.5% | スポーツ、レクリエーションをさかんにする/ 生涯学習対策を充実する 2.4% | 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.4% | 人権尊重の社会づくりを進める 2.2% |
| 30 | 市町村が主役の地域づくりを進める/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 1.9% | 市町村が主役の地域づくりを進める 2.3% | 都市のバリアフリー化を進める 2.5% | 芸術・文化活動をさかんにする/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.3% | スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.1% |
| 31 | スポーツ、レクリエーションをさかんにする 1.9% | 農林業をさかんにする/ 観光振興を進める 1.8% | 生涯学習対策を充実する 2.4% | スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.3% | 芸術・文化活動をさかんにする 2.0% |
| 32 | 観光振興を進める 1.8% | 観光振興を進める 2.1% | 生活排水対策を進める 2.3% | 観光振興を進める 2.2% | 生涯学習対策を充実する 1.7% |
| 33 | 男女共同参画社会の実現をはかる/ 県民参加の行政を進める 1.0% | 生涯学習対策を充実する 1.4% | 市町村が主役の地域づくりを進める 2.1% | 生涯学習対策を充実する 2.1% | 男女共同参画社会の実現をはかる 1.1% |
| 34 | 県民参加の行政を進める 1.0% | 男女共同参画社会の実現をはかる 1.2% | 男女共同参画社会の実現をはかる 1.7% | 男女共同参画社会の実現をはかる 1.7% | NPOやボランティアへの活動支援を充実する/ 国際交流や国際協力を進める 0.9% |
| 35 | 生涯学習対策を充実する 0.9% | 県民参加の行政を進める/ 国際交流や国際協力を進める/ 国際交流や国際協力を進める 0.8% | NPOやボランティアへの活動支援を充実する 1.0% | 県民参加の行政を進める 1.1% | 国際交流や国際協力を進める 0.9% |
| 36 | 国際交流や国際協力を進める 0.8% | 国際交流や国際協力を進める/ 国際交流や国際協力を進める 0.8% | 国際交流や国際協力を進める 0.8% | NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.8% | 県民参加の行政を進める 0.7% |
| 37 | NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.7% | NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.9% | 県民参加の行政を進める 0.6% | 国際交流や国際協力を進める 0.6% | - - |

4. 特殊詐欺（サポート詐欺などを含む）被害防止に対する意識調査

（1）留守番電話の設定状況

◇「常に留守番電話にしており、電話に出ないようにしている」が30.2%

問16 県警察では、手軽にできる特殊詐欺被害防止対策として、「在宅中でも留守番電話に設定し、電話が鳴っても出ないようにして、録音で相手や要件を聞いてから折り返す」ことを推奨していますが、留守番電話の設定はしていますか。（○は1つだけ）

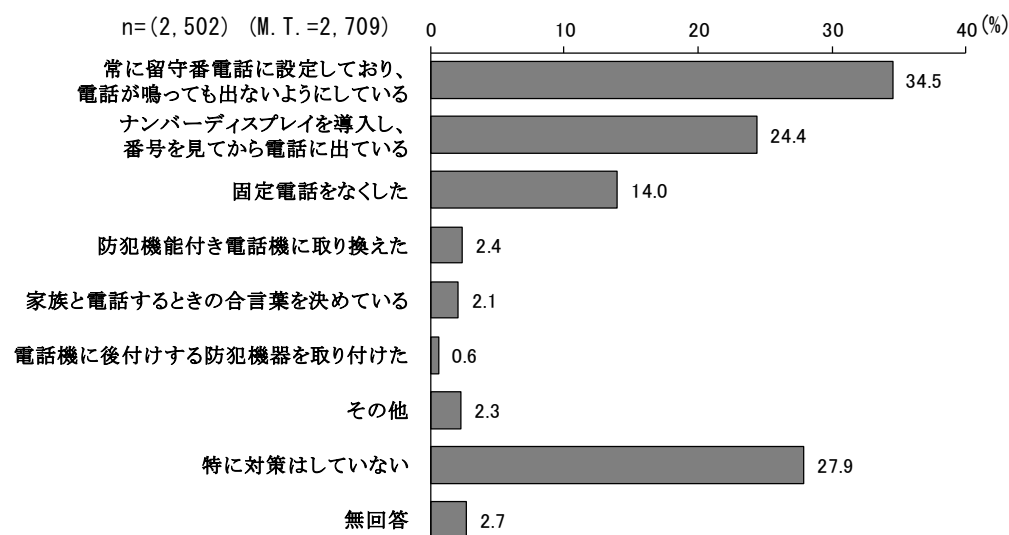


留守番電話の設定状況は、「常に留守番電話にしており、電話に出ないようにしている」（30.2%）が3割を超えて最も高く、次いで「常に留守番電話にしているが、ナンバーディスプレイで相手を確認して知り合いなら出ている」（13.6%）、「留守番電話の機能はあるが、生活に必要なので設定していない」（8.3%）、「常に留守番電話にしているが、鳴ったら相手を確認せずに出てしまうこともある」（5.8%）などとなっている。一方で、「固定電話を設置していない」（26.5%）が2割台半ばを超えている。

(2) 「特殊詐欺」対策の実施状況

◇「常に留守番電話に設定しており、電話が鳴っても出ないようにしている」が34.5%

問17 あなたは「特殊詐欺」の被害から身を守るための対策として、実施していることはありますか。(〇はいくつでも)



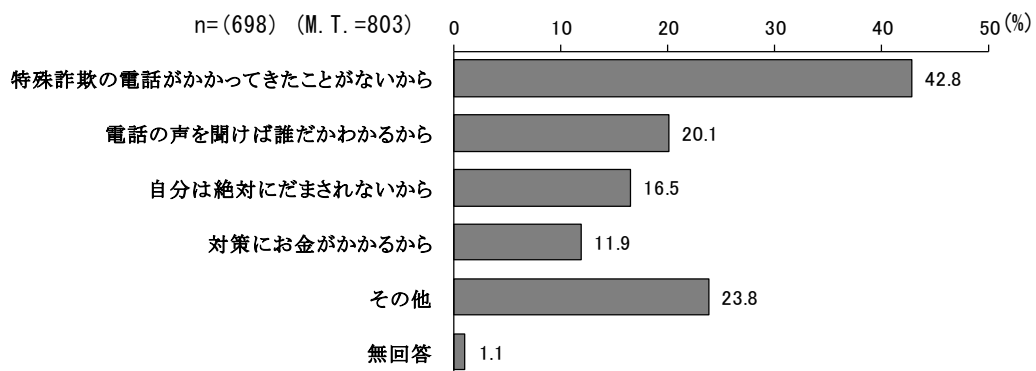
「特殊詐欺」対策の実施状況は、「常に留守番電話に設定しており、電話が鳴っても出ないようにしている」(34.5%)が3割台半ばと最も高く、次いで「ナンバーディスプレイを導入し、番号を見てから電話に出ている」(24.4%)、「固定電話をなくした」(14.0%)、「防犯機能付き電話機に取り換えた」(2.4%)などとなっている。一方で、「特に対策はしていない」(27.9%)は2割台半ばを超えている。

(2-1) 「特殊詐欺」対策が未実施の理由

◇「特殊詐欺の電話がかかってきたことがないから」が42.8%

(問17で「8. 特に対策はしていない」とお答えの方にお伺いします。)

問17-1 その理由は何ですか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。
(○はいくつでも)



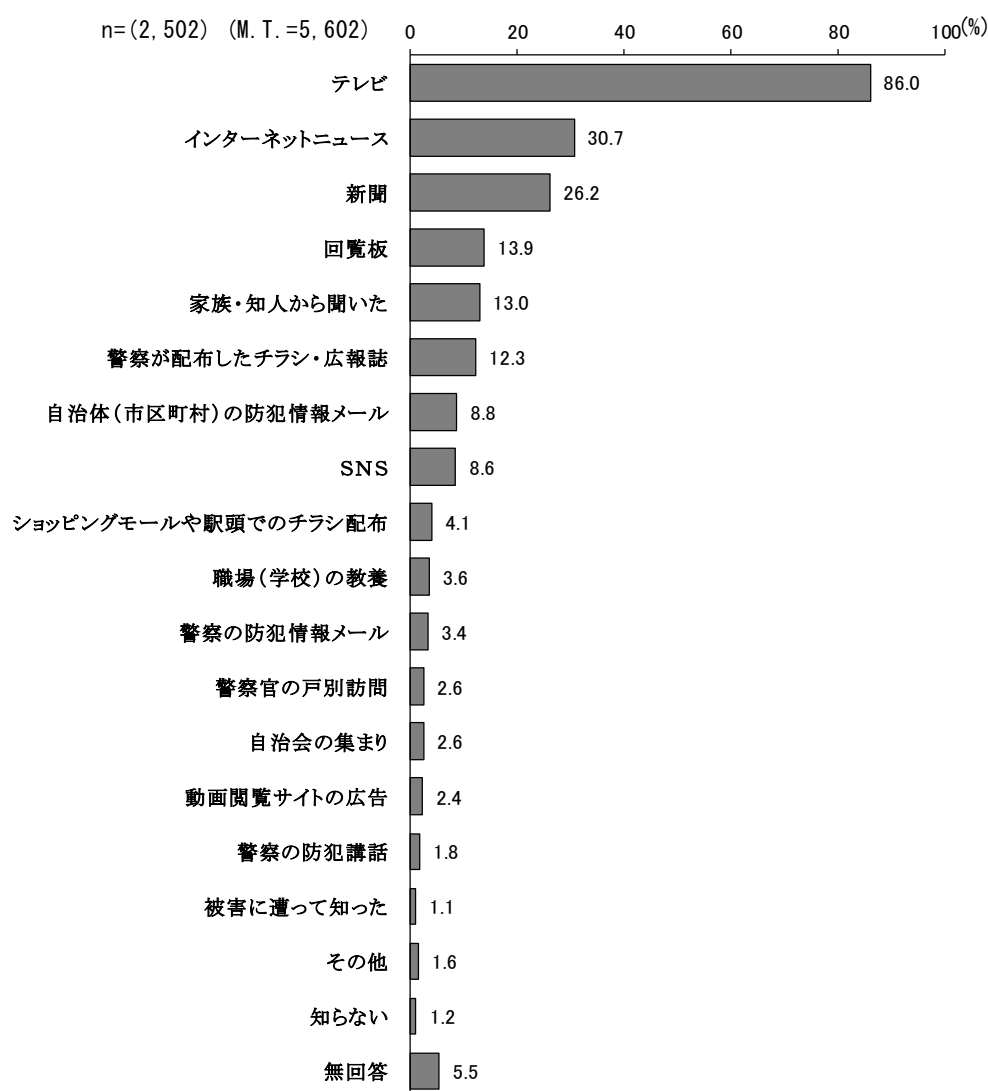
「特殊詐欺」対策が未実施の理由は、「特殊詐欺の電話がかかってきたことがないから」(42.8%)が4割強と最も高く、次いで「電話の声を聞けば誰かわかるから」(20.1%)、「自分は絶対にだまされないから」(16.5%)、「対策にお金がかかるから」(11.9%)と続いている。

(3) 特殊詐欺の手口や防犯対策の方法の入手先

◇特殊詐欺の手口や防犯対策の方法の入手先は、各手口において「テレビ」が最も多い

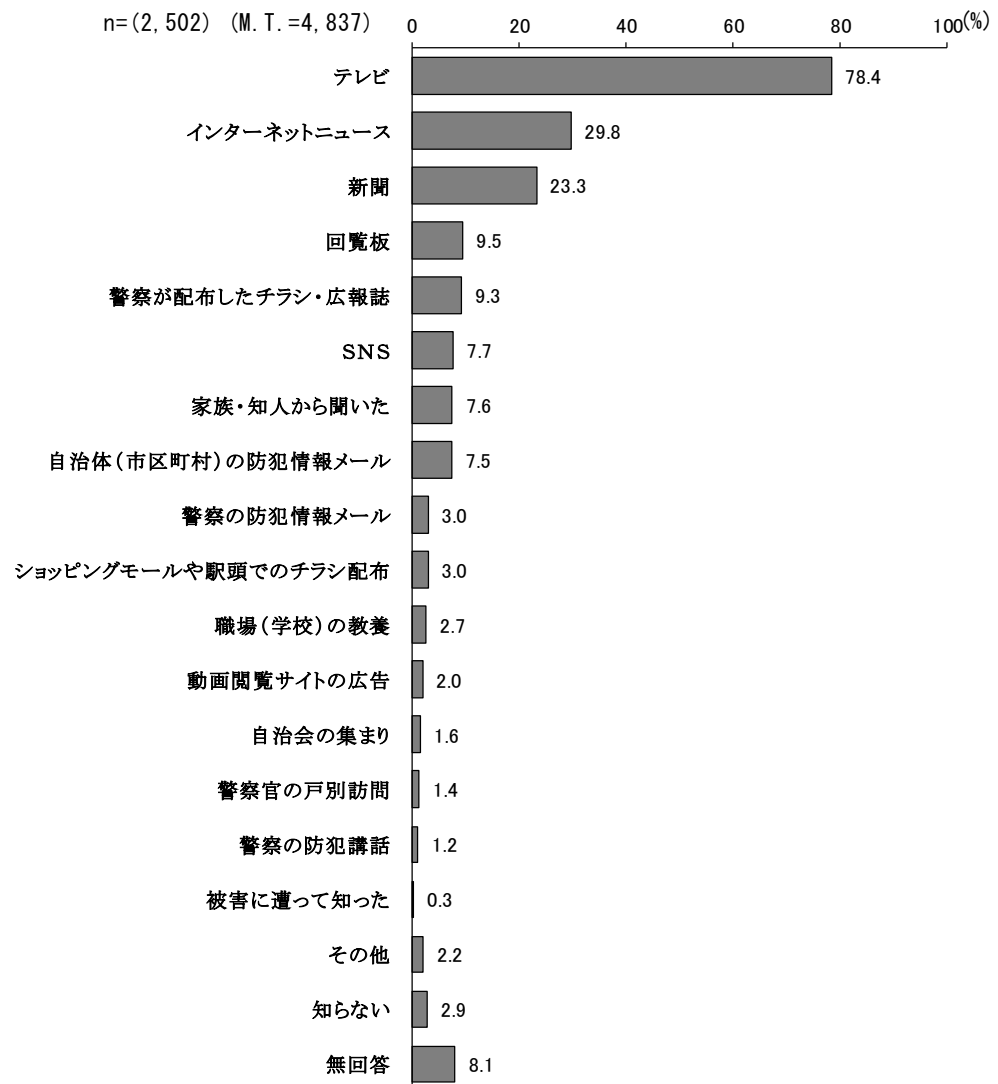
問18 特殊詐欺の手口や防犯対策の方法を何で知りましたか。(〇はいくつでも)

(1) オレオレ詐欺



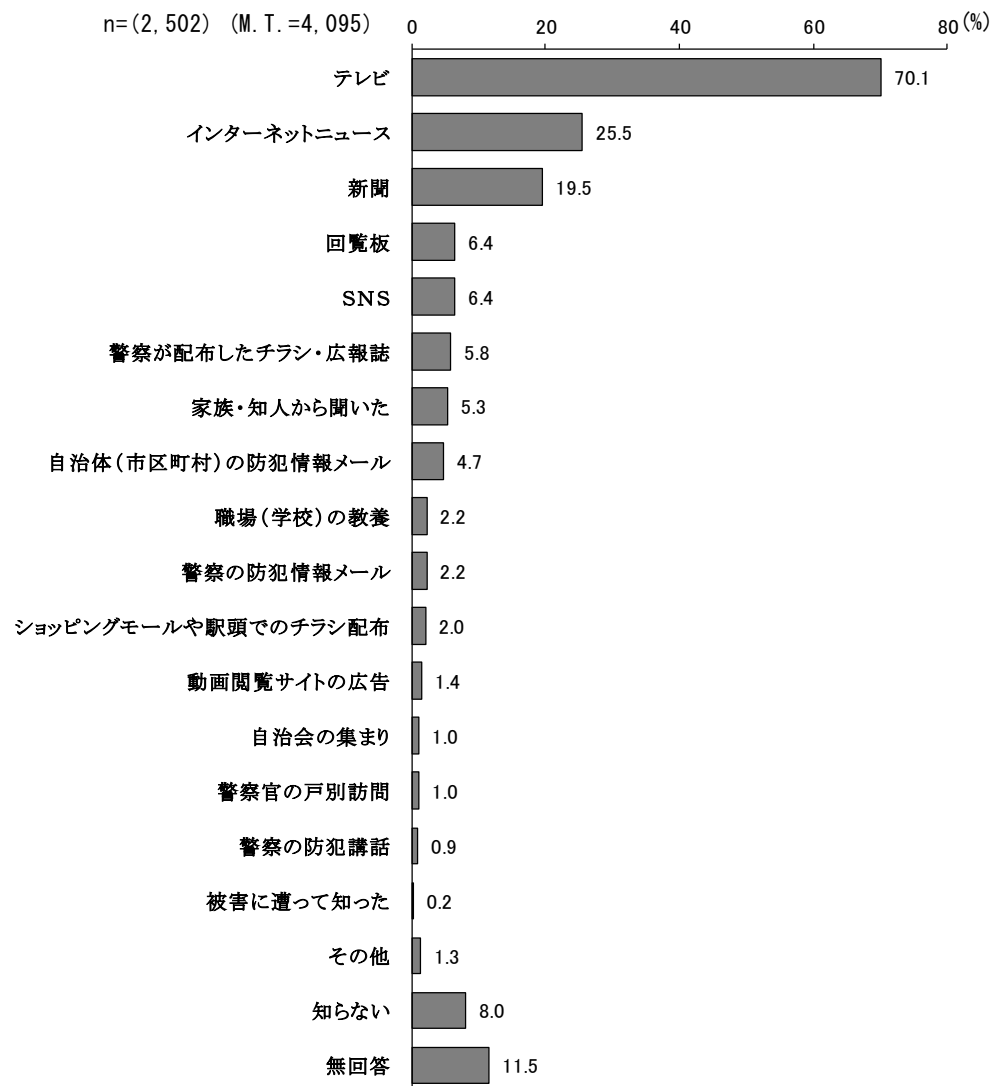
オレオレ詐欺の手口や防犯対策の方法の入手先は、「テレビ」(86.0%)で8割台半ばを超えて最も高く、次いで「インターネットニュース」(30.7%)、「新聞」(26.2%)、「回覧板」(13.9%)、「家族・知人から聞いた」(13.0%)、「警察が配布したチラシ・広報誌」(12.3%)などとなっている。

(2) 還付金詐欺



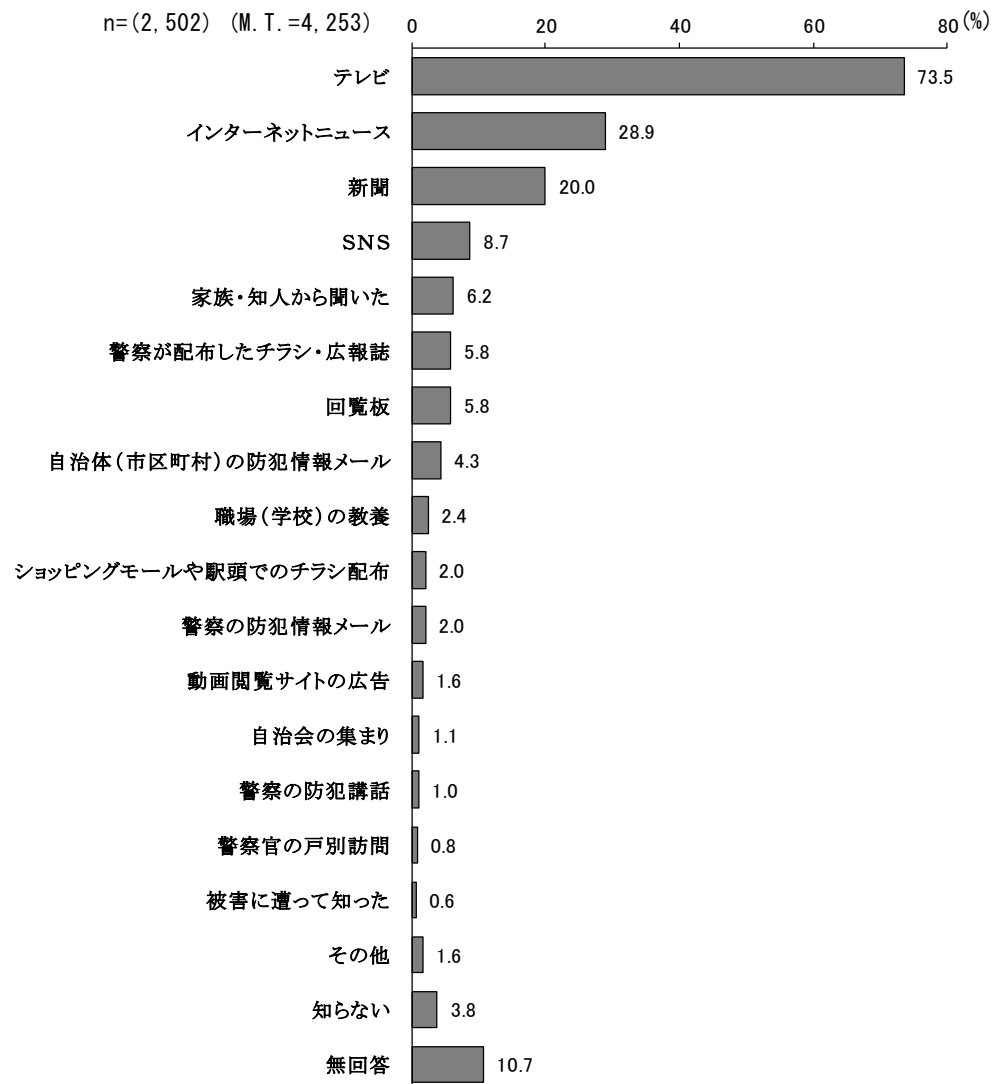
還付金詐欺の手口や防犯対策の方法の入手先は、「テレビ」(78.4%)で8割弱と最も高く、次いで「インターネットニュース」(29.8%)、「新聞」(23.3%)、「回覧板」(9.5%)、「警察が配布したチラシ・広報誌」(9.3%)、「SNS」(7.7%)などとなっている。

(3) 預貯金詐欺



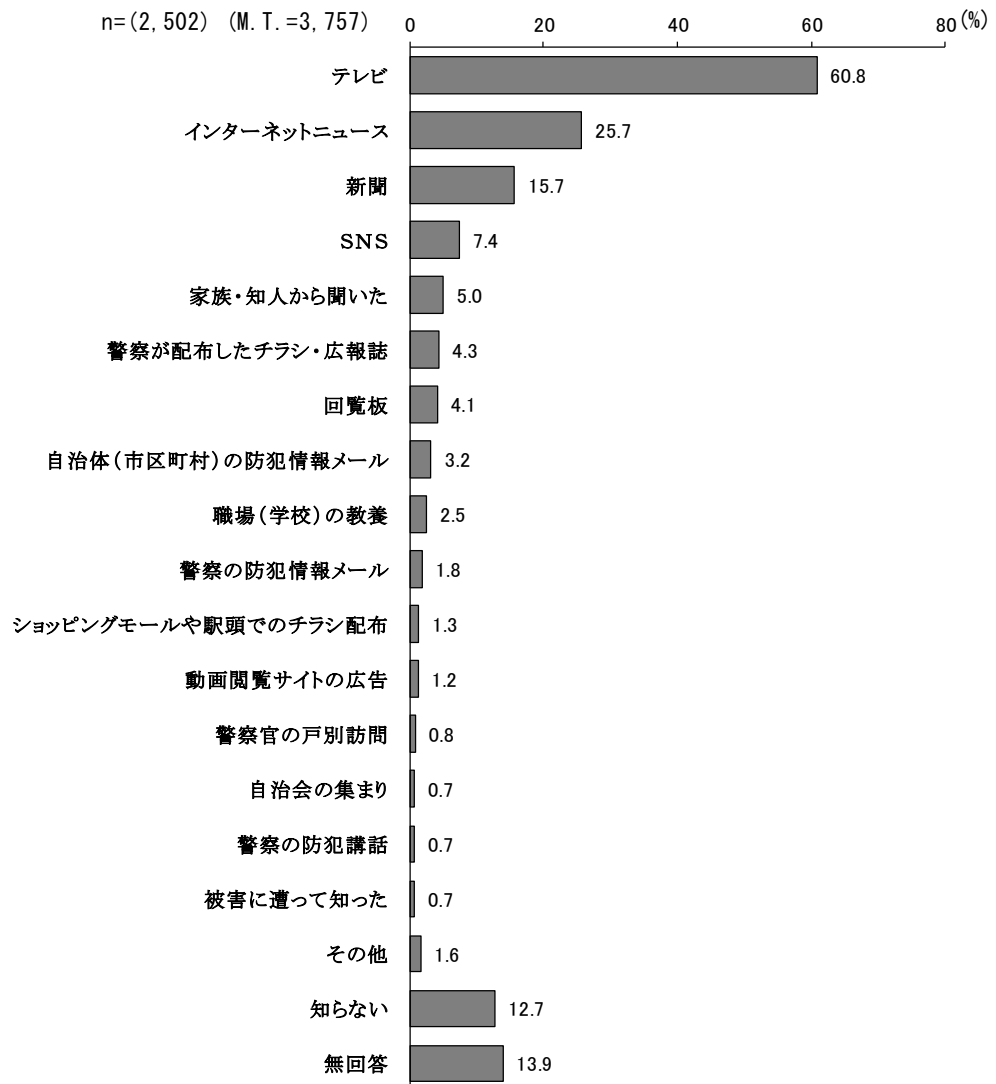
預貯金詐欺の手口や防犯対策の方法の入手先は、「テレビ」(70.1%)で7割を超えて最も高く、次いで「インターネットニュース」(25.5%)、「新聞」(19.5%)、「回覧板」と「SNS」(各6.4%)、「警察が配布したチラシ・広報誌」(5.8%)などとなっている。

(4) 架空料金請求詐欺



架空料金請求詐欺の手口や防犯対策の方法の入手先は、「テレビ」(73.5%)で7割強と最も高く、次いで「インターネットニュース」(28.9%)、「新聞」(20.0%)、「SNS」(8.7%)、「家族・知人から聞いた」(6.2%)、「警察が配布したチラシ・広報誌」と「回覧板」(各5.8%)などとなっている。

(5) サポート詐欺

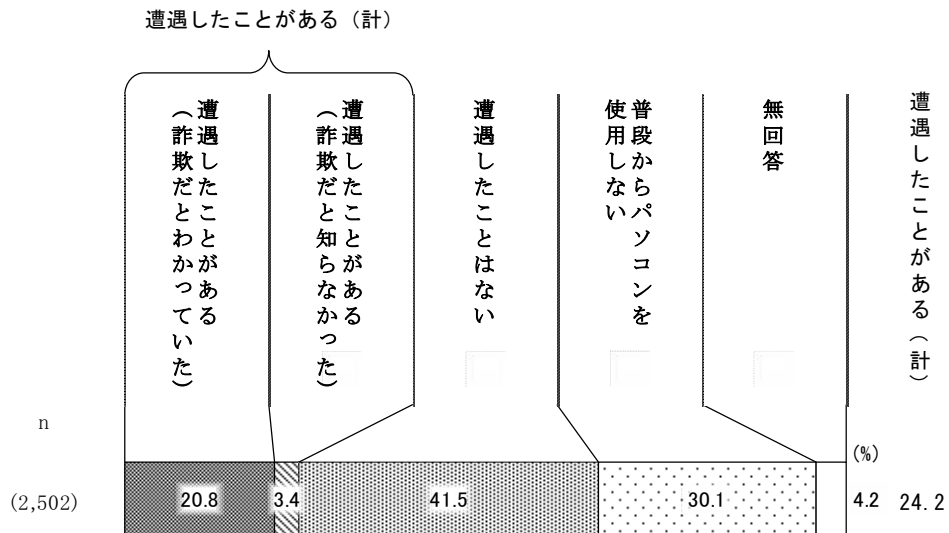


サポート詐欺の手口や防犯対策の方法の入手先は、「テレビ」(60.8%)で6割を超えて最も高く、次いで「インターネットニュース」(25.7%)、「新聞」(15.7%)、「SNS」(7.4%)、「家族・知人から聞いた」(5.0%)、「警察が配布したチラシ・広報誌」(4.3%)などとなっている。

(4) サポート詐欺の遭遇状況

◇『遭遇したことがある（計）』が24.2%

問19 パソコン等を利用中、サポート詐欺画面に遭遇したことはありますか。（○は1つだけ）



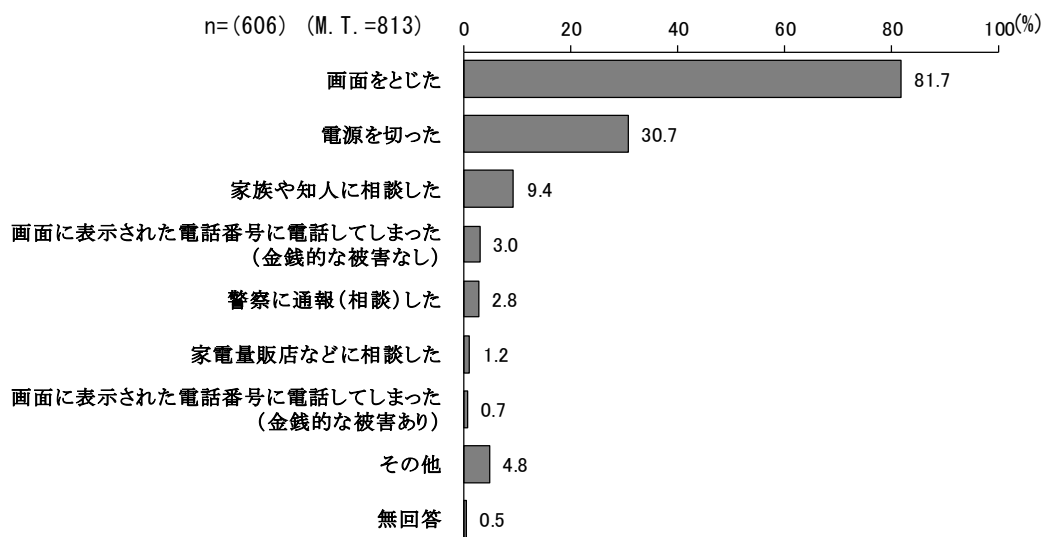
サポート詐欺の遭遇状況は、「遭遇したことはない」（41.5%）が4割強と最も高く、次いで「普段からパソコンを使用しない」（30.1%）となっている。一方で、「遭遇したことがある（詐欺だとわかっていた）」（20.8%）と「遭遇したことがある（詐欺だと知らなかった）」（3.4%）を合わせた『遭遇したことがある（計）』は24.2%となっている。

(4-1) サポート詐欺遭遇時の対応

◇「画面をとじた」が81.7%

(問19で「1. 遭遇したことがある(詐欺だとわかっていた)」または「2. 遭遇したことがある(詐欺だと知らなかった)」とお答えの方にお伺いします。)

問19-1 サポート詐欺画面に遭遇した際にどうされましたか。(〇はいくつでも)

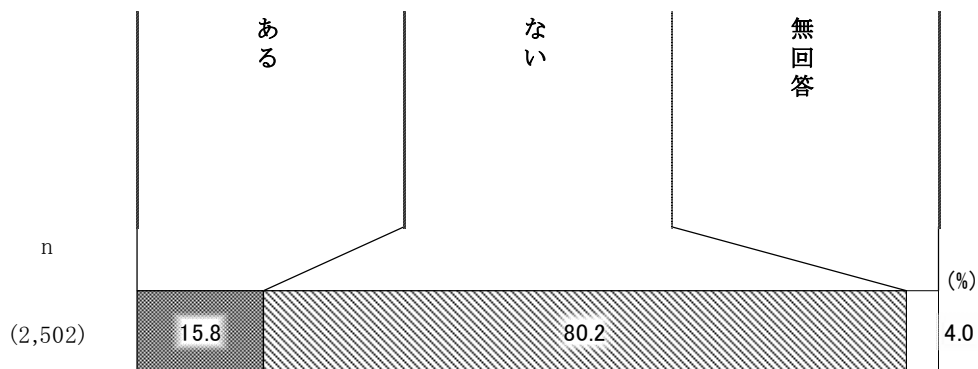


サポート詐欺遭遇時の対応は、「画面をとじた」(81.7%)が8割強と最も高く、次いで「電源を切った」(30.7%)、「家族や知人に相談した」(9.4%)、「画面に表示された電話番号に電話してしまった(金銭的な被害なし)」(3.0%)、「警察に通報(相談)した」(2.8%)などとなっている。

(5) 電子マネーのカード購入状況

◇「ある」が15.8%、「ない」が80.2%

問20 サポート詐欺を含む架空料金請求詐欺では、電子マネーのカード（POSAカード）を購入させられる被害が多く発生していますが、あなたは電子マネーのカードを購入したことがありますか。（〇はひとつだけ）

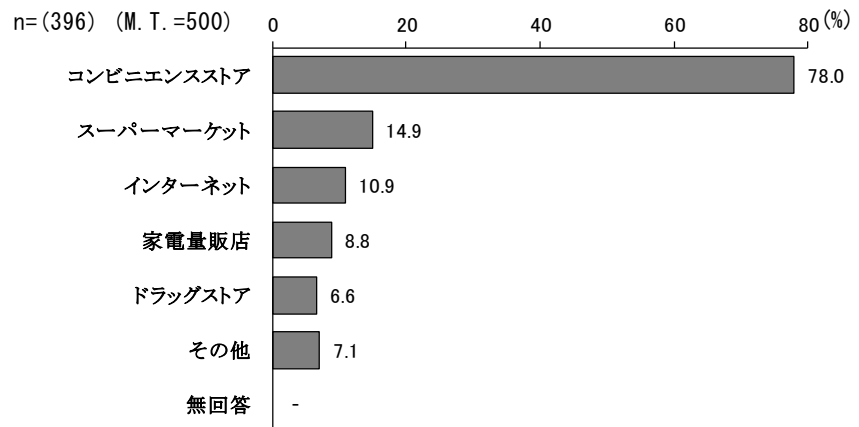


電子マネーのカード購入状況は、「ない」（80.2%）が8割を超えており、「ある」（15.8%）を64.4ポイント上回っている。

(5-1) 電子マネーのカード購入場所

◇「コンビニエンスストア」が78.0%

(問20で「1. ある」とお答えの方にお伺いします。)
問20-1 電子マネーのカードはどこで購入しましたか。(〇はいくつでも)

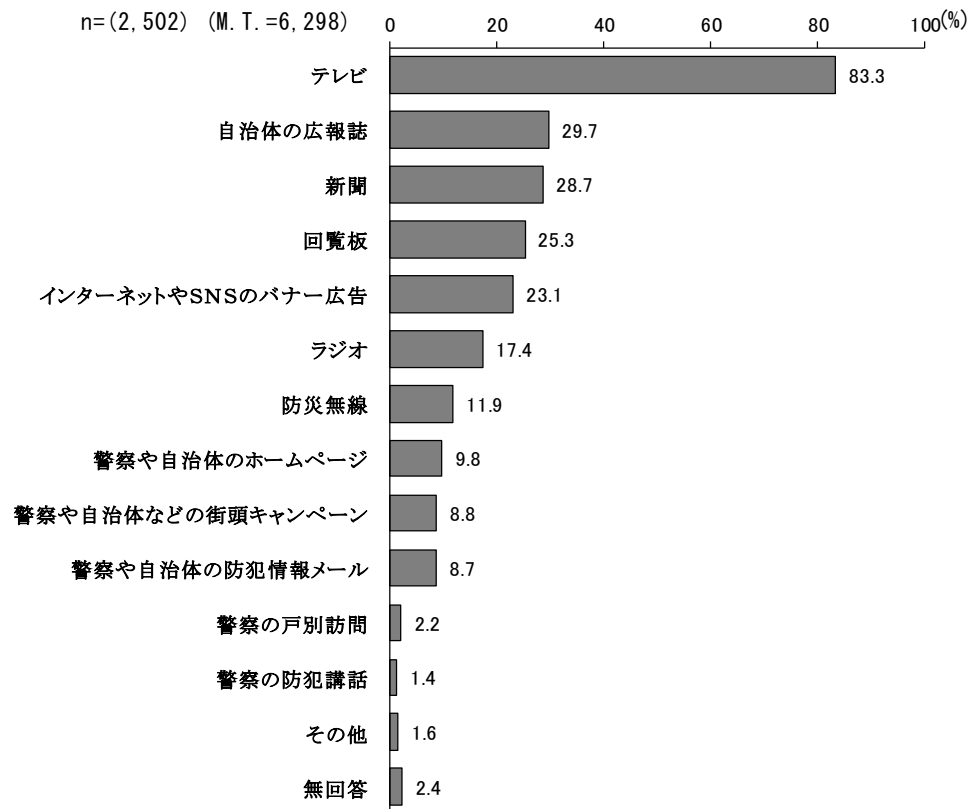


電子マネーのカード購入場所は、「コンビニエンスストア」(78.0%)が8割弱と最も高く、次いで「スーパーマーケット」(14.9%)、「インターネット」(10.9%)、「家電量販店」(8.8%)、「ドラッグストア」(6.6%)となっている。

(6) 特殊詐欺の諸対策の希望入手方法

◇「テレビ」が83.3%

問21 今後、特殊詐欺の諸対策について、どのような方法で知りたいですか。
(〇はいくつでも)

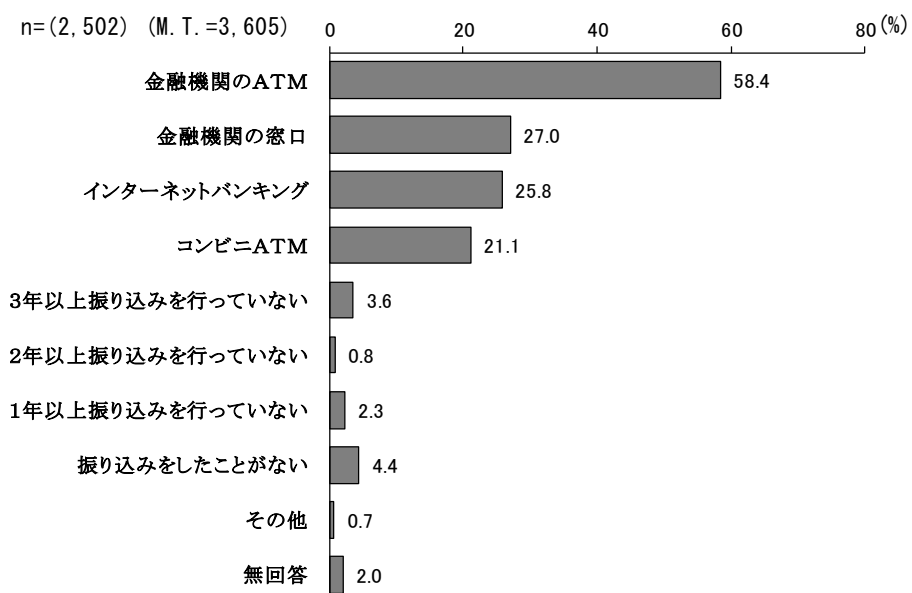


特殊詐欺の諸対策の希望入手方法は、「テレビ」(83.3%)が8割強と最も高く、次いで「自治体の広報誌」(29.7%)、「新聞」(28.7%)、「回覧板」(25.3%)、「インターネットやSNSのバナー広告」(23.1%)などとなっている。

(7) 普段の振り込み手段

◇「金融機関のATM」が58.4%

問22 特殊詐欺では、現金を犯人が指定した口座に振り込ませる手口がありますが、あなたが普段、振り込みに使用している手段は何ですか。(〇はいくつでも)



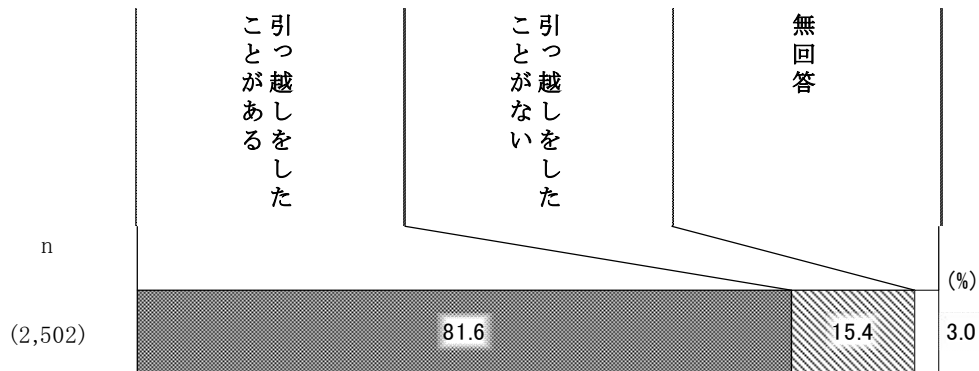
普段の振り込み手段は、「金融機関のATM」(58.4%)が6割弱と最も高く、次いで「金融機関の窓口」(27.0%)、「インターネットバンキング」(25.8%)、「コンビニATM」(21.1%)となっている。

5. 県内外からの移住について

(1) 引っ越しの経験の有無

◇「引っ越しをしたことがある」が81.6%

問23 あなたは、引っ越しをしたことがありますか。(○は1つだけ)



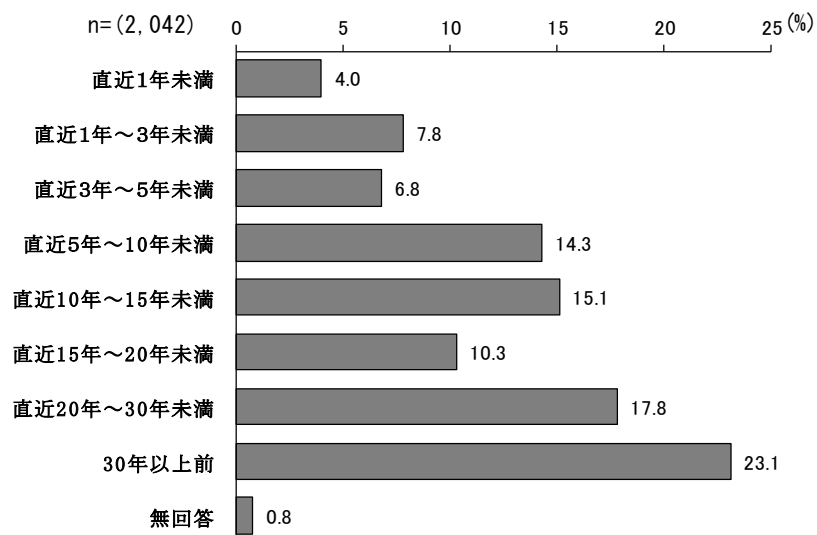
引っ越しの経験の有無は、「引っ越しをしたことがある」(81.6%)が8割強となっており、「引っ越しをしたことがない」(15.4%)を66.2ポイント上回っている。

(2) 直近の引っ越し時期

◇「30年以上前」が23.1%

(問23で「1. 引っ越しをしたことがある」とお答えの方にお伺いします。)

問24 直近の引っ越しは、いつでしたか。(〇は1つだけ)



直近の引っ越し時期は、「30年以上前」(23.1%)が2割強と最も高く、次いで「直近20年～30年未満」(17.8%)、「直近10年～15年未満」(15.1%)、「直近5年～10年未満」(14.3%)、「直近15年～20年未満」(10.3%)などとなっている。

(3) 直近の引っ越し前の居住地

◇「埼玉県（同じ市町村）」が36.3%

問25 直近の引っ越しの前には、どちらに住んでいましたか。(〇は1つだけ)

| 都道府県 | % | 人 |
|------------|------|-----|
| 埼玉県（同じ市町村） | 36.3 | 741 |
| 埼玉県（他の市町村） | 31.5 | 643 |
| 東京都 | 16.1 | 329 |
| 神奈川県 | 2.6 | 54 |
| 千葉県 | 2.2 | 44 |
| 群馬県 | 1.1 | 23 |
| 茨城県 | 0.8 | 16 |
| 新潟県 | 0.7 | 14 |
| 大阪府 | 0.6 | 12 |
| 北海道 | 0.5 | 11 |
| 静岡県 | 0.5 | 11 |
| 宮城県 | 0.5 | 10 |
| 栃木県 | 0.5 | 10 |
| 愛知県 | 0.4 | 9 |
| 兵庫県 | 0.4 | 9 |
| 福岡県 | 0.4 | 8 |
| 福島県 | 0.3 | 6 |
| 長野県 | 0.2 | 5 |
| 京都府 | 0.2 | 5 |
| 山梨県 | 0.2 | 4 |
| 青森県 | 0.1 | 3 |

| 都道府県 | % | 人 |
|------|-----|----|
| 岩手県 | 0.1 | 3 |
| 秋田県 | 0.1 | 3 |
| 福井県 | 0.1 | 3 |
| 岐阜県 | 0.1 | 3 |
| 広島県 | 0.1 | 3 |
| 石川県 | 0.1 | 2 |
| 奈良県 | 0.1 | 2 |
| 長崎県 | 0.1 | 2 |
| 熊本県 | 0.1 | 2 |
| 山形県 | 0.0 | 1 |
| 富山県 | 0.0 | 1 |
| 三重県 | 0.0 | 1 |
| 滋賀県 | 0.0 | 1 |
| 島根県 | 0.0 | 1 |
| 香川県 | 0.0 | 1 |
| 愛媛県 | 0.0 | 1 |
| 高知県 | 0.0 | 1 |
| 鹿児島県 | 0.0 | 1 |
| 沖縄県 | 0.0 | 1 |
| 海外 | 0.9 | 18 |
| 無回答 | 1.2 | 24 |

n=2,042

*「和歌山県」、「鳥取県」「岡山県」「山口県」「徳島県」「佐賀県」「大分県」「宮崎県」は回答がないため表示していない。

直近の引っ越し前の居住地は、「埼玉県（同じ市町村）」（36.3%）が3割台半ばを超えて最も高く、次いで「埼玉県（他の市町村）」（31.5%）、「東京都」（16.1%）、「神奈川県」（2.6%）などとなっている。

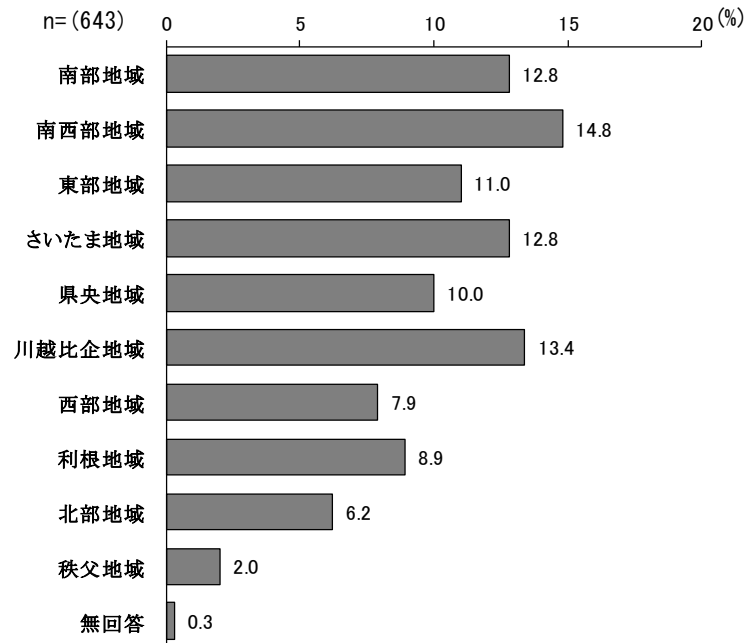
(3-1) 直近の引っ越し前の居住地域

◇「南西部地域」が14.8%

(問25で「2. 埼玉県(他の市町村)」とお答えの方にお伺いします。)

問25-1 直近の引っ越しの前に住んでいた市町村は、埼玉県のどの地域ですか。

(〇は1つだけ)

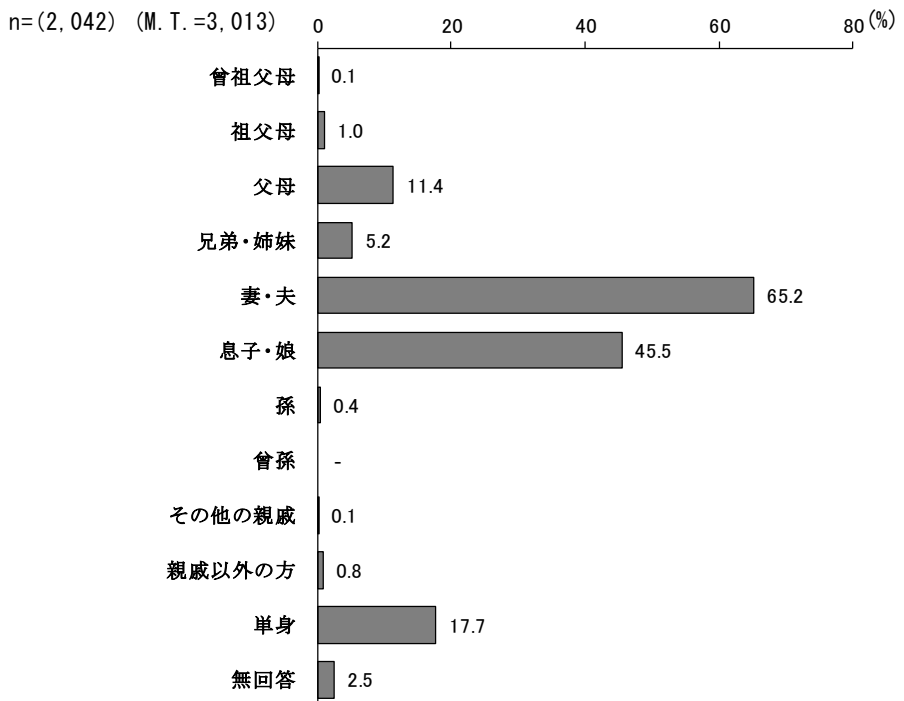


直近の引っ越し前の居住地域は、「南西部地域」(14.8%)が1割台半ばと最も高く、次いで「川越比企地域」(13.4%)、「南部地域」と「さいたま地域」(各12.8%)、「東部地域」(11.0%)などとなっている。

(4) 直近の引っ越しの同行者

◇「妻・夫」が65.2%

問26 直近の引っ越しでは、誰と一緒に引っ越しましたか。(〇はいくつでも)

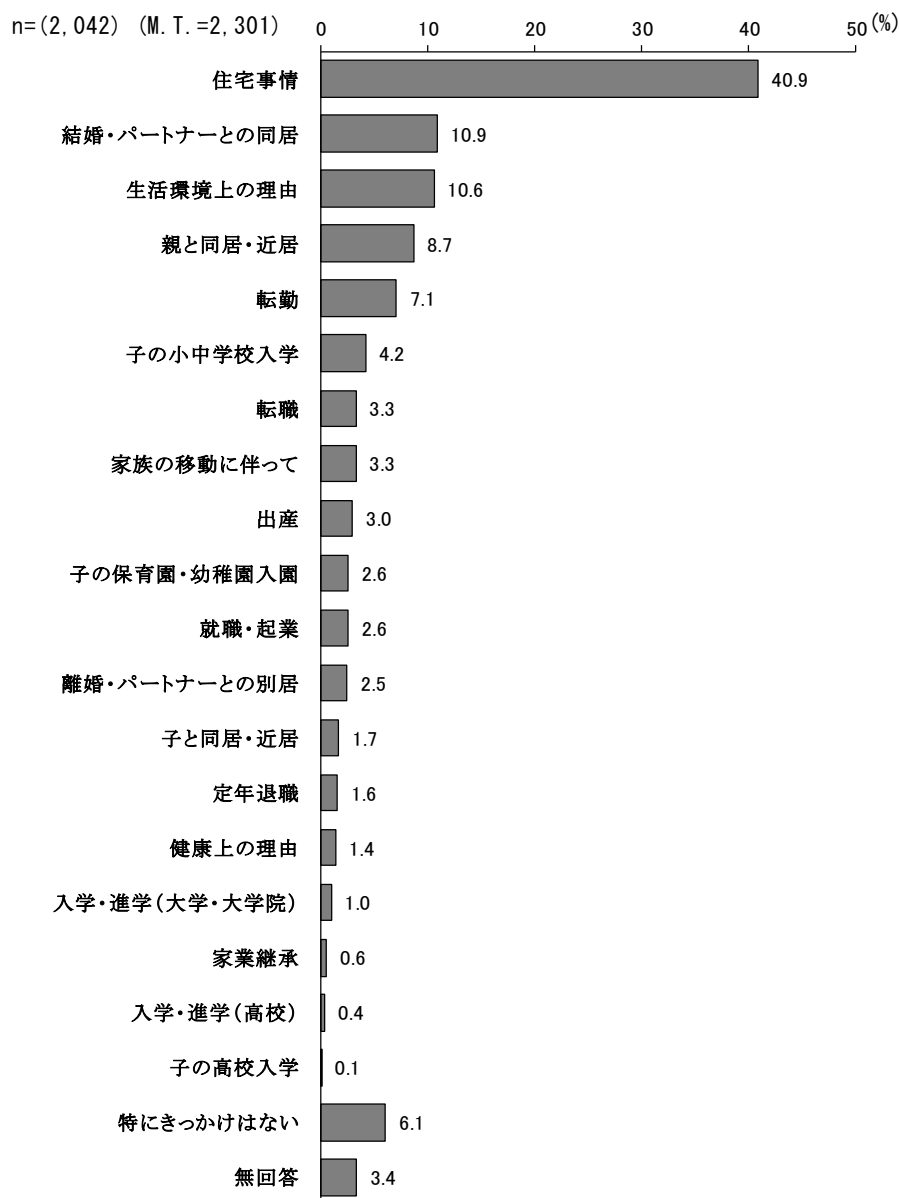


直近の引っ越しの同行者は、「妻・夫」(65.2%)が6割台半ばと最も高く、次いで「息子・娘」(45.5%)、「父母」(11.4%)、「兄弟・姉妹」(5.2%)などとなっている。一方で、「単身」(17.7%)は1割台半ばを超えている。

(5) 直近の引っ越しのきっかけ

◇「住宅事情」が40.9%

問27 直近の引っ越しのきっかけは何でしたか。(〇はいくつでも)

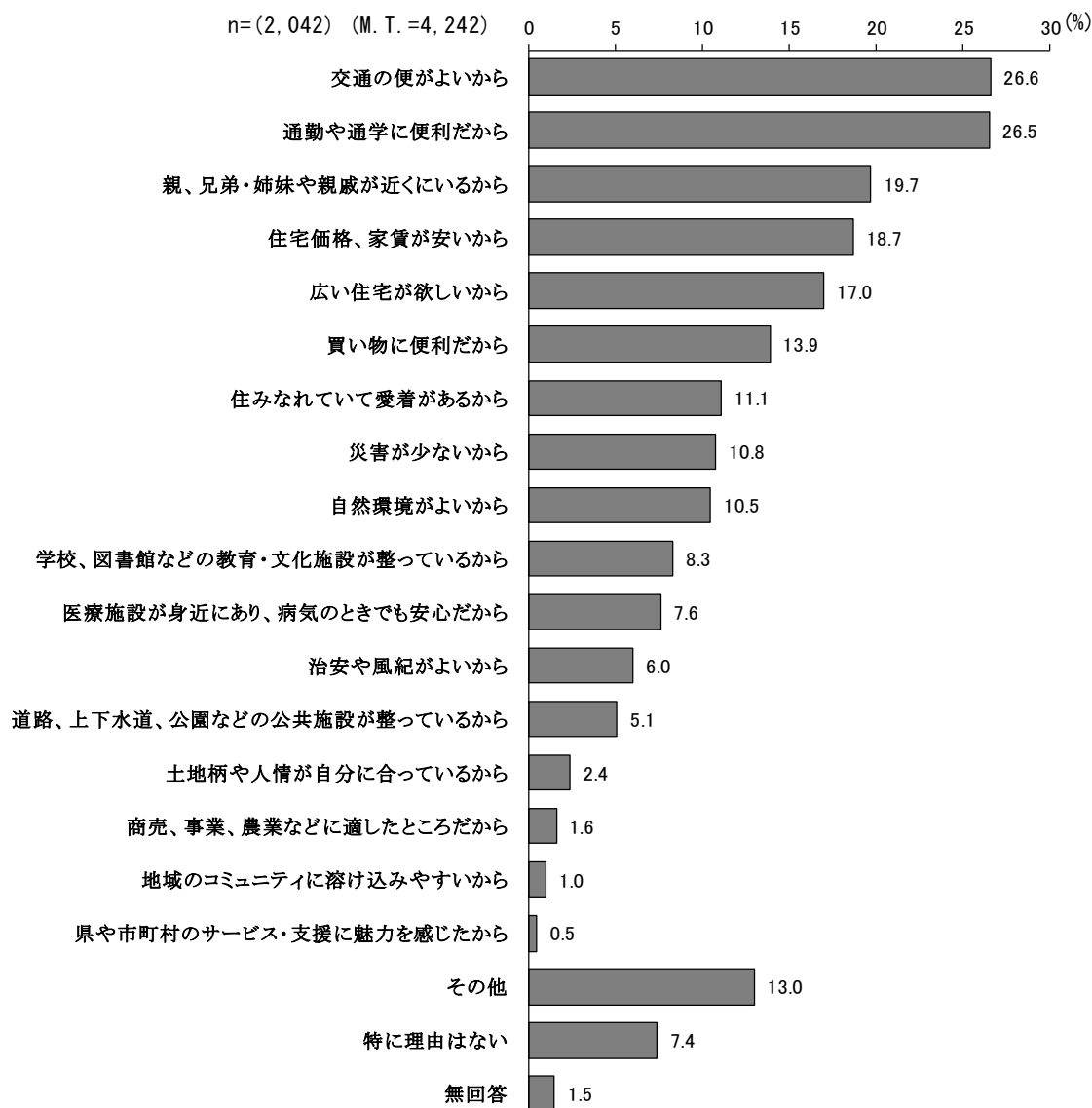


直近の引っ越しのきっかけは、「住宅事情」(40.9%)が4割を超えて最も高く、次いで「結婚・パートナーとの同居」(10.9%)、「生活環境上の理由」(10.6%)、「親と同居・近居」(8.7%)、「転勤」(7.1%)などとなっている。

(6) いまの住まいに引っ越した理由

◇「交通の便がよいから」が26.6%

問28 いまのお住まいに引っ越した理由は何でしたか。(〇はいくつでも)

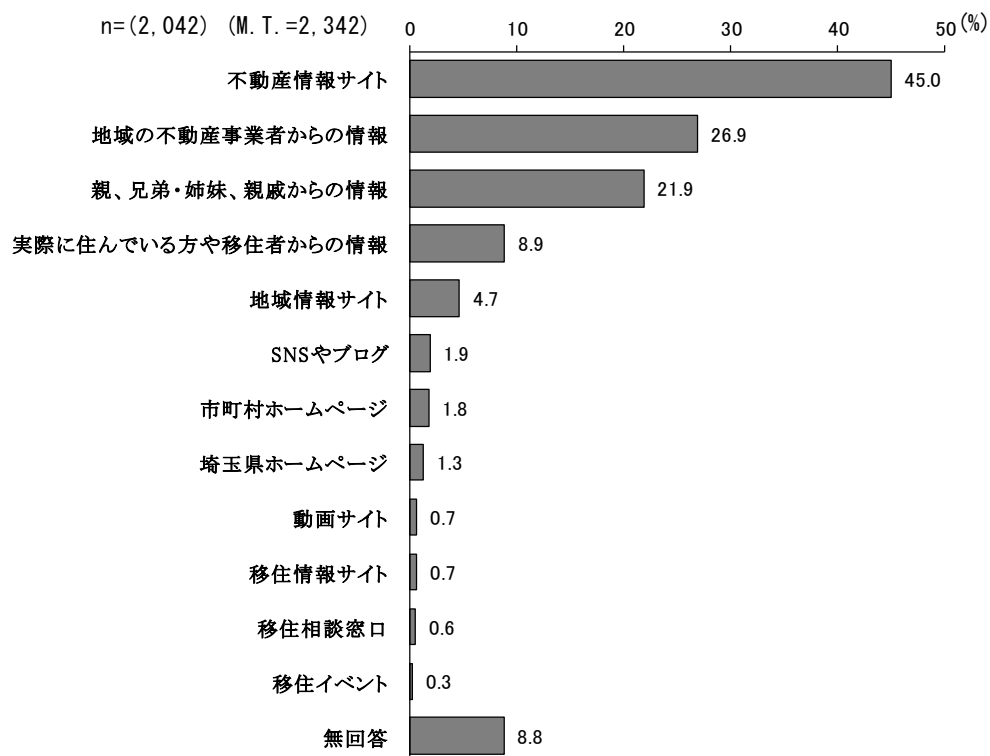


いまの住まいに引っ越した理由は、「交通の便がよいから」(26.6%)が2割台半ばを超えて最も高く、次いで「通勤や通学に便利だから」(26.5%)、「親、兄弟・姉妹や親戚が近くにいるから」(19.7%)、「住宅価格、家賃が安いから」(18.7%)、「広い住宅が欲しいから」(17.0%)などとなっている。

(7) 引っ越し時に参考にした情報

◇「不動産情報サイト」が45.0%

問29 引っ越し先を決める際に、参考にした情報は何でしたか。(〇はいくつでも)



引っ越し時に参考にした情報は、「不動産情報サイト」(45.0%)が4割台半ばと最も高く、次いで「地域の不動産事業者からの情報」(26.9%)、「親、兄弟・姉妹、親戚からの情報」(21.9%)、「実際に住んでいる方や移住者からの情報」(8.9%)などとなっている。

世論調査実施状況

(参考資料)

| 回 | 年度 | 調査時期 | テーマ | 標本数 | 調査方法 | 回収率 |
|----|--------|--------------|--|-------|---------|-------|
| 1 | 昭和43年度 | 8月16日～9月2日 | 県政全般(県政への関心、暮らし向き、青少年、教育、保健、スポーツ、社会福祉、住宅、環境等) | 1,500 | 個別面接聴取法 | 84.0% |
| 2 | 昭和44年度 | 7月15日～31日 | 県政全般(自治意識、暮らし向き、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、環境、消費生活等) | 1,500 | 個別面接聴取法 | 81.3% |
| 3 | 昭和45年度 | 9月20日～10月10日 | 県政全般(自治意識、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、公害、消費生活、農業等) | 1,500 | 個別面接聴取法 | 86.5% |
| 4 | | 11月9日～24日 | 広報、具体的な広報の媒体、広聴 | 1,500 | 個別面接聴取法 | 89.1% |
| 5 | 昭和46年度 | 9月20日～10月3日 | 近隣社会、居住環境 | 1,500 | 個別面接聴取法 | 90.7% |
| 6 | | 11月26日～12月9日 | 大災害に関すること(一般的関心、地震、防火、避難、近隣組織、職場・外出先での対策、地震に対する備えについて) | 1,500 | 個別面接聴取法 | 86.6% |
| 7 | 昭和47年度 | 10月26日～11月4日 | 県政全般(公害・交通問題、県民の健康とくらし、教育・文化・スポーツを伸ばす等) | 1,500 | 個別面接聴取法 | 82.5% |
| 8 | 昭和48年度 | 11月14日～26日 | 県政全般(広報、自然環境と開発、福祉、消費生活、ごみ処理、保健、商工、農林、労働、都市環境、教育等) | 1,500 | 個別面接聴取法 | 84.7% |
| 9 | 昭和49年度 | 8月15日～27日 | 県政全般(現在の住まい、広報、公害、交通、健康、県民のくらし、学校教育、自然保護等) | 1,500 | 個別面接聴取法 | 80.9% |
| 10 | 昭和50年度 | 8月上旬～中旬 | 県政全般(公害、交通安全、災害、警察、医療、福祉、教育、自然保護と開発、水、住宅、ごみ、商工、農林等) | 1,500 | 個別面接聴取法 | 77.1% |
| 11 | | 3月9日～18日 | 学校教育、生活環境、自然環境 | 1,500 | 個別面接聴取法 | 83.0% |
| 12 | 昭和51年度 | 7月20日～31日 | 水問題、福祉問題、コミュニティ問題 | 1,500 | 個別面接聴取法 | 83.9% |
| 13 | 昭和52年度 | 6月15日～30日 | 地域社会、地域福祉、文化活動、医療、献血、暴走族、県政への満足度、県民討論会、県政全般 | 1,500 | 個別面接聴取法 | 83.6% |
| 14 | 昭和53年度 | 7月14日～26日 | 文化の問題、婦人の問題、県政への要望 | 1,500 | 個別面接聴取法 | 83.1% |
| 15 | 昭和54年度 | 7月10日～26日 | みどりの環境、地震災害、県政全般 | 1,500 | 個別面接聴取法 | 81.9% |
| 16 | 昭和55年度 | 7月25日～8月11日 | 老人福祉、21世紀のまちづくり、地価及び宅地問題、県政全般 | 1,500 | 留置記入依頼法 | 87.5% |
| 17 | 昭和56年度 | 7月25日～8月14日 | 水問題、障害者福祉、県政全般 | 1,500 | 個別面接聴取法 | 84.1% |
| 18 | 昭和57年度 | 7月23日～8月12日 | 交通安全、行政改革、生活意識、県政への要望 | 1,500 | 個別面接聴取法 | 82.5% |
| 19 | 昭和58年度 | 7月20日～8月14日 | 21世紀の県民生活、生活意識、県政への要望 | 1,500 | 個別面接聴取法 | 83.7% |
| 20 | 昭和59年度 | 7月20日～8月12日 | みどり、快適な環境、文化活動、サービス業、県税、生活意識、県政への要望 | 1,500 | 個別面接聴取法 | 80.4% |
| 21 | 昭和60年度 | 7月18日～8月11日 | 高齢化社会、コミュニティ、学校教育、平和、生活意識、県政への要望 | 1,500 | 個別面接聴取法 | 78.4% |
| 22 | 昭和61年度 | 7月9日～8月14日 | 国際交流、健康、快適な環境、生活意識、県政への要望 | 2,000 | 個別面接聴取法 | 77.1% |
| 23 | 昭和62年度 | 6月1日～30日 | 住環境、景観、交通網、生涯学習、ボランティア活動、社会意識、生活意識、県政への要望 | 2,000 | 個別面接聴取法 | 80.2% |
| 24 | 昭和63年度 | 7月1日～31日 | 県民生活、土地問題、ごみ処理、文化活動、生活意識、県政への要望 | 2,000 | 個別面接聴取法 | 75.7% |
| 25 | 平成元年度 | 6月23日～7月23日 | 高度情報化施策、男女平等意識、青少年健全育成、埼玉コロシアム・埼玉メッセ、生活意識、県政への要望 | 2,000 | 個別面接聴取法 | 76.4% |
| 26 | 平成2年度 | 7月4日～29日 | 環境保全、交通安全、県税、お墓、生活意識、県政への要望 | 2,000 | 個別面接聴取法 | 78.1% |
| 27 | 平成3年度 | 7月5日～8月4日 | スポーツ・レクリエーション活動、道路整備、ペット問題、商品包装、生活意識、県政への要望 | 2,000 | 個別面接聴取法 | 77.5% |
| 28 | 平成4年度 | 6月26日～7月26日 | 住宅問題、防災、高度情報化施策、個人情報の保護、生活意識、県政への要望 | 2,000 | 個別面接聴取法 | 75.0% |
| 29 | 平成5年度 | 7月9日～8月4日 | 新しくにづくり、人と環境にやさしいリサイクル県づくり、国際化とまちづくり、住みよさ、生活意識、県政への要望 | 2,000 | 個別面接聴取法 | 77.2% |
| 30 | 平成6年度 | 7月8日～8月10日 | 消費生活、ボランティア活動・福祉活動への参加について、子どもと家族、県の広報について、生活意識、県政への要望 | 2,000 | 個別面接聴取法 | 76.4% |

| 回 | 年度 | 調査時期 | テーマ | 標本数 | 調査方法 | 回収率 |
|----|--------|-------------|---|-------|---------|-------|
| 31 | 平成7年度 | 7月1日～31日 | 21世紀の彩の国さいたまの将来像、生活意識、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 78.3% |
| 32 | 平成8年度 | 7月10日～8月11日 | ごみ減量化について、身近な自然について、健康と医療サービスについて、高度情報化施策について、生活意識、住みよさ、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 74.3% |
| 33 | 平成9年度 | 8月16日～9月15日 | 県政情報、安全な暮らし(防災、高齢者の交通安全、犯罪)、墓地、生活意識、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 77.8% |
| 34 | 平成10年度 | 7月10日～8月9日 | 国民体育大会、青少年問題、公園、高齢者福祉、生活意識、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 76.9% |
| 35 | 平成11年度 | 7月9日～8月8日 | 埼玉県の緑、子育て支援、ボランティア活動、生活意識、住みよさ、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 73.3% |
| 36 | 平成12年度 | 7月8日～8月7日 | 環境全般・環境学習について、公害問題について、廃棄物問題・リサイクルについて、有害な化学物質について、地球温暖化について、環境保全活動について、今後の県の取り組み、生活意識、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 76.7% |
| 37 | 平成13年度 | 6月30日～7月30日 | 保健・医療、文化・芸術、国際交流・国際協力、生活意識、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 77.2% |
| 38 | 平成14年度 | 7月6日～8月5日 | 農林業の役割、屋外照明による生活環境への影響、日常生活、生活意識、住みよさ、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 73.3% |
| 39 | 平成15年度 | 7月15日～8月5日 | 防犯、水環境、食の安全、日常生活、生活意識、定住意向、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 67.3% |
| 40 | 平成16年度 | 7月13日～8月10日 | 生活意識、日常生活、森林環境、地球温暖化、子どもの虐待、スポーツ振興、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 75.4% |
| 41 | 平成17年度 | 7月2日～8月1日 | 生活意識、日常生活、子育て支援、みどりの環境税制、消費生活、まちづくり・住みよさ、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 75.9% |
| 42 | 平成18年度 | 7月8日～8月14日 | 生活意識、日常生活、生活範囲とまちづくり、外国人との共生、団塊世代等の人材活用、定住意向、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 65.3% |
| 43 | 平成19年度 | 7月13日～8月6日 | 生活意識、日常生活、消費生活、子どもの安全対策、県民のスポーツ振興、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 73.4% |
| 44 | 平成20年度 | 7月11日～8月8日 | 生活意識、日常生活、住みよさ、みどりと川の再生、大学と地域の連携、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 74.8% |
| 45 | 平成21年度 | 7月10日～8月3日 | 生活意識、日常生活、定住意向、スポーツ振興、水道の未来づくり、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 75.0% |
| 46 | 平成22年度 | 7月9日～8月2日 | 生活意識、日常生活、消費生活、川の再生、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 75.1% |
| 47 | 平成23年度 | 7月8日～8月1日 | 生活意識、日常生活、住みよさ、自転車利用、生涯学習、買い物弱者、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 75.7% |
| 48 | 平成24年度 | 7月6日～29日 | 生活意識、日常生活、定住意向、健康長寿埼玉、震災前後における省エネ・創エネに関する意識と行動の変化、県教育行政、川の再生、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 73.1% |
| 49 | 平成25年度 | 7月5日～28日 | 生活意識、日常生活、個人情報の保護と活用、埼玉県ホームページの利用状況、生涯学習、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 71.0% |
| 50 | 平成26年度 | 7月4日～27日 | 生活意識、日常生活、住みよさ、埼玉版ウーマンミクスプロジェクト、治水対策、食品ロスの削減、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 70.8% |
| 51 | 平成27年度 | 7月3日～26日 | 生活意識、日常生活、定住意向、人口減少問題、大地震への備え、川の再生、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 71.9% |
| 52 | 平成28年度 | 7月8日～31日 | 生活意識、日常生活、スポーツ振興、認知症、水道の利用、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 72.5% |
| 53 | 平成29年度 | 7月7日～31日 | 生活意識、日常生活、シニアの社会参加、性的少数者(LGBT)、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 71.3% |
| 54 | 平成30年度 | 7月6日～31日 | 生活意識、日常生活、定住意向、受動喫煙防止対策、社会貢献活動における寄附、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 70.7% |
| 55 | 令和元年度 | 7月5日～31日 | 生活意識、日常生活、大地震に備えた取組について、生涯現役に向けた定年後の準備、就労希望等について、県政への要望 | 3,000 | 個別面接聴取法 | 66.5% |
| 56 | 令和2年度 | 8月8日～28日 | 生活意識、日常生活、住みよさ、新型コロナウイルス感染症への不安、環境への関心と行動、川の再生、県政への要望 | 5,000 | 郵送法 | 56.7% |
| 57 | 令和3年度 | 7月9日～30日 | 生活意識、日常生活、定住意向、新型コロナウイルス感染症への不安、共生社会、エスカレーターの利用、県政への要望 | 5,000 | 郵送法 | 55.3% |
| 58 | 令和4年度 | 7月8日～29日 | 生活意識、日常生活、大地震に備えた取組、受動喫煙対策、県立図書館の将来像に関するニーズ、県政への要望 | 5,000 | 郵送法 | 50.5% |
| 59 | 令和5年度 | 7月7日～28日 | 生活意識、日常生活、ケアラー・ヤングケアラーの認知度等、人と人のつながり・支え合いの状況、県政への要望 | 5,000 | 郵送法 | 49.5% |
| 60 | 令和6年度 | 7月5日～26日 | 生活意識、日常生活、特殊詐欺被害防止に対する意識調査、県内外からの移住、県政への要望 | 5,000 | 郵送法 | 50.0% |

本報告書の調査データを引用された場合は、
掲載資料を電子メールで下記の担当課へ送付願います。

令和6年度

埼玉県政世論調査

令和6年11月発行

埼玉県県民生活部県民広聴課

〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

a2840-09@pref.saitama.lg.jp



埼玉県マスコット「コバトン&さいたまっち」